SHARP®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

形 名 BD-AV1（ビー ディー エイ ブイ）
BD-AV10

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→ **7** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

- 取扱説明書は３冊あります。
  - ・本書は、接続・設定・操作について説明しています。
  - ・別冊の「接続・設定ガイド」は、接続と設定の基本的な手順を説明しています。
  - ・別冊の「かんたん!! ガイド」は、本機を使う前の準備、再生や録画の基本的な操作とファミリンクでの便利な操作について説明しています。

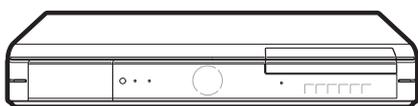
目的別早見もくじ

・ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（→ **7** ページ）を必ずお読みください。
・本書では「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。

ご自分で接続・設定を行う

•アンテナ線の接続やテレビとの接続をするときにご覧ください。

録画を行いたい

•録画したい番組を選局して、録画ボタンを押すだけで録画が行えます。

※ DVDディスクへの録画は行えません。
※ 地上アナログ放送は視聴・録画できません。

予約録画を行いたい

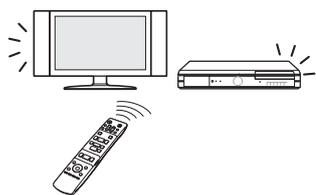
•デジタル放送は、電子番組表を使って予約できます。

※ DVDディスクへの録画は行えません。
※ 地上アナログ放送は視聴・録画できません。

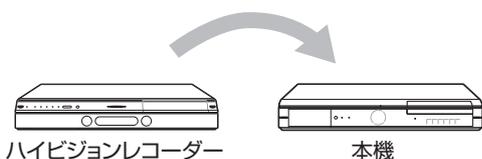
録画した番組を再生したい

•録画した番組の再生や市販のBDビデオ、DVDビデオの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

ファミリンクで便利に使う

• シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」と本機をHDMIコードを使って接続することにより、テレビと本機を連動させて操作が行えます。

※ ファミリンクについては、別冊の「かんたん!!ガイド」もご覧ください。

ダビングしたい

• シャープ製のハイビジョンレコーダーとi.LINKケーブルを使って接続することにより、ハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画したデジタル放送番組をBD-RE Ver.2.1ディスクにダビングできます。（ダビング操作はハイビジョンレコーダー側で行います。）

ハイビジョンレコーダー

本機

操作ができないときは

DVD/BDサポートステーションの「Q&A情報」もご覧ください。

http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

• 取扱説明書では、「ブルーレイディスクレコーダー　BD-AV1/BD-AV10」を「本機」と表現しています。
• 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。
• 取扱説明書の操作手順では、おもにリモコンを使って説明しています。

もくじ

- お使いになる前に「**安全にお使いいただくために**」（→ **7** ページ）を必ずお読みください。
- ファミリンクについては別冊の「**かんたん !! ガイド**」もご覧ください。
- 本書では「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。

はじめに

本機をお使いになる前に知っていただきたいことや操作のための準備について説明してします。

確認する

基本操作・準備

準備する

使ってみよう

BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクを再生します。テレビとの連動操作や、番組の録画もできます。

視聴する

録画する

予約録画する

再生する

ディスクを管理する

ファミリンクで便利に使う

各種設定

●ご自分で接続するときはここからお読みください。

接続と設定

再生に関する設定・テレビやオーディオ機器との接続をします。

接続する

設定する

リモコンの設定をする

こんなときは

困ったときに役立つ情報です。

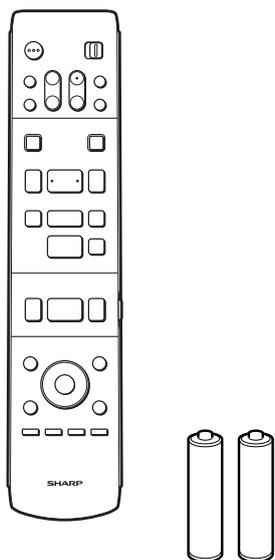
まずは　**基本的な使いかたは別冊「かんたん!! ガイド」**をお読みください

さらにくわしくは　**本書「取扱説明書」**をお読みください

付属品

付属品

- 箱を開けて、本機とつぎの付属品が揃っているか確認してください。
- B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコン× 1 個、
単 3 形乾電池× 2 個

使いかたは **18** ～ **20** ページ

B-CAS（ビーキャス）カード× 1 枚

B-CAS カードは、デジタル衛星放送案内チラシと一緒に同梱されています。

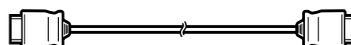
（B-CAS カードユーザー登録はがき、B-CAS カード使用許諾契約約款付き）

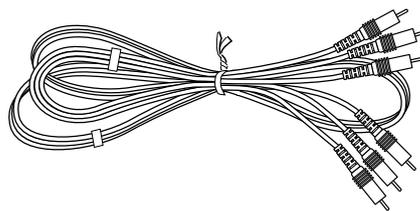
使いかたは **105** ～ **106** ページ

電源コード× 1 本

注意：
この電源コードは、本製品以外に使用しないでください。

使いかたは **107** ページ

HDMI コード（約 2m）× 1 本

使いかたは **96**、**101** ページ

映像・音声コード（約 1m20cm）× 1 本

使いかたは **97** ～ **99** ページ

アンテナケーブル（約 2m）× 1 本
（両側 F 接栓ケーブル）

使いかたは **92** ～ **94** ページ

取扱説明書

- 取扱説明書（本書）※
- 接続・設定ガイド※
- かんたん !! ガイド※

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

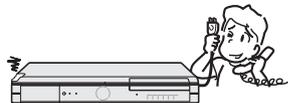
しなければならないことを表しています。

警告

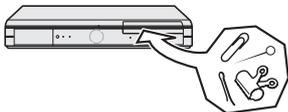
煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

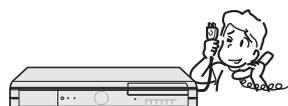
・異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

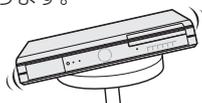
内部に物や水などを入れない

・本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

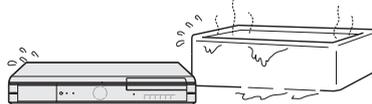
禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

・水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

・水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V 使用

⚠警告

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

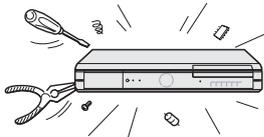
・感電の原因となります。

接触禁止

キャビネットは絶対に開けない

・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

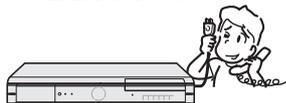
分解禁止

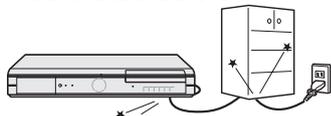
・本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止
禁止

電源コードを破損するようなことはしない

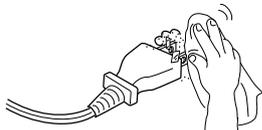
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

・電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

・そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  ・本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

・あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

・本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

・ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

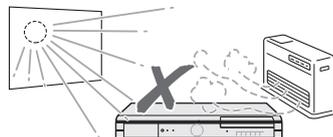
禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

・つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

・内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

• コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

• 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

• 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

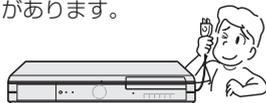
禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

• 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

• 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

• コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

• 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

• 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。

• 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

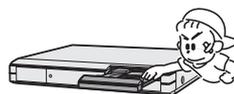
確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

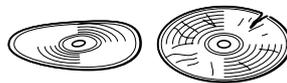
• 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

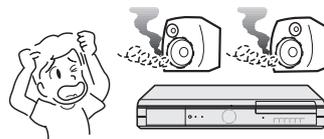
ディスクトレイ開閉口に手を入れない

• 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

• 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

• スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

• 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

⚠ 注意

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

・安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

・本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

タコ足配線をしない

・感電・火災の原因となることがあります。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、電気工事店などにご相談ください

・送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

ご相談ください

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

・電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

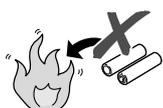
電池の液が漏れたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

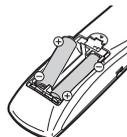
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

重要

・お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

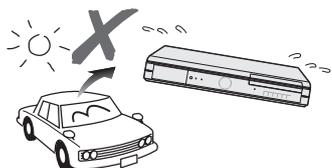
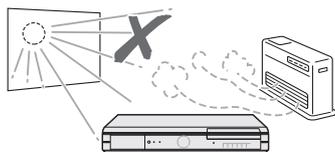
重要 必ずお読みください

■ 大切な録画の場合は	事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。
■ 録画（録音）内容の補償はできません	万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。
■ 著作権について	あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。
■ 録画防止機能について	本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
■ 保証について	本機を分解しますと、保証が無効になります。
■ 再生の制限について	本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

ご 注 意

- お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

高温の場所で使用しないでください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合は

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

本体背面のファンや通風孔をふさがないでください

- 本体を設置する際は、本体背面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台やAVラック等に収納して設置するときはご注意ください。
- 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

- 不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

- 立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

- 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- ディスクトレイの上に物を置かないでください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
  また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

接続機器について

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

- ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

使用温度について

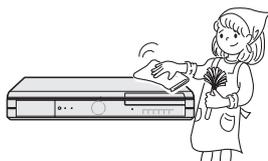
- 室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

節電について

- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

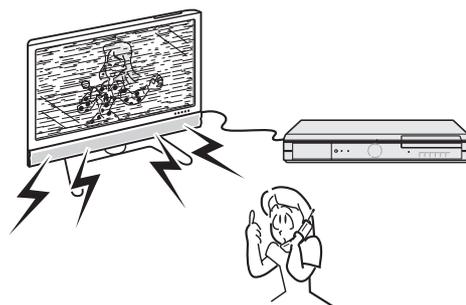
長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

磁気について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

電磁波妨害について

- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- BS・CS アンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC（集積回路）が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して確実に差し込んでください。

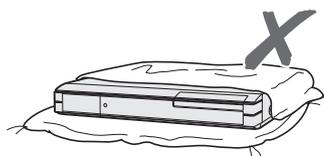
国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

設置時のお願い

- 本体背面にある冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
  冷却ファンや通風孔をふさぐと放熱の妨げとなり、故障の原因となります。

使用前に必ず設定をしてください

- 接続（→ **91** 〜 **104** ページ）と準備（→ **105** 〜 **107** ページ）が終わったら、必ず初期設定（→ **109** 〜 **112** ページ）を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。
- 後から設定し直すときは以下のページをご覧になり、必要な設定を行ってください。
  - 「デジタル放送の視聴設定をする」（→ **124** 〜 **136** ページ）

本機の電源について

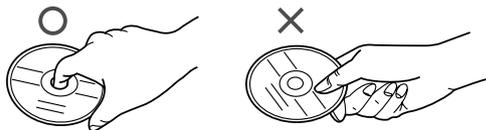
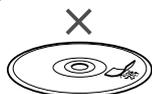
- ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新が行われたときは、本機の電源が自動的に入ります。
  本体表示部には「DL」の表示が出ます。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。
- 衛星からの情報を本機に取り込むため、電源プラグは差し込んだままにしてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
- 電源を切っていても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。
  - 地上デジタル放送の「番組表取得設定」（→ **87**、**139** ページ）が「する」に設定されているときは、設定された時刻に電源切になっていれば番組表データを取得するため約 40 分本体内部の電源が入った状態となります。受信できる放送局が多いほど、番組表データの取得には時間（最大で 50 分程度）を要します。
  - 「クイック起動設定」（→ **84**、**123** ページ）が「する」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。
  - 本機が B-CAS カードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

キャビネットについて

- 本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
- 「本体設定」の「アンテナ設定」で「電源・受信強度表示」の「BS・CS アンテナ電源」を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温かくなります。
- 使用上のご注意（→ **11** 〜 **12** ページ）もご覧ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いはていねいに

・記録面（再生面）には手を触れないでください。

・ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて

・ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

・レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
修理は、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（→ **172** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の保管のしかた

・ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

・直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

・落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

・ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

・以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
・暖房をつけた直後。
・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと
ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには
ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

放送の種類について

地上アナログ放送

従来の放送です。本機では受信できません。

地上デジタル放送

テレビ放送　データ放送

BSデジタル放送

テレビ放送　ラジオ放送　データ放送

110度CSデジタル放送

テレビ放送　データ放送

従来の放送よりも高画質･高音質な、デジタル放送です。
デジタルハイビジョン番組を、BDに高品位で録画できます。ただし、録画やダビングに制限がある放送もあります。

デジタル放送の特徴

- **テレビ放送**　従来のアナログ放送にくらべて、高画質･高音質なテレビ放送が楽しめます。
- **ラジオ放送**　CD並みの高音質な音楽放送が楽しめます。（本機への録音はできません。）
- **データ放送**　静止画や文字によって、さまざまな情報を提供する放送です。本機への記録はできません。
- **電子番組表**　デジタル放送から送られてくる番組表データを表示させて、選局や録画予約などができます。
- **HD／SD放送**　デジタル放送にはハイビジョン放送（HD放送）と、スタンダード放送（SD放送…従来画質の放送）があります。
- **字 幕**　映画などの番組では、字幕が放送されます。
- **双方向サービス**　クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

衛星デジタル放送の専用サービス

自動仮視聴サービスについて

有料で提供されるBSデジタル放送または110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、受信契約が必要です。
ただし、放送事業者（チャンネル）によってはB-CASカードを使い始めてから一定の期間は視聴できる場合があります。（仮視聴期間といいます。）これは、契約促進を目的としたサービスです。
お客様が別途に契約を行わない場合は、放送事業者の決めた仮視聴期間を過ぎますと、番組が視聴できなくなります。（録画もできません。）

ご案内チャンネルの表示

お客様が未契約の有料放送を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示と共に、契約をご案内する番組への切換えを促す画面が表示されることがあります。

画面例

ご案内チャンネルを視聴しますか?

みる　みない

ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークが表示されているときは、その情報を登録しておき、後でブックマークを一覧表示、選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

ボード（掲示板）

プラットフォーム（e2 by スカパー！）単位でいろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。詳しくは**147**ページをご覧ください。

デジタル放送の「コピー制御」について

デジタル放送で視聴･録画できる番組にはコピー制御信号が含まれています。

コピー制御信号の種類

- **「録画可能」の番組:**録画できます。
- **「1回だけ録画可能」の番組:**録画できます。
- **「録画禁止」の番組:**録画はできません。視聴のみ可能です。

デジタル放送を録画できるディスク

- BD-RE Ver.2.1（SL/1層ディスク）
  （BD-AV10はDL/2層ディスクにも録画できます。）

ダビングの制限

シャープ製ハイビジョンレコーダーに録画した「1回だけ録画可能」の番組を本機へダビングすると、番組を複製するのではなくダビング元からダビング先へ移動（ムーブ）することになります（ダビング元からは録画した番組は消去されます）。
（本機で録画した番組は、他の機器へダビングすることはできません。）

各部のなまえとおもな機能

本体前面

BDランプ(→26ページ)
- 電源が入っているとき ▶白点灯
- BDディスクを再生中 ▶青点灯
- BDディスクに録画中 ▶オレンジ点灯

ディスクメーターのディスク情報表示(→39、52ページ)

再生時 再生中タイトルの現在の位置を示します。

再生情報

青点灯

- 1目盛りは、タイトルの総時間の1/6になります。

停止時/録画時 ディスク残量を示します。

ディスク残量

白点灯

- 1目盛りは、BD-AV10をご使用の場合は約1時間、BD-AV1をご使用の場合は約30分となります。

ディスクイン表示(→41ページ)
- ディスクが入っているときに緑点灯します。

録画予約ランプ(→44、49ページ)
- 録画予約しているときに赤点灯します。
- ディスク残時間が不足するために次の予約が録画しきれないときは、点滅表示となります。

電源ランプ(→26、107ページ)
- 電源入のとき ▶緑点灯
- 電源切のとき ▶赤点灯

リモコン受光部(→20ページ)

B-CASカード挿入口(→106ページ)

本体表示部(→17ページ)

ディスクトレイ(→41ページ)

トレイ開/閉ボタン(→41ページ)

くぼみに指をかけ手前に引く

電源 B-CASカード リセット 電源 録画予約 ディスクイン BLU-RAY DISC RECORDER 再生情報 ディスク残量 トレイ 開/閉

電源ボタン(→26ページ)

リセットボタン(→155ページ)

本体背面

•接続についてくわしくは 91 ページ

BS・110度CSデジタル(→93〜94ページ)

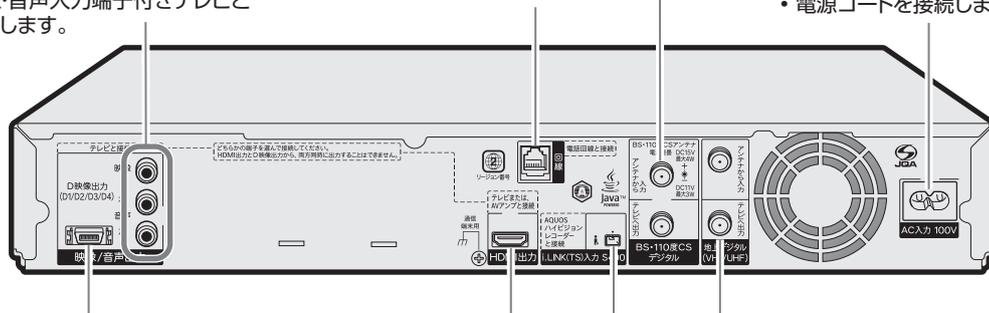
(上)アンテナから入力端子
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線を接続します。

(下)テレビへ出力端子
- BS・110度CS対応のチューナーや、テレビのBS・110度CSアンテナ入力端子と接続します。

映像・音声出力端子(→98ページ)
- 映像・音声入力端子付きテレビと接続します。

電話回線端子(→138ページ)
- 電話線で、電話回線と接続します。

AC入力端子(→107ページ)
- 電源コードを接続します。

D映像出力端子(→97ページ)
- D映像入力端子付きテレビと接続します。

HDMI出力端子(→96、101〜104ページ)
- HDMI入力端子付きテレビと接続します。

i.LINK(TS)入力端子(→103、104ページ)
- シャープ製のハイビジョンレコーダーと接続します。

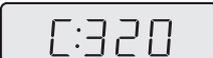
地上デジタル(VHF/UHF)(→93〜94ページ)

(上)アンテナから入力端子
- VHF/UHFアンテナのアンテナ線を接続します。

(下)テレビへ出力端子
- テレビのVHF/UHFアンテナ入力端子と接続します。

表示部の動作表示例

選局時（放送視聴中）

地上デジタル放送選局中	D:052
BS デジタル放送選局中	B: 103
110 度 CS デジタル放送選局中	C:320

再生時

再生カウンター表示	0 1:23:45

録画時／かんたん BD ダビング時

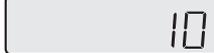
録画カウンター表示	0 1:23:45

i.LINK 入力時

i.LINK（TS）入力時	TS- in

HDMI 出力／ D 映像出力切換表示時

HDMI 出力表示	H-oP
D 映像出力表示	D-oP

初期化時

0（初期化開始） 100（初期化終了）	10

ダウンロード中

「DL」表示 （→ **87** ページ）	DL

ダウンロードサービスについて

- 電源が切れた状態でも、電波を通して本機の機能を改善させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます。（自動でダウンロードを行うための「ダウンロード設定」については **87** ページをご覧ください。）
- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、背面ファンが回転し、本体表示部に「DL」の表示が出ます。また、本体の BD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

メニュー画面の操作時および予約設定時

「MENU」表示	MENU

B-CAS カード通信中／電話回線使用中

「ACCESS」表示	ACCESS

- 番組情報の取得が必要なときは、数時間「ACCESS」の表示が出たままになることがあります。通信しているためで故障ではありません。
- 「ACCESS」表示中は、本体電源が入るため、冷却ファンが回転します。

番組表（EPG）データ取得中

電子番組表データ取得中表示	EPG

リセット操作時

リセット表示	RESEt

エラー発生時

i.LINK（TS）入力時、不具合が発生したとき （→ **79** ページ）	TSErr
動作不具合が発生したとき	Err

本体のランプや表示部のバックライトを消したいときは

常に消灯

- スタートメニューから「各種設定」－「機能切換」－「本体ライト設定」（→ **86** ページ）で設定してください。

一時的に消灯

（リモコンふた内）

消灯
（もう一度押すと点灯）

時計を表示させるには

時計表示	AM 8:27

- 「電源オフ時計表示設定」（→ **86** ページ）を「する」に設定している場合は、電源を切ると時計が表示されます。
- 「電源オフ時計表示設定」を「しない」に設定している場合は、リモコンふた内の 本体ライト を押すと、時計が表示されます。

リモコン

・本機のリモコンで、本機とテレビを操作することができます。

テレビ操作ボタンについて

※1 **120** ページのテレビメーカー指定で設定したテレビで操作できるボタンです。

※2 **120** ページのテレビメーカー指定で「シャープ B」または「シャープ C」に設定したときに操作できるボタンです。

その他のテレビ操作ボタンは **120** ページのテレビメーカー指定で「シャープ C」に設定したときに操作できるボタンです。

テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えるときはリモコンをテレビに向けて操作してください。

テレビ／レコーダー切換スイッチ
(→25、120、149～151ページ)
- テレビ側と本機側の操作を切り換えます。
- テレビ入力を自動切換する機能があります。**(→149ページ)**

地上A/地上D/BS/CS
(→120ページ)
- 地上デジタル放送やBSデジタル放送など、放送の種類を切り換えます。

チャンネル・数字
- チャンネルを選局できます。

音声
- 音声を切り換えます。

映像
- 映像を切り換えます。

字幕
- 字幕を切り換えます。

画面表示
- 画面表示を入／切します。

テレビ／ラジオ／データ
- デジタル放送の種類を切り換えます。

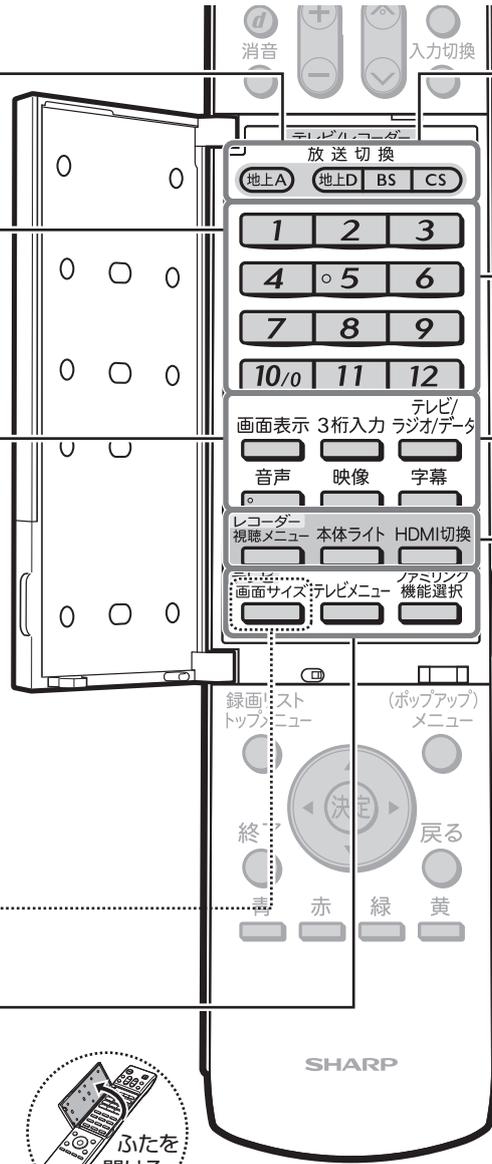
3桁入力
- デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

画面サイズ
- 画面サイズを切り換えます。

テレビメニュー
- テレビのメニュー画面表示を入／切します。

ファミリンク対応テレビ専用ボタン

ファミリンク機能選択
- ファミリンク機能選択メニューを表示させます。

地上D/BS/CS
(→28、42、44ページ)
- 地上デジタル放送やBSデジタル放送など、放送の種類を切り換えます。
- **本機で地上アナログ放送は受信できません。**

チャンネル・数字
(→28、88ページ)
- チャンネルを選局します。その他、数字の入力に使用することもあります。

音声(→34、64ページ)
- 音声を切り換えます。

映像(→35、65ページ)
- 映像を切り換えます。

字幕(→35、65、158ページ)
- 字幕を切り換えます。

画面表示(→23、40、53ページ)
- 画面表示を入／切します。
- デジタルハイビジョン対応テレビと接続時、電子番組表の表示（縦にチャンネルを並べた、6時間/3時間）を切り換えます。

テレビ／ラジオ／データ
(→28ページ)
- デジタル放送の種類を切り換えます。

3桁入力(→29ページ)
- デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

本体ライト(→17ページ)
- 本体表示部などのライトを点灯／消灯します。

視聴メニュー
(→59、66ページ)
- タイトルの頭出しや、リピート再生設定が行えます。
- 再生情報画面で、音声や字幕などの有無、現在再生されているチャプター位置などの確認ができます。
- リピート再生は、タイトルリピートとチャプターリピートが行えます。

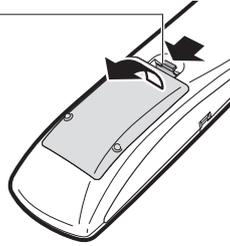
HDMI切換(→96ページ)
- 長押ししてD映像出力とHDMI出力を切り換えます。

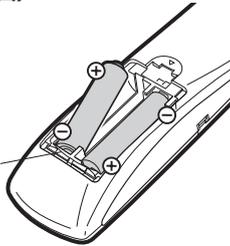
お知らせ

- テレビ側でのリモコンボタンの機能と操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンに電池を入れる

電池の入れかたと操作範囲

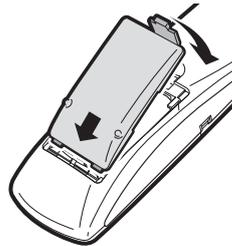
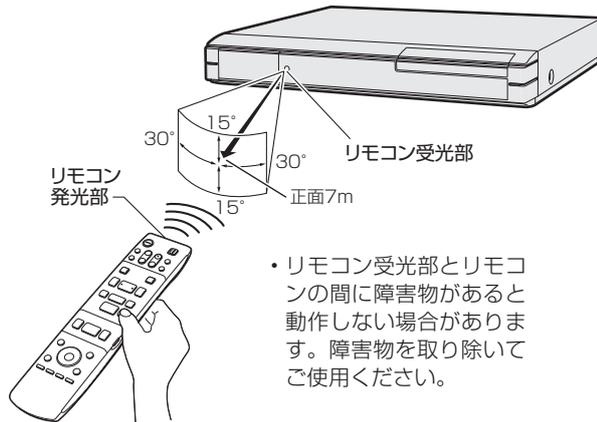
①裏ぶたを開ける

②付属の乾電池〈単３形×２個〉を入れる

- 収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

- 新しい乾電池と交換する際はアルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

- カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

- リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。**

重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、５分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しい乾電池と交換してください。（寿命は通常６カ月〜１年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約１日）電池のない状態が続いたときは「リモコン番号」（→ **121**、**122** ページ）や「テレビメーカー指定」（→ **120** ページ）がリセットされますので、設定し直してください。

スタートメニューについて

スタートメニューから本機のほとんどの操作・設定ができます。

■スタートメニューのあらまし

次ページへつづく

■スタートメニューの使いかた

お知らせ

- スタートメニュー画面を表示後約 1 分間何も操作をしないと、画面は自動的に消えます。
- スタートメニュー画面が表示されない場合は、「故障かな？と思ったら」(→ **165** ページ）をお読みください。

1 テレビと本機の準備をします

25 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタート メニュー 押す

3 項目を選んで決定します

（例：「各種設定」を選んだとき）

⇨選んだ項目の画面

4 さらに項目を選んで決定します

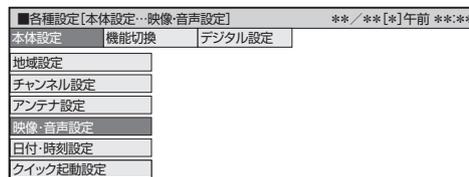
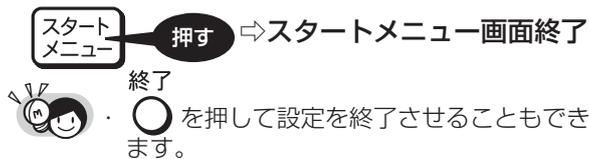
（例：「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」を選んだとき）

⇨選んだ項目の画面

5 設定します

・戻る ◯ を押すと、前の画面に戻れます。

6 設定を終了します

スタート メニュー 押す ⇨スタートメニュー画面終了

・終了 ◯ を押して設定を終了させることもできます。

■高精細表示について

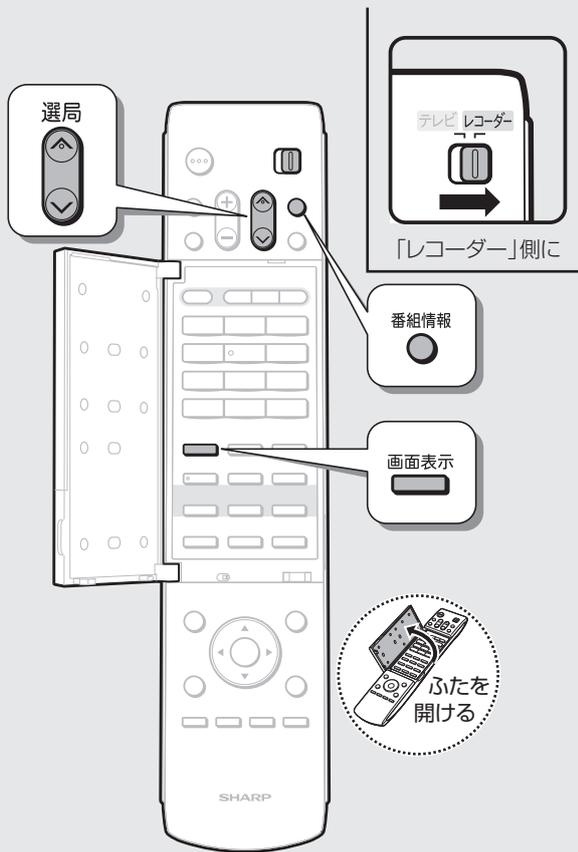
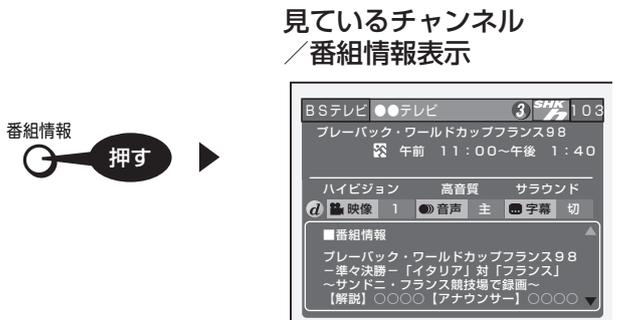
- スタートメニューは、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をしている場合、小さな文字（高精細画面）で表示されます。
  - ・D 映像コードで接続し、「D 映像出力設定」を「D3 ／ D4 ／ D5」に設定しているとき
  - ・HDMI コードで接続し、1125i または 1125p 出力されているとき（これ以外の場合は大きな文字で表示されます。）
- 高精細画面でない場合（大きな文字）でも、スタートメニューの表示内容、操作方法などは基本的に変わりません。
- 小さな文字（高精細）で表示されているときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「表示文字サイズ設定」（→ **85** ページ）で文字の大きさを選ぶことができます。

テレビ画面表示について

番組情報やディスクの残り時間などの情報をテレビ画面に表示できます。

チャンネル表示と番組情報

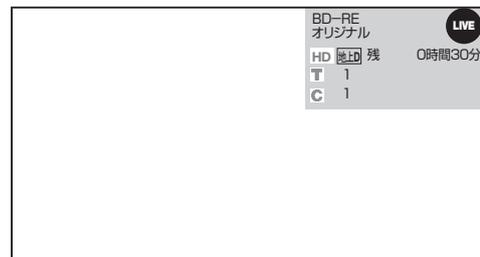
選局 選ぶ ▶

番組情報 押す ▶

・もう一度押すと消えます。

ディスクの残り時間やカウンター表示

（ふた内）

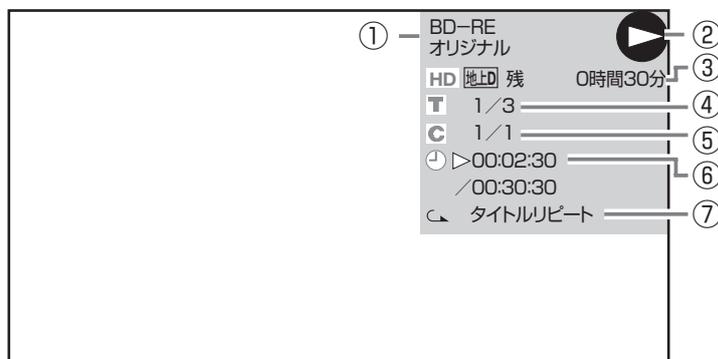
⇨ディスクの残り時間やカウンター表示
（約 1 分後に自動的に消えます）

BD 操作中の例

・ もう一度 画面表示 を押すと、消えます。
再生／録画中であればカウンター表示だけになります。カウンター表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。

お知らせ

・ディスク残量表示は、目安です。録画中の残量表示と録画停止時点での表示が一致しないこともあります。
・デジタル放送受信中に表示される HD/SD 残時間は、現在受信している放送に対しての録画残量時間の目安です。

次ページへつづく

■ディスク情報表示例

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- オリジナルタイトルを再生しているか、プレイリストを再生しているかを表示
- DVDディスクでは、録画フォーマットを表示
  VR：VRフォーマット
  V ：ビデオフォーマット

② 動作表示

再生中 （青いマーク）
再生停止時（青いマーク）
REC 録画開始時（赤いマーク）
録画停止時（赤いマーク）
LIVE 録画中 （赤いマーク）
LIVE 停止中 （青いマーク）

③ 現在、受信している放送を録画する場合の残量時間（録画可能時間）を表示
- 表示される残時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。
  残時間表示には、現在視聴している放送に合わせて地上D（地上デジタル）、BS、CSがあります。
- 録画できないディスクがセットされたときは、ディスク残量表示部が空欄または「残 0時間00分」と表示されます。
- ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクをセットしたとき、および、ファイナライズしたVRフォーマットのDVD-Rをセットしたときは「ファイナライズ済」の表示になります。

④ 再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示
（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

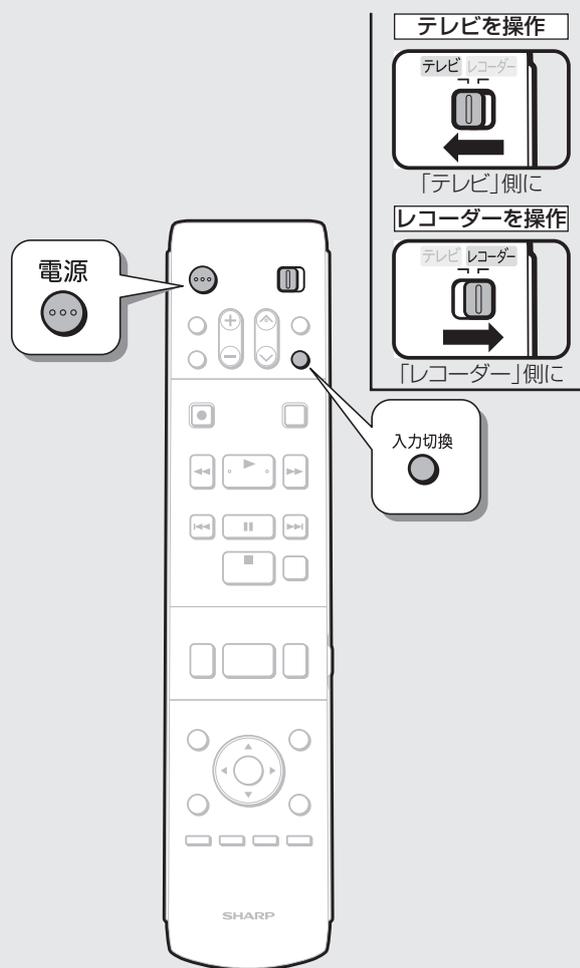
⑤ 再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示
（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑥ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示
録画中は、録画開始からの経過時間を表示

⑦ リピート再生をしているときに表示

テレビと本機の準備をする

テレビと本体の電源を入れ、本機を操作するための準備をします。

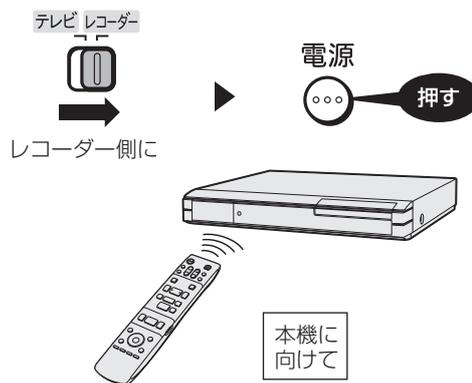
・本機のリモコンでテレビを操作する場合に、初期状態で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」です。それ以外のシャープ製テレビや、シャープ製以外のテレビを操作するときは、テレビメーカー指定で設定をしてください。
(→ **120** ページ)
・リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。
(→ **121** ページ)

1 テレビの電源を入れます

・リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。(→ **120** ページ)

2 入力切換 ○ をくり返し押して、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力 1」など）に切り換えます

3 B-CAS カードを本機にセットしていることを確認します 106 ページ

・本機で番組を視聴・録画するために、必ず B-CAS カードを本機にセットしてください。

4 本機の電源を入れます

・もう一度押すと本機の電源が切れます。

テレビ／レコーダー切換スイッチについて

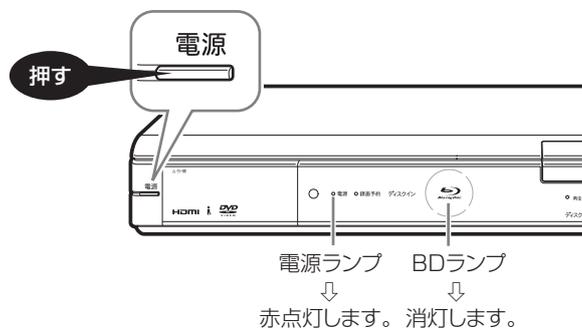
・シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をご使用の場合、リモコンのテレビメーカー指定（→ **120** ページ）を「シャープ C」に設定した上で、テレビ入力自動切換機能（→ **149** ページ）を設定していると、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にするだけで、テレビの入力が自動で本機を接続した入力に切り換わります。

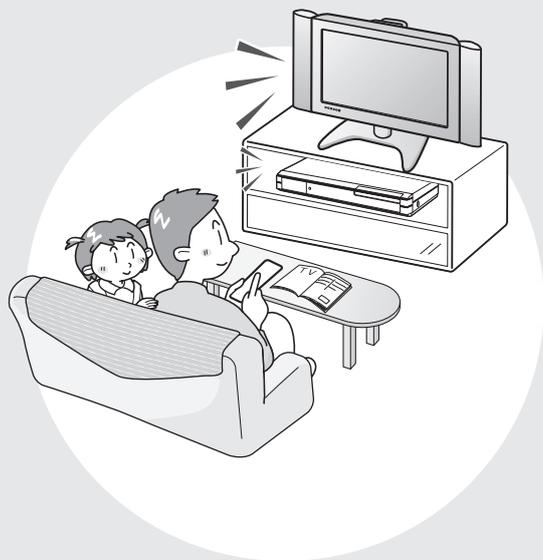
次ページへつづく

本体ボタンでの電源の入／切

■電源を入れる

- 電源を入れると、本体の BD ランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまでお待ちください。
- 接続後はじめて電源を入れたときは、「初期設定」（らくらくセットアップ）画面になります。（→ **109** ページ）

■電源を切る

- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

使ってみよう

この章では、放送中の番組を選局して
BD に録画・予約録画する方法、
再生・ダビングする方法について
説明しています。

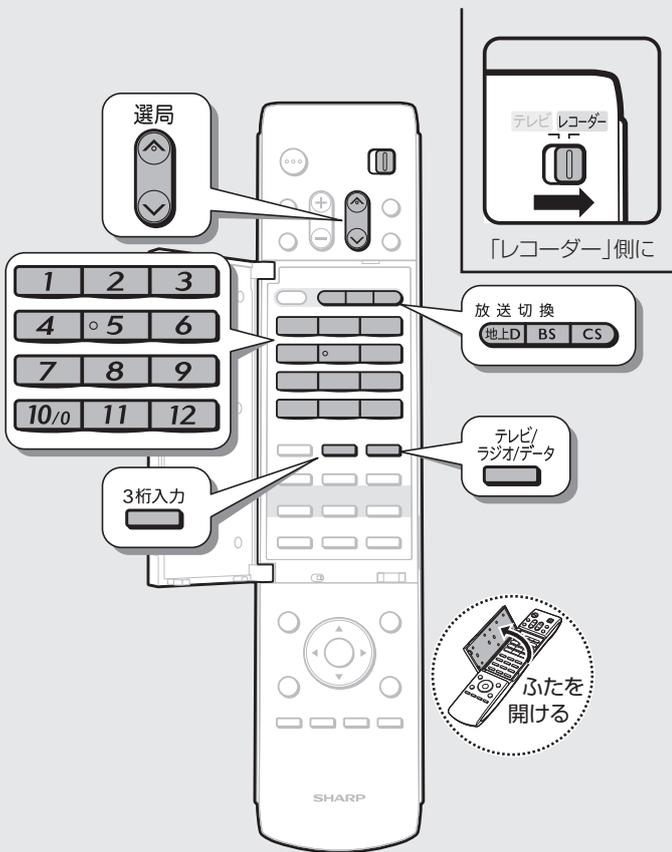
チャンネルを選ぶ

- 本機のチューナーでテレビ番組を選びます。
- 本機が受信できる放送は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送です。
  地上アナログ放送は受信できません。

重要

- WOWOW 放送や、スターチャンネル、110 度 CS デジタル放送は有料放送です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、**106** ページをご覧ください。
- 付属の B-CAS カードは、必ずセットしてください。
  B-CAS カードをセットしないと、デジタル放送がご覧になれません。

ご注意

- 録画中は、選局の操作ができません。
- 放送番組によっては、上下に黒い帯や上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。（放送局の送信データによるもので、本機の故障ではありません。）

重要

- 本機に BD-RE 以外の再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、放送の視聴ができません。再生専用ディスクの画面が表示されます。
- 放送を視聴するときは、ディスクを取り出すか、または録画用のディスク BD-RE Ver.2.1 をセットしてください。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

- 本機で番組を視聴・録画するために、必ず B-CAS カードを本機にセットしてください。

2 放送を選びます

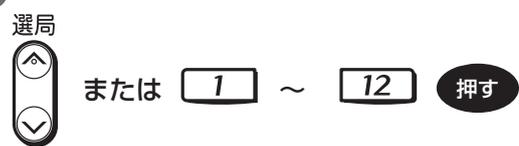
放送切換 地上D BS CS 選ぶ

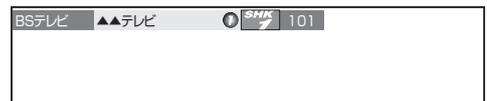
3 データ放送やラジオ放送を選ぶ場合

- ラジオ放送（BS デジタル放送のみ）
- データ放送（BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送のみ）

・デジタル放送を 3 桁入力で選ぶ場合はこの操作は必要ありません。

4 選局します

選局 または ～ 押す

⇨選局したチャンネルの情報表示
（自動的に消えます。）

BSテレビ	▲▲テレビ	SHK 7	101

デジタル放送のチャンネルを入力するには（3 桁入力）

選局時に

▶ チャンネルボタンで「3 桁入力」

BS 161

・番号を間違えたときは、もう一度 3桁入力 を押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「枝番選択」について

・チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3 桁目を入力すると、下の画面になります。チャンネルボタンで 4 桁目の番号を入力して選局してください。（枝番選択）

4 桁目の入力画面例

工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

・数字ボタンを押して選局できる放送局です。

関東の東京で受信できるチャンネルです。

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ放送を選んだとき 放送局名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101
2	NHK BS2	102
3	NHK ハイビジョン	103
4	BS 日テレ	141
5	BS 朝日	151
6	BS-i	161
7	BS ジャパン	171
8	BS フジ	181
9	WOWOW	191
10/0	スターチャンネル	200
11※	日本BS放送	211
12※	ワールド・ハイビジョン・チャンネル	222

地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

・BS デジタル放送のラジオ放送やデータ放送、110 度 CS デジタル放送は設定されていません。
・110 度 CS デジタル放送は設定されていません。

電子番組表または で放送局を選んでください。

・登録されていないチャンネルをリモコンの数字ボタンで選局したいときは、チャンネル設定を行ってください。
（→ **131** ～ **136** ページ）

・チャンネルプランは 2007 年 9 月現在のもので、変更されることもあります。

※ 2007 年 12 月にスタート予定の放送です。

- **データ放送の視聴方法は、各放送局によって異なります。**
- **選局ボタンで選ぶ場合、スキップ設定（→ 132、135 ページ）したチャンネルは飛び越します。**
- **リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの確認や変更については、131、135 ページをご覧ください。**

デジタル放送を電子番組表で選ぶ

電子番組表でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。

重要

- 再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、番組表は表示できません。ディスクを取り出すか、または録画用のディスクをセットしてから操作してください。

電子番組表の表示について

- 本機の電子番組表は、デジタルハイビジョン対応テレビと以下の接続をしているときは、チャンネルを縦に並べ表示する（モード 1）と新聞のテレビ欄のようにチャンネルを横に並べ表示する（モード 2）の 2 つの番組表を表示できます。（工場出荷時は、モード 2 となっています。）設定は「各種設定」－「デジタル設定」－「番組表設定」－「表示方向設定」で行います。（→ **87**、**130** ページ）
  － D 映像コードで接続し、「D 映像出力設定」（→ **83** ページ）を「D3 ／ D4 ／ D5」に設定しているとき
  － HDMI コードで接続し、1125i または 1125p 出力されているとき
- 上記以外のテレビ（AV コード接続にしている）では、チャンネルが縦方向に並んだ 3 時間表示の番組表となります。
- デジタルハイビジョン対応テレビと接続していてチャンネルを縦方向に並べた番組表（モード 1）にしているときは、「小さな文字（高精細／ 6 時間表示）」と「大きな文字（3 時間表示）」の選択ができます。
  切り換えは次の方法で行えます。
  - リモコンふた内の［画面表示］を押す。
    小さな文字（高精細／ 6 時間表示）⇔大きな文字（3 時間表示）と切り換わります。
  - 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「表示文字サイズ設定」（→ **85** ページ）で切り換えられます。

新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横に並べ表示する画面例（「モード 2 ／小さな文字（高精細）」表示のみ）

※1 番組情報を示すマーク

マーク	内 容
※3 予	録画予約(BD）している番組
¥	有料放送
	録画できない番組
	1回だけ録画可能な番組

※3 毎週・毎日予約している場合は、番組欄には表示されません。

※2 ジャンルを示すマーク

マーク	ジャンル	マーク	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・講演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

縦にチャンネルを並べ、横に 6 時間分を表示する画面例（「モード 1 ／小さな文字（高精細）」設定時）

画面表示（リモコンふた内）または「表示文字サイズ設定」（→ **85** ページ）で表示のしかたを選べます。

縦にチャンネルを並べ、横に 3 時間分を表示する画面例（「モード 1 ／大きな文字」設定時）

■番組表 ［BSデジタル … テレビ］ レコーダー

	午後8時	午後9時	午後10時
1 011	お元気ですか		関東圏ネットニュース
2 021	情報B／家族／いな…／お父さんパア／デジタル特集		アニメ･そいじゃまる／討論会
4 041	ザ･芸能		ニュースアルファ
6 061	ちょうど	新情報／開拓	ニュースの林
8 081	チャンネルプラン	ニュース･スーパー	
5 051	スタアの休日		夕方バラエティ

で選択　予約は 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　終了 で終了
青 で番組情報を見る　赤 でジャンル検索　緑 で日時検索　黄 で予約リスト

高精細番組表の表示方法を切り換える

・「スタートメニュー」－「各種設定」－「デジタル設定」－「番組表設定」－「表示方向設定」で、「モード 1」または「モード 2」のいずれかを選んで切り換えることができます（→ **130** ページ）。

・表示文字サイズ設定（→ **85** ページ）が「大きな文字」に設定されているときは「モード 1」の表示のみとなります。

ご注意

・各放送局が随時最新のデータを送信しています。
・地上デジタル放送は、電源を切っていれば決められた時間（→ **129** ページ）に番組表データを自動で取得します。
・番組表データ取得中は、本体表示部に「EPG」が表示されます。データ取得中は電子番組表が表示されるまでしばらく時間がかかったり、本機の電源操作ができない場合があります。
・電源を入れてすぐに電子番組表を表示させたときや、本機が番組予約の情報を取得する動作をしているときは、電子番組表は表示されません。（空白となります。）

お知らせ

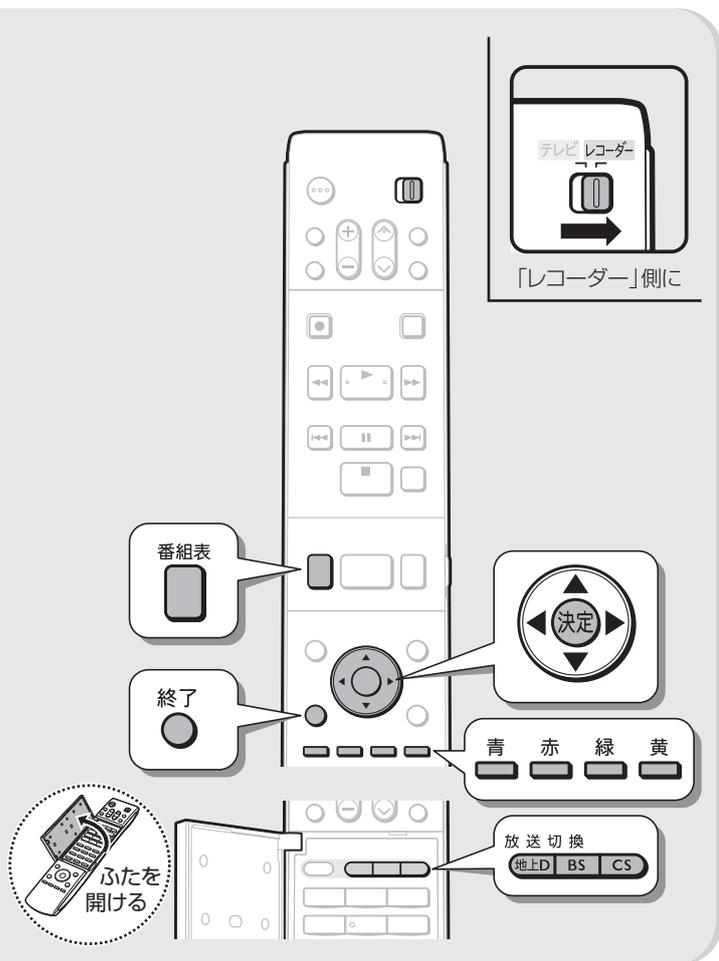
・電子番組表が表示されない場合については「故障かな？と思ったら」（→ **159** ページ）をお読みください。
・デジタル放送の電子番組表に何も表示されない放送局がある場合は、その放送局を選局してしばらくすると番組表が表示できるようになります。
・「ジャンルアイコン設定」（→ **87** ページ）により、番組表の「ジャンルを示すマーク」を目立たせることができます。

番組を選ぶには

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 デジタル放送を選びます

28 ページ

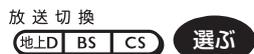
3 電子番組表を表示させます

4 番組を選んで決定します

［例］小さな文字（高精細／6時間表示）（モード 2）

・画面は、ハイビジョン対応テレビと、D 映像コードまたは HDMI コードで接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、大きな文字（3 時間表示）の番組表（モード 1）となります。詳しくは **30** ページをご覧ください。

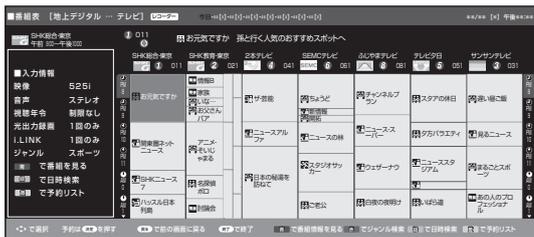
44、45 ページ

•番組表を消すには

または

終了 押す

選んだ番組の情報を見るには

1 番組情報を表示します

青 押す

2 見たい番組を選びます

・番組情報が 2 ページ以上あるときは、緑（前ページ）や 黄（次ページ）を押してページを切り換えられます。

・番組表に戻したいときは 青

メ モ

・現在見ている番組を録画することができます。（→ **42** ページ）

番組表を表示する日時を選ぶ

1 電子番組表を表示させます

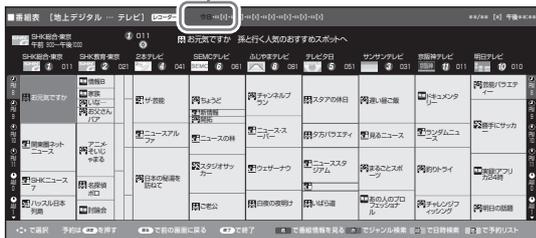
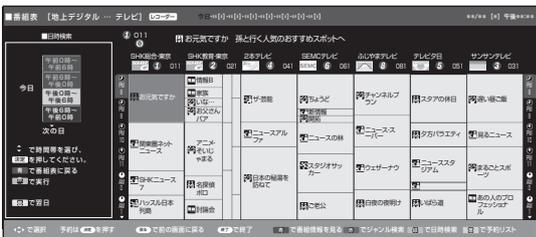
2 日時検索画面を表示させます

3 日付を選びます

- 黄 を押すたびに日付が進みます。
- 日付を戻したいときは 緑 を押します。

日付が変わります。

4 時間帯を選んで決定します

または

5 番組を選んで決定します

放送中の番組 ⇨視聴
未放送の番組 ⇨録画予約

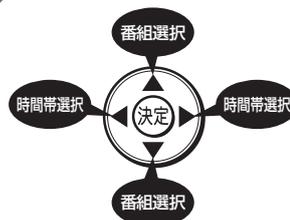
- 大きな文字（3 時間表示）と小さな文字（高精細／6 時間表示）では情報量が異なります。

お好みのジャンルの番組をさがす

1 電子番組表を表示させます

2 ジャンル検索を表示させます

3 ジャンルを選んで決定します

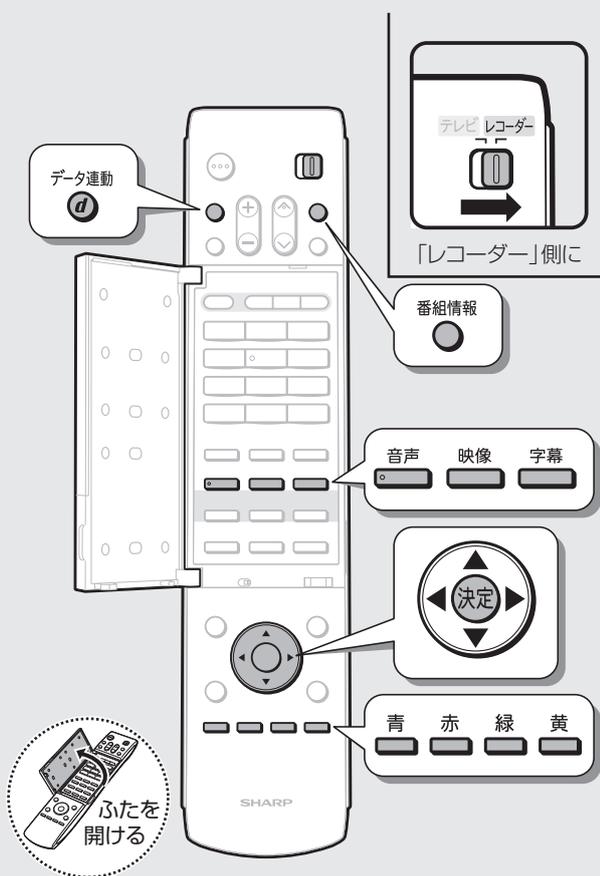
4 時間帯を選び、番組を選びます

- 電子番組表（モード 1）（→ **31** ページ）を「大きな文字（3 時間表示）」にしているときは、ジャンル検索の画面に番組終了時刻は表示されません。
- 黄 を押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑 を押します。
- 画面は、ハイビジョン対応テレビと、D 映像コードまたは HDMI コードで接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、大きな文字（3 時間表示）の番組表（モード 1）となります。詳しくは、**30** ページをご覧ください。

5 決定します

放送中の番組 ⇨視聴
未放送の番組 ⇨録画予約

- 大きな文字（3 時間表示）と小さな文字（高精細／6 時間表示）では情報量が異なります。

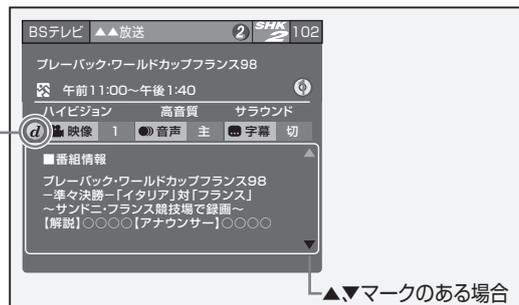
番組を見ながら使えるボタン

番組情報や連動データ放送を見たり、音声、字幕、映像を切り換えます。

マルチビューサービス放送などをBDに録画して再生する場合は

・再生できる映像は主映像のみとなります。また字幕や番組情報は表示できません。
・連動データ放送は録画できません。

番組情報・連動データ放送を見るには

1 視聴中に番組情報を表示させます

・もう一度押すと番組情報が消えます。

2 連動データ放送を表示させます

・画面の指示に従って操作してください。

主音声・副音声を切り換えるには

番組情報に「音声」表示がある場合

音声
押す
（ふた内）

・ボタンを押すたびに音声が切り換わります。

二重音声番組のとき
・主 → 副 → 主／副 → 主

マルチ音声番組のとき
・音声１→音声２……音声８※→音声１

※番組により音声の数は異なります。

・モノラル放送やステレオ放送の音声は切り換わりません。

字幕を切り換えるには

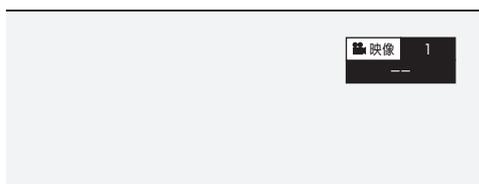
番組情報に「字幕」表示がある場合

・ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

・放送を録画した BD-RE の再生時は字幕を表示できません。

主映像と副映像を切り換えるには

番組情報に「映像」表示がある場合

・ボタンを押すたびに映像が切り換わります。

音声切り換えについて

・マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず「音声 1」が選択されます。
・二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
・二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

字幕を消したいときは

・「字幕表示設定」（→ **87** ページ）が「する」に設定されているときは、字幕は消せません。「しない」に設定してください。

メ モ

連動データ放送の録画について

・連動データ放送は録画できません。

録画をする前に

本機で録画・予約録画をする前にお読みください。

重要

・録画・予約録画をする際は、必ず録画用ディスクをセットしてください。再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）が本機にセットされているときは、放送の視聴・予約は行えません。

本機で録画（ダビング）ができるディスク

・本機で録画に使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスクです。
・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

<table>
<tr><th colspan="2">機種名</th><th>BD-AV1</th><th>BD-AV10</th></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクの種類
ディスクの特長</td><td>Blu-ray Disc
BD-RE （12cm 盤）</td><td>Blu-ray Disc
BD-RE （12cm 盤）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクのバージョン</td><td>Ver.2.1（SL/1 層のみ）</td><td>Ver.2.1（SL/1 層および DL/2 層）</td></tr>
<tr><td colspan="2">繰り返し録画</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">追加録画</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">放送を録画</td><td>録画可能の番組の録画</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>1 回だけ録画可能の番組の録画</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>録画禁止の番組の録画</td><td colspan="2">×</td></tr>
<tr><td colspan="2">i.LINK 機器からのダビング</td><td colspan="2">○※1</td></tr>
<tr><td colspan="2">新品のディスクを使うとき</td><td colspan="2">初期化が必要です。（自動で初期化されます。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">再初期化</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">他の機器で録画したディスクを再生する</td><td colspan="2">○※2</td></tr>
</table>

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質･音質の保証はいたしかねます。

※ 1　i.LINK ダビングができるのは、シャープ製ハイビジョンレコーダーの HDD に HD/SD 録画された番組です。それ以外で録画された番組はダビングできません。
また、本機から他機へのダビングはできません。

※ 2　BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
他の BD レコーダーで録画した BD-RE には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。

本機で録画可能な BD-RE ディスクについて

・ソニー、パナソニック、TDK、三菱化学メディア製の BD-RE Ver.2.1（BD-AV1 は SL/1 層のみ、BD-AV10 は SL/1 層および DL/2 層）ディスクに録画することが可能です。
上記以外のディスクは録画できないことがあります。（2007 年 9 月現在）

録画の種類について

今見ている番組を録画したい → 放送中の番組録画 ▶ 42ページ

デジタル放送を予約録画したい → 電子番組表から ▶ 44ページ
日時・チャンネル指定 ▶ 48ページ

予約の変更について

予約内容を確認・変更・取消したい → 51ページ

ご注意

- 地上アナログ放送は受信できません。録画できる放送はデジタル放送のみです。
- 本機は DVD ディスクへの録画はできません。
- 予約の最大件数は 16 番組です。それ以上の予約はできません。（件数には電子番組表予約、日時指定予約が含まれます。）
- 16 件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

予約録画実行中の制限について
- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、予約録画を停止させてから設定してください。

メ モ

■本体表示部のあかりが気になるときは
- 電源を切った状態で予約録画が始まると、本体表示部のバックライトが点灯します。就寝中などであかりが気になる場合は、バックライトを点灯しないようにすることもできます。（→ **86** ページ「本体ライト設定」）

お知らせ

■予約録画のしかた
- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作し直してください。

■操作中に録画開始時刻が近づいた場合
- テレビ画面にメッセージが表示されます。

こんな録画のしかたがおすすめです

ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには
→ 本機の BD に録画すると、ハイビジョン放送がそのままの画質で録画されます。

延長される可能性のある番組の録画をするには
→
- 予約録画で「延長」を「入」に設定してください。（→ **47** ページ）
- 電子番組表から予約した場合は、「延長」は自動的に「入」に設定されます。

録画した番組の構成

録画した番組は、１回の録画ごとに**「タイトル」**として記録されます。各タイトルは「録画リスト」に一覧表示され、再生ができます。（→ **54**、**55** ページ）

・検索するときに便利です。

・「タイトル」「チャプター※」「録画リスト」の関係は以下のとおりです。

※ 本機にはチャプターマークの記録機能はありません。

録画リストの画面例

■録画リスト（BD：オリジナル）　＊＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊

BD残時間：HD BS 1時間10分

BS 103　春のイタリア観光

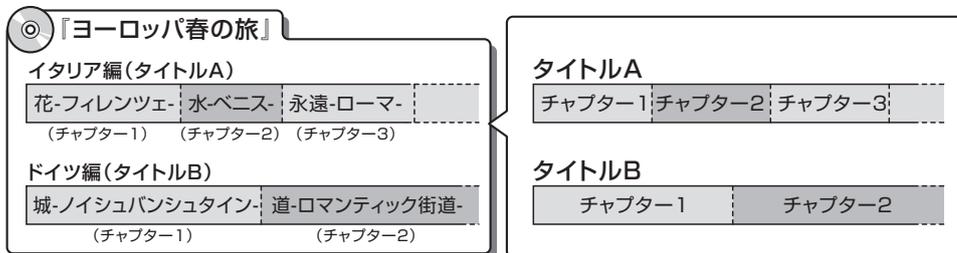
SHK h

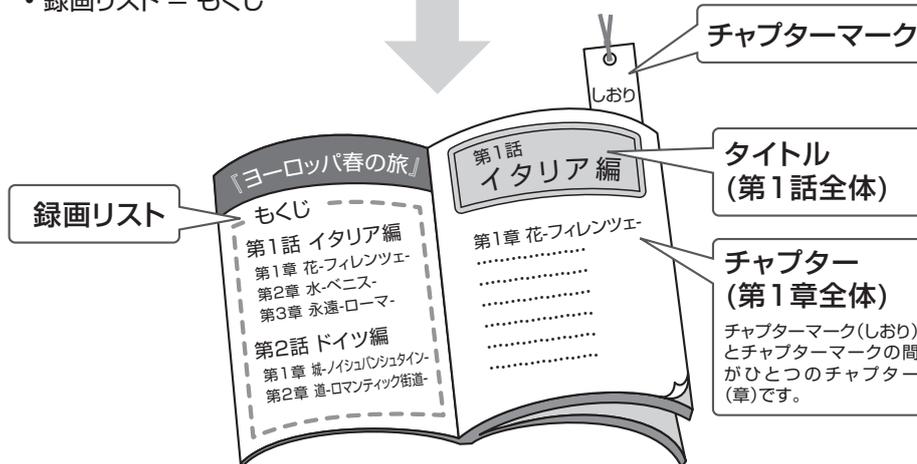
＊＊／＊＊［＊］午後10:00　30分 HD

1	春のイタリア観光	＊＊／＊＊［＊］	30分	HD
2	K－5格闘技選手権	＊＊／＊＊［＊］	30分	HD
3	新春、芸能人大集合	＊＊／＊＊［＊］	30分	SD
4	マニュアル浜口夫人	＊＊／＊＊［＊］	30分	SD

1／全4タイトル

で選択し 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　終了 で終了　緑 プレイリスト

例）市販のディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。

• タイトル ＝ 話
• チャプター ＝ 章
• 録画リスト ＝ もくじ

録画画質と録画時間

デジタル放送を本機の BD に録画する場合、HD/SD（放送画質）で録画されます。録画時間の目安は次のとおりです。

	【BD-AV1 ／ BD-AV10】 BD-RE（SL/1層式）録画時間	【BD-AV10】 BD-RE（DL/2層式）録画時間	参考画質（VHSとの比較）
ハイビジョン画質（HD）	HD（BS/110度CS ハイビジョン放送） 約2時間10分	HD（BS/110度CS ハイビジョン放送） 約4時間20分	S-VHSクオリティー以上
ハイビジョン画質（HD）	HD（地上D ハイビジョン放送） 約3時間	HD（地上D ハイビジョン放送） 約6時間	S-VHSクオリティー以上
デジタル標準画質（SD）	SD（標準画質） 約4時間20分	SD（標準画質） 約8時間40分	S-VHSクオリティー以上

・ BD-RE（DL/2 層式）に録画できるのは BD-AV10 のみです。
・ 録画時間は目安です。

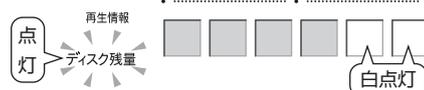
録画時間の算出について
・ BS/110 度 CS ハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準放送（SD）は約 12Mbps で算出しています。

・ 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
・ 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
・ デジタル放送受信中に表示される HD/SD（録画画質）の残量時間は、現在受信している放送に対しての録画残量時間です。

本体の残量表示について

停止時や録画時には、録画が可能なディスクの残量が本体前面のディスクメーターに表示されます。

停止時/録画時

ディスク残量を示します。

- 1目盛りは、BD-AV10をご使用の場合は約1時間、BD-AV1をご使用の場合は約30分となります。
- BD-AV10をご使用の場合は残時間が1時間未満に、BD-AV1をご使用の場合は残時間が30分未満になると点滅表示となります。
- 録画時は、残時間が5分未満になると早い点滅表示となります。

ディスク残量（残量時間）の確認

1 停止状態でディスク情報を表示させます

（ふた内）

• 押すたびに「ディスク情報表示」⟷「消える」となります。

1 再生中、録画中に表示を切り換えます

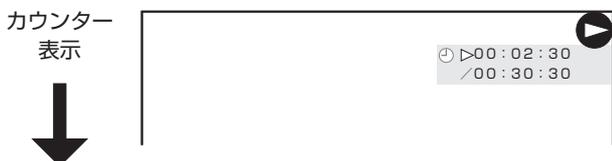
（ふた内）

押すたびに「ディスク情報表示」→「カウンター表示※」→「消える」

※録画・再生時にカウンター表示します。

画面は再生中の例です。

・残時間表示には、現在視聴している放送に合わせて地上D（地上デジタル）、BS、CSがあります。

お知らせ

- 残量が足りない場合は、録画や予約ができない場合があります。
- デジタル放送受信中に表示されるHD/SD（録画画質）の残量時間は、現在受信している放送に対しての録画残量時間です。
- 録画できないDVDディスクまたは残時間のないBD-REがセットされた場合は、「残　0時間00分」や空欄で表示されます。

デジタル放送の録画について

■ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには

本機のBDには、ハイビジョン番組がそのままの画質で録画されます。

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
・放送内容に合わせてHD（ハイビジョン画質）やSD（標準画質）で録画されます。

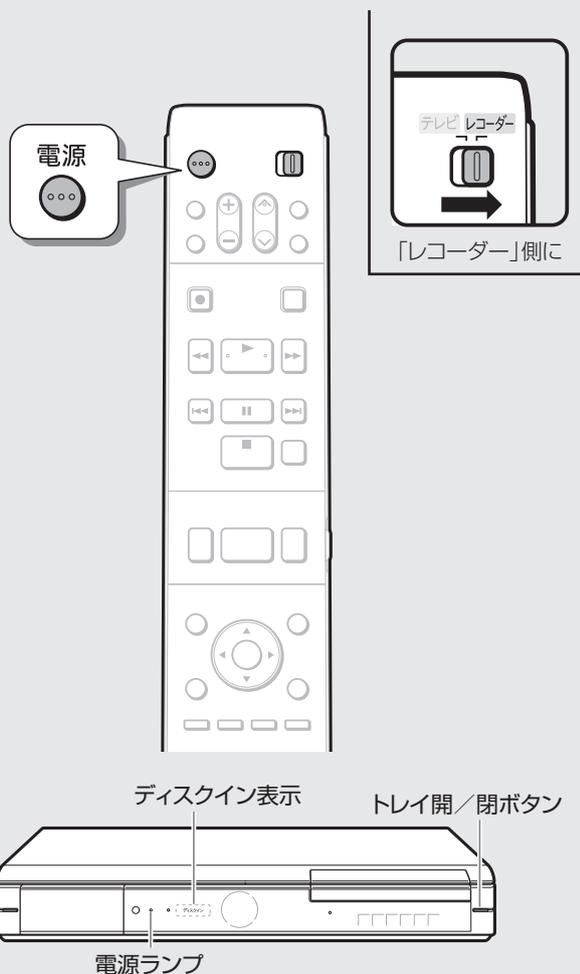
マルチビューサービス放送などをBDに録画して再生する場合は

- 再生できる映像は主映像のみとなります。また字幕や番組情報は表示できません。
- 連動データ放送は録画できません。
- 録画画質はSDまたはHDに固定されます。変更できません。

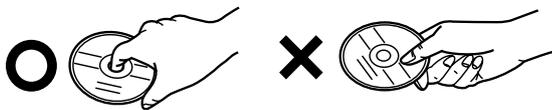
■コピー制御信号について

デジタル放送には「録画可能」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類のコピー制御信号が含まれています。
録画禁止の番組は録画できません（視聴のみ）。

ディスクの入れかた・出しかた

BD や DVD などのディスクの入れかたと取り出しかたについて説明します。

・本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」（→153 ページ）をご覧ください。
・ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚です。2 枚以上セットすると、故障の原因となります。
・BD-RE 以外のディスクをセットしたときは、録画できないディスクのため放送は映りません。再生ディスク用の画面が表示されます。

ディスクの持ちかた

・光っている面に手を触れないように持ってください。
指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。

・ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。
・指紋や傷などをつけると記録可能時間が短くなります。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

電源

押す ⇨電源入

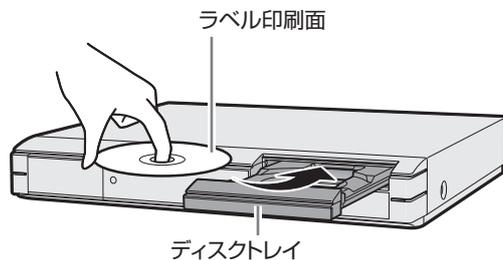
・本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。

2 本体のトレイ開／閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

⇨ディスクトレイが開きます。

・トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

・電源が切れているときでも本体の「トレイ開／閉」ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます

・ラベル印刷面を上にして置きます。
・両面記録のディスクは、録画または再生したい面を下にして置きます。

4 本体のトレイ開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉めます

⇨ディスクトレイが閉まります。

・ディスクの読み込みを行いますので、しばらくお待ちください。
・本体前面のディスクイン表示が緑色点灯します。
・未使用の BD-RE をセットしたときは、録画するための準備「初期化」が自動で始まります。

・BD-RE 以外の再生用ディスクをセットしたときは自動的に再生が始まります。
・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

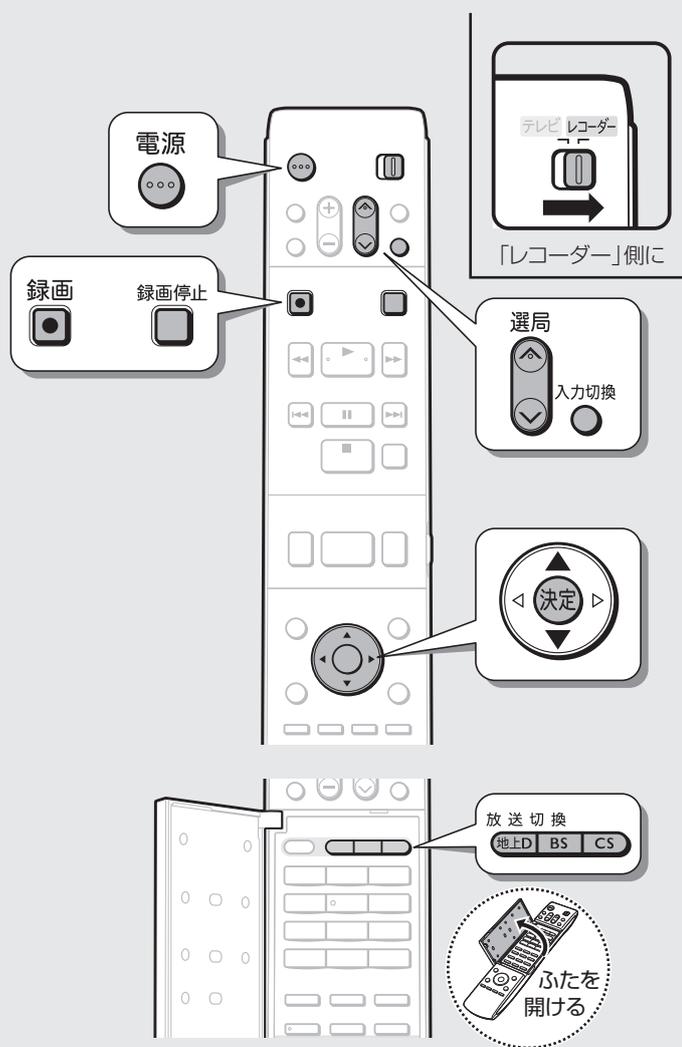
ディスクの出しかた

本体のトレイ開／閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

▶ディスクを取り出す

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

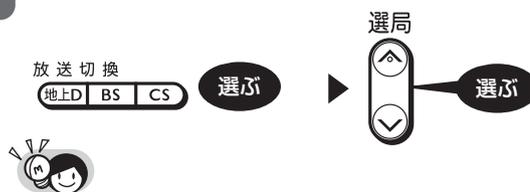
今見ているデジタル放送の番組をその場で BD-RE Ver.2.1 に録画します。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 録画用 BD-RE Ver.2.1 ディスクをセットします 41 ページ

- 必ず「for VIDEO」､「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 未使用の BD-RE ディスクをセットしたときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。

▼本体表示部

- 表示が「100」になったら初期化が完了します。

3 録画したい番組を選局します

・ディスクへの録画可能時間「残時間」を確認したいときは、**40** ページをご覧ください。
・録画用ディスク BD-RE Ver.2.1 以外の再生専用ディスクがセットされているときは放送は映りません。

4 録画を始めます

録画 押す

⇨BD ランプがオレンジ点灯に
⇨テレビ画面に REC マーク表示

- 録画ボタンを押してから録画が開始されるまで約 3 秒間要します。
- 電子番組表で区切られた、番組の開始時刻約 2 分前を過ぎて録画を開始すると、次の番組の終了時刻が設定されます。

ご注意

- DVD ディスクに録画することはできません。
- BD-RE に録画できる番組数：200 番組
- 「録画予約」の開始時刻になると､録画が停止されます。(録画予約優先)
- 録画が禁止されている番組や独立データ放送やラジオ放送は録画できません。
- 録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、その番組は保存されません。

お知らせ

- 録画画質と録画時間については→ **39** ページ
- 本機は、外部機器（外部チューナー、CATV ボックスなど）からの録画はできません。

5 録画の終了時刻を確認します

• デジタル放送を録画したときは、テレビ画面に録画終了時刻のメッセージが表示されます。
録画終了時刻のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。
終了時刻　午後　9:00

• 終了時刻より前に録画を止める場合は、録画停止 を続けて 2 回押してください。

録画終了時刻の表示について

• 以下の場合は番組終了時刻が設定されず、メッセージは表示されません。
  · 録画した番組の終了時刻と重複する予約があるとき。
  · 残量が不足するとき。
• 予約録画と重複するときは、録画中の番組は途中で録画停止となり、予約録画が実行されます。
• ディスク残時間が足りないときは、ディスクが満杯になるまで録画を続けます。
• 途中で録画を停止するときは、録画停止 を押します。

「この番組の最後まで」を設定したとき

• 設定した時点での番組表情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
• 実際の放送が延長されても、延長部分は録画されません。

録画終了時刻を設定したとき

• 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
• **録画停止後に電源が切れるようにしたいときは、**終了時刻を設定した後に 電源 を 1 回押します。

·「この番組の最後まで」は、設定時点での番組情報に基づいて録画を行います。
そのため、設定後に番組延長情報が更新されていた場合などは、番組の最後まで録画されないことがあります。

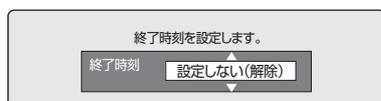
お知らせ

• **録画停止した後、数秒間は BD ランプがオレンジ色で点灯しています。ディスクへ情報を記録しているためで、故障ではありません。**

録画終了時刻を設定し直すには

1 終了時刻設定画面を表示させます

録画中に

終了時刻を設定します。
終了時刻　設定しない(解除)

• 電子番組表で番組情報が取得されていないときは、「この番組の最後まで」は設定できません。

2 終了時刻を選んで決定します（15 分単位）

• 設定を解除したい場合は、「設定しない（解除）」を選びます。

録画中に別の番組を見たいときは

テレビのチャンネルを切り換えて別の番組をご覧ください。

• **本機のリモコンで操作するときは**

「テレビ」側に

①テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします。
②選局ボタンでチャンネルを切り換えます。

• **120** ページのテレビメーカー指定で設定したテレビを本機のリモコンで操作できるのは「電源」「音量」「選局」「入力切換」などの各ボタンです。
詳しくは **18**、**120** ページをご覧ください。

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

デジタル放送を電子番組表で予約する（らくらく一発予約）

デジタル放送を電子番組表から希望の番組を選ぶだけで予約設定できます。7 日先まで予約録画できます。

重要

・再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、番組表は表示できません。ディスクを取り出すか、または録画用のディスクをセットしてから操作してください。

録画予約ランプ

1 ① テレビと本機の準備をします

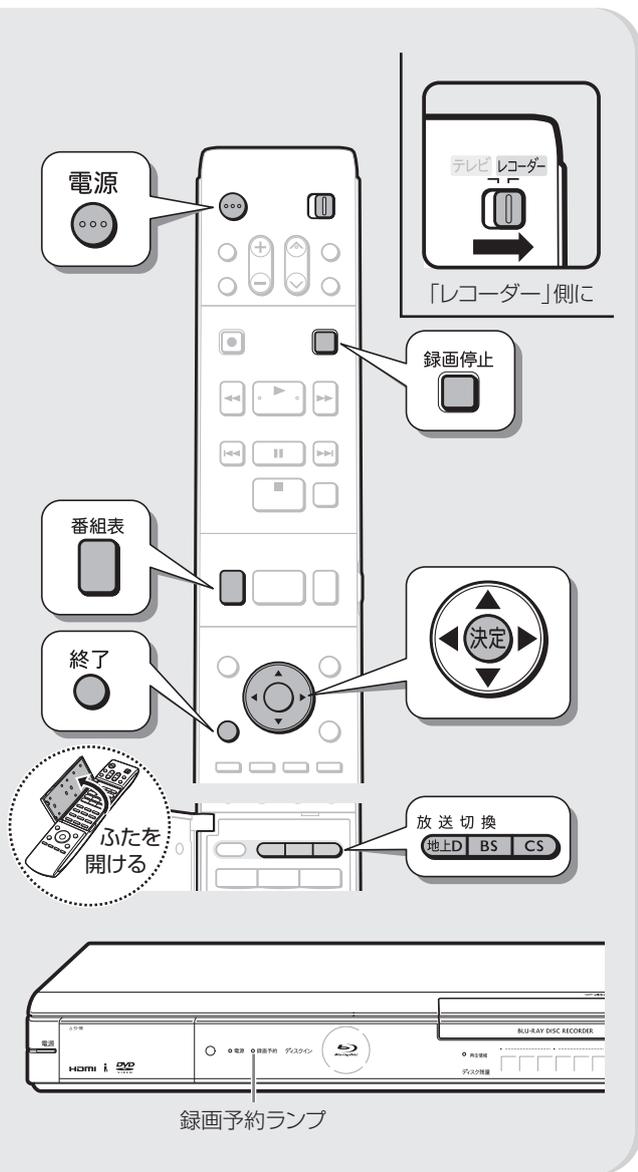
25 ページ

② 録画用の BD-RE Ver.2.1 ディスクをセットします 41 ページ

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

2 予約したいデジタル放送を選びます

▼テレビ画面の表示

画面左上で、選んだ放送の種類が確認できます。

3 番組表を表示させます

▶番組表を表示

4 予約する番組を選んで決定します

・翌日以降の番組を予約するときやジャンルで検索する番組など、電子番組表の使い方について詳しくは（→ **30** ページ）
・現在放送中の番組を選択したときは、予約（録画）されず、選択した番組が選局されます。

選んでいる番組（黄色で表示されます）

選ぶ
番組選択

決定する

決定した番組に「予約マーク」が表示されます。

5 番組表を消します

終了

・開始時刻になると、録画が始まります。
・電源を切っても録画予約は働きます。

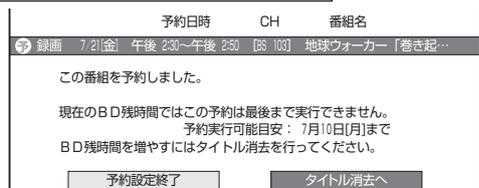
⇨ **BD の残量が十分な場合、これで録画予約が完了します。**

・本体前面の録画予約ランプが点灯します。
・BD の残量が少なく録画しきれないときは、タイトル消去（→ **69** ページ）が行えます。
・予約録画した番組と同じ時間帯に重複する予約があるときは、予約変更画面（→ **51** ページ）が表示されます。

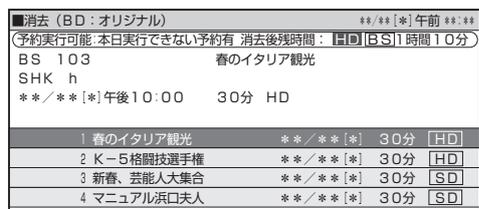
・毎週（毎日）予約の設定をしたいときは、（→ **46**、**49** ページ）

■ BD ディスクの残量が不足している場合

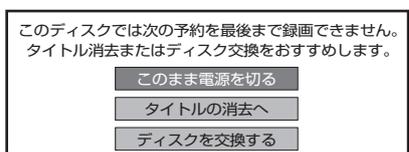
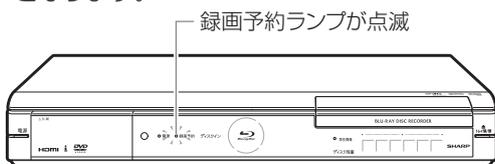
・手順 4 で決定を押したあと次のような画面になったときは、BD ディスクの残量が足りないため、BD ディスクの残量を増やすためのタイトル消去を行うことができます。

タイトル選択消去を行うとき

・「タイトル消去へ」を選んで決定を押すと、タイトル消去画面になります。

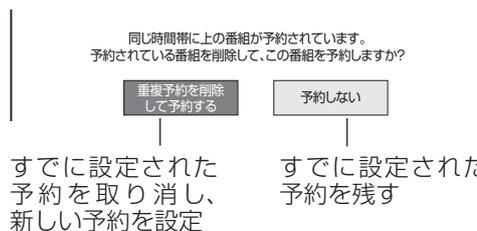
■消去（BD：オリジナル） ＊＊/＊＊[＊]午前＊＊:＊＊
予約実行可能:本日実行できない予約有 消去後残時間： HD BS 1時間10分
BS 103 春のイタリア観光
SHK h
＊＊／＊＊[＊]午後10:00 30分 HD

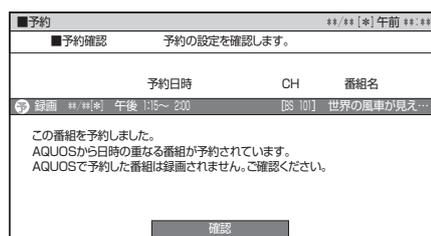
1 春のイタリア観光	＊＊／＊＊[＊]	30分	HD
2 K－5格闘技選手権	＊＊／＊＊[＊]	30分	HD
3 新春、芸能人大集合	＊＊／＊＊[＊]	30分	SD
4 マニュアル浜口夫人	＊＊／＊＊[＊]	30分	SD

・見終わった番組など不要なタイトルを選んで決定を押すと、タイトルの消去が行えます。タイトル消去について詳しくは **69** ページをご覧ください。

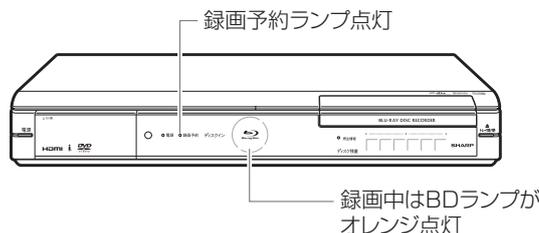
予約設定終了を選んだとき

・次の予約が録画しきれない状態で電源を切ると、不要なタイトルの消去またはディスクの交換を促す画面が表示されます。（ディスクが入っていないときは「タイトルの消去へ」は表示されません。）

・「タイトルの消去へ」を選んだときは、タイトル消去画面になります。
・「ディスクを交換する」を選んだときはディスクトレイが開きます。
・未記録のディスクがセットされているときは、画面は表示されません。電源が「切」となります。
・ディスクが入っていないまたはディスク残量が少ないために録画しきれない予約録画がある状態で、電源を切ったときは、本体前面の録画予約ランプが点滅表示となります。

■予約録画した内容を変更したいときは、46 ページまたは 51 ページをご覧ください。
■その他のメッセージについては、50 ページをご覧ください。

■予約の重複について

・手順 4 で決定を押したあと次のような画面になったときは、既存の予約と重複しています。このようなときは、既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

ファミリンク対応アクオスからの予約と重複した場合

・次のような画面になります

・予約設定を終了すると本機の予約が実行され AQUOS で予約した番組は録画されません。

開始時刻になると、録画が始まります。

ご注意

・番組が始まるまで2分を切ると、予約ができません。
・B-CAS カードを必ずセットしてください。
・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などは予約を行っても録画できません。
・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・放送は i.LINK（TS）端子からは出力されません。

お知らせ

・放送を選んでから「スタートメニュー」-「録画予約・予約確認」-「番組表予約」を選んでも電子番組表が表示されます。
・放送局で番組の開始時刻が変更されると予約した録画が行われない場合があります。（「受信機レポート」にメッセージが出ます。（→ **148** ページ））
・電源を切っても、予約録画は行われます。予約後に電源を切った場合、あるいは録画予約中にリモコンの電源ボタンを 1 回押した場合は、予約録画終了後に自動的に電源が切れます。
・予約録画に関する注意事項については「録画をする前に」(→ **36** ページ）や「故障かな？と思ったら」(→ **161** ページ）を参照ください。

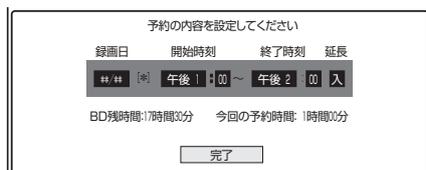
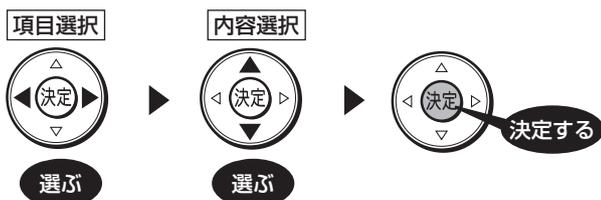
予約の内容を変更するには

1 番組表を表示し、予約した番組を選んで、決定を押します

2 「変更する」を選んで、決定を押します

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか?

取り消す　変更する　変更しない

3 設定内容を変更します

・録画日、開始時刻、終了時刻、延長などの項目ごとに内容の変更が行えます。

・設定内容について詳しくは（→ **49** ページ）

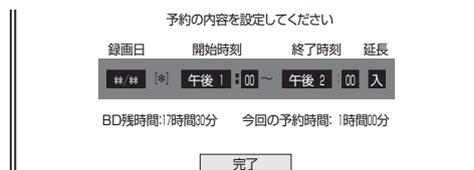
■延長予約について

・電子番組表で予約した番組は、「延長」が、自動的に「入」に設定されます。

・録画日 / 録画開始 / 終了時刻を変更した場合は、延長設定ができません。

お知らせ

・予約した番組が延長されたり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されないか、または番組の途中から予約が実行されます。（→ **47** ページ）

4 予約内容を確認し、「完了」を選んで決定します

5 「予約設定終了」で決定を押します

6 電子番組表を消すには

メ　モ

■予約録画中に録画を停止するには

録画停止 を続けて 2 回押す

■予約設定後に確認・変更・取り消しなどをするには

（→ **51** ページ）

電子番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を予約するときは、予約録画の終了時刻を延長できます。
- 予約を延長させたいときは、予約の確認･変更･取り消し（→**51** ページ）の予約設定画面で「延長」を「入」に設定します。

※電子番組表で予約した場合は、「延長」は自動的に「入」に設定されます。

延長を「入」にした場合

- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。

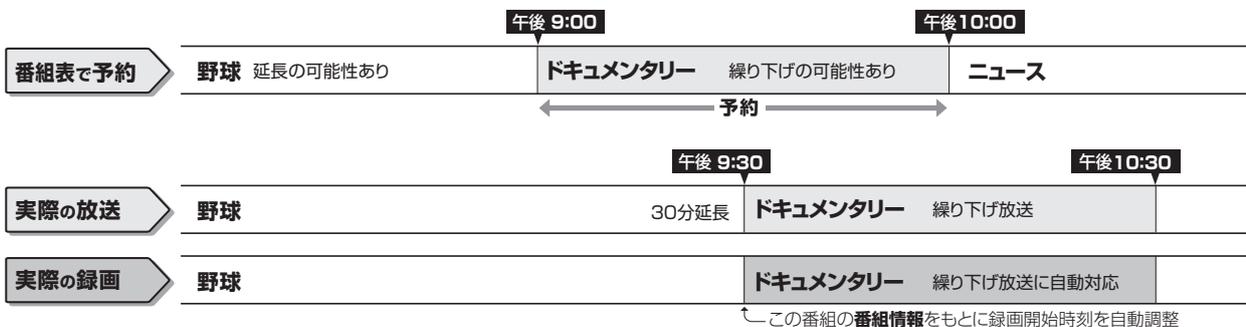
スポーツ番組を延長「入」で予約録画したとき

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。

前の番組が延長になった場合

- 前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、予約録画した番組の最後まで録画します。

繰り下げの可能性がある番組を予約録画したとき

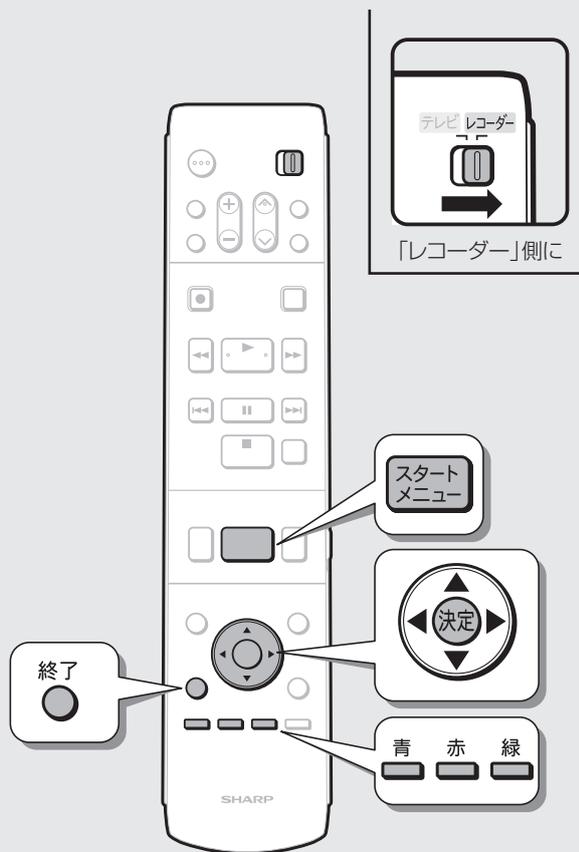
（延長する、しないにかかわらず働きます）

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。

日時を指定して予約する

電子番組表を利用しない場合など、番組が放送される日時とチャンネルを入力して予約します。

・再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、スタートメニューの「録画予約・予約確認」が選択できません。ディスクを取り出すか、または録画用ディスク BD-RE Ver.2.1 を本機にセットしてから操作してください。

ご注意

・録画予約が正しく実行されるためには、チャンネルが正しく設定されている必要があります。詳しくは **124** ～ **128** ページをご覧ください。
・番組が始まる 3 分前までに予約を完了してください。
・BD-RE Ver.2.1 ディスクに録画する場合は、必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「録画予約・予約確認」を選んで決定します

■スタートメニュー　＊＊/＊＊[＊]午前 ＊＊:＊＊

番組表から録画したい番組を選び、BDディスクに録画の予約をします。
予約リストでは予約の内容確認や変更、取り消しなどができます。

再生	録画予約 予約確認	BDディスク 内容消去
各種設定	お知らせ	BDディスク 管理

4 「日時指定予約」を選んで決定します

■予約　＊＊/＊＊[＊]午前 ＊＊:＊＊

予約確認／変更
予約リスト

予約設定
番組表予約
日時指定予約

・16 件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

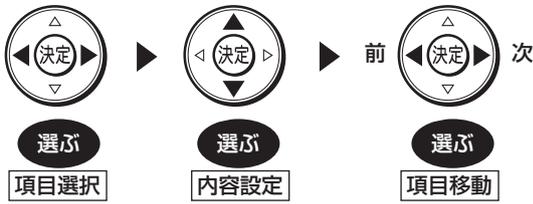
5 設定したい項目を設定します

6 設定内容を確認して完了します

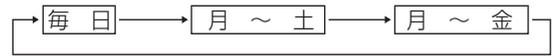
- 設定した内容が他の予約と重複していず、BD の残量が不足していないときは「予約設定しました。」と画面に表示されて、予約設定が完了します。
- 本体前面の録画予約ランプが点灯します。
- BD の残量が足りないときは、**45** ページをご覧ください。
- 予約の重複については、**45** ページをご覧ください。

7 設定画面を消すには

開始時刻になると、録画が始まります。

- 電源を切っても録画予約は働きます。

予約内容の設定項目

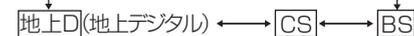
① 録画日

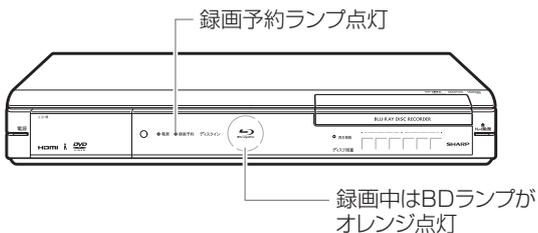
毎日予約したいときは、青 押す

毎週予約したいときは、赤 押す

- 日付を入力し直すときは、緑 押す

② 録画開始時刻・終了時刻

- 録画開始時刻の 3 分前をきったときは、「予約可能時間を超過しました。予約できません。」の表示が出ます。予約開始時刻を現在時刻より 3 分以上あけて設定し直してください。

③ 放送の種類

④ チャンネル

- 選んだ放送によって異なります。
- スキップを「する」に設定したチャンネルは表示されません。（→ **132**、**135** ページ）

お知らせ

- 本機は、外部機器（外部チューナー、CATV ボックスなど）からの予約録画はできません。

予約設定時のメッセージについて

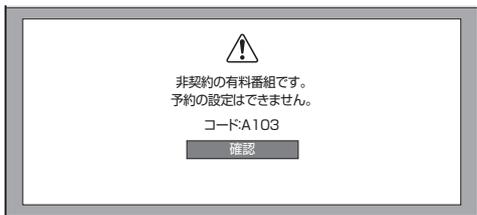
電子番組表でデジタル放送の番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

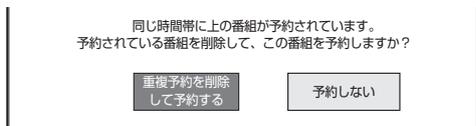
• 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

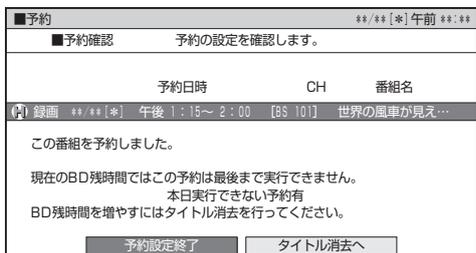
■ デジタル録画禁止の番組を予約したとき

•「確認」で(決定)を押してください。

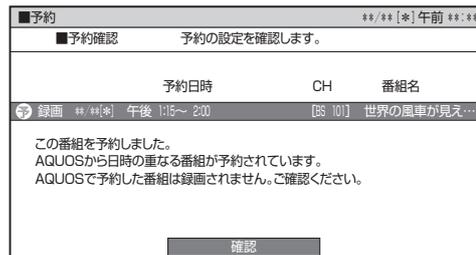
■ 非契約の有料番組を予約したとき

番組単位で購入契約が必要な有料番組です。本機では視聴できません。

•「確認」で(決定)を押してください。

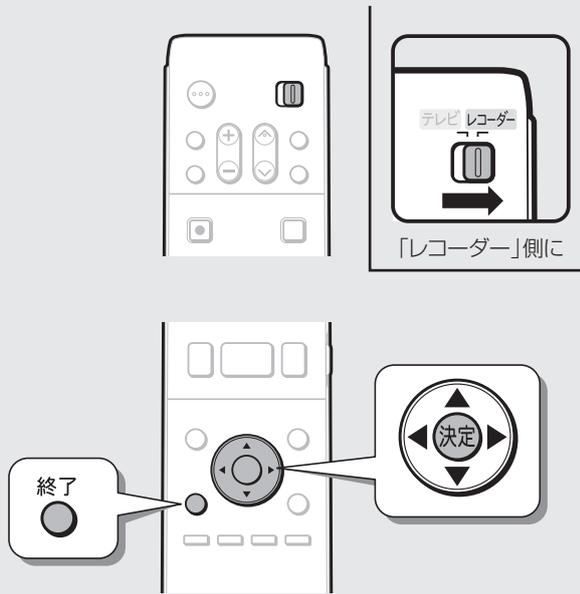
■ 設定した予約が他の予約と重複しているとき

• 詳しくは **45** ページをご覧ください。

■ ディスク残時間がなく設定した予約が録画できないとき

• 詳しくは **45** ページをご覧ください。

■ ファミリンク［1］（標準）予約（テレビの番組表からの予約）と本機の予約が重なったとき

予約が重なっているとファミリンク［1］（標準）予約が実行できないため、お知らせメッセージが表示されます。

• 詳しくは **77** ページをご覧ください。

予約を確認・変更・取り消す

予約内容の確認・取り消し・変更ができます。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 「スタートメニュー」－「録画予約・予約確認」－「予約リスト」を選んで決定します

・確認する⇨ 3 へ

・変更する⇨ 4 へ

3 予約の内容を確認します

確認だけの場合

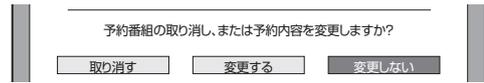
4 変更または取り消しをしたい番組を選んで決定します

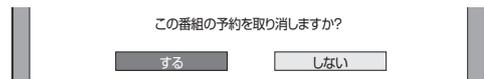
■予約　＊＊/＊＊ [＊] 午前 ＊＊:＊＊

予約実行可能：本日実行できない予約有

特選ミステリー　白い三角の謎　延長：　入

	予約日時	CH		実行
1	9/15 [金] 午前 9:30～午前 9:50	[地D 6]	特選ミステリー　白い三…	○
2	9/18 [月] 午後 9:00～午後10:00	[地D041]	世界のニュースアワー	○
3	9/21 [木] 午後10:00～午後11:00	[地D061]	木曜バラエティ「青春の…	×
4	9/27 [水] 午後 7:00～午後 8:00	[BS 101]	アニメ劇場「動物園のな…	×
5	9/30 [土] 午後 9:00～午後11:00	[地D041]	花のある風景・早春の房…	×

5 実行したい項目を選んで決定します

・予約を取り消す場合

取り消す ▶確認画面で する を選ぶ

・予約を変更する場合

各予約設定画面表示へ

49 ページ 5 ～ 7 の手順で変更できます。

予約リスト画面

① **予約録画延長設定表示**

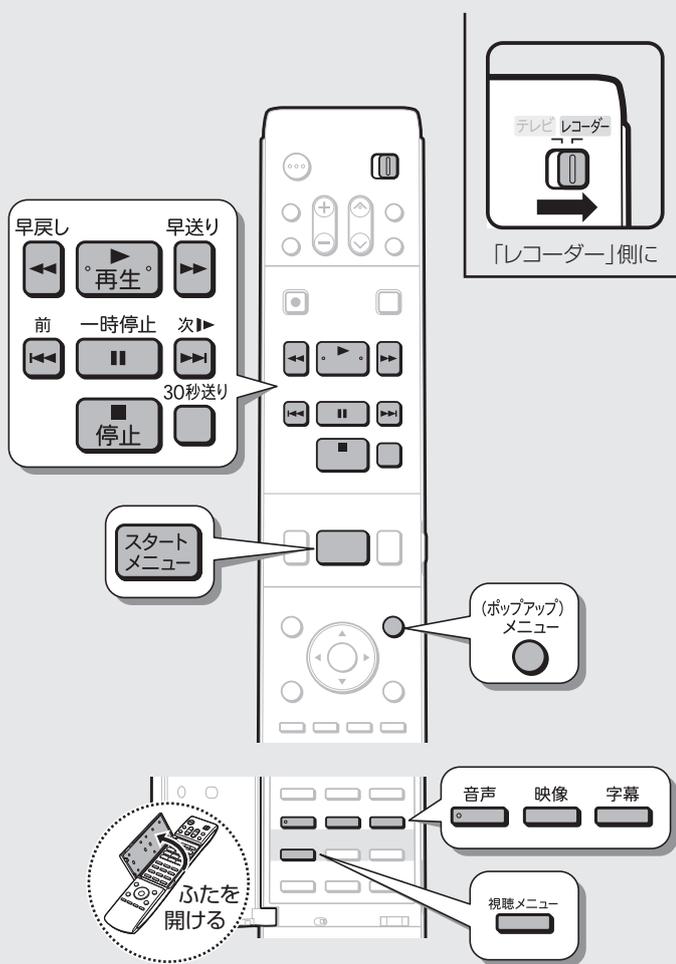
② **予約実行可能表示**

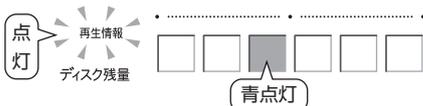
○ ：現在セットされている BD の残時間で録画可能であることを表します。

× ：現在セットされている BD の残時間では予約録画が実行できないことを表します。

※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。

再生について

BD や DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

再生中のディスクメーター表示について

再生中タイトルの現在の位置を示します。

• 1目盛りは、タイトルの総時間の1/6になります。

ご注意

・一般に BD や DVD の再生音量は小さく感じられるため、テレビの入力を切り換えたときなど、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。BD や DVD 再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生後必ず音量を下げてください。

お知らせ

・ 再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（→ **162** ～ **163** ページ）をご覧ください。

再生のしかた

BD-REに録画したタイトル（番組）を再生したい → 本機で録画したBD-REを再生する ▶**54**ページ

他機で録画したDVDディスクを再生したい → ファイナライズされたDVDディスクを再生する ▶**55**ページ

市販のBDビデオやDVDビデオ（映画など）を再生したい → 市販のBDビデオやDVDビデオを再生する ▶**57**ページ

音楽CDを再生したい → 音楽CDを再生する ▶**59**ページ

■停止中

⇨ 再生が始まります。

・前回再生を途中で停止していた場合は、その箇所から再生が始まります。（つづき再生）
・最初から再生したい場合は、録画リスト画面で再生したいタイトルを選び、「決定」ボタンを押してください。（→ **60** ページ）

再生中の便利機能

■いろいろな再生 ▶ 61 ページ

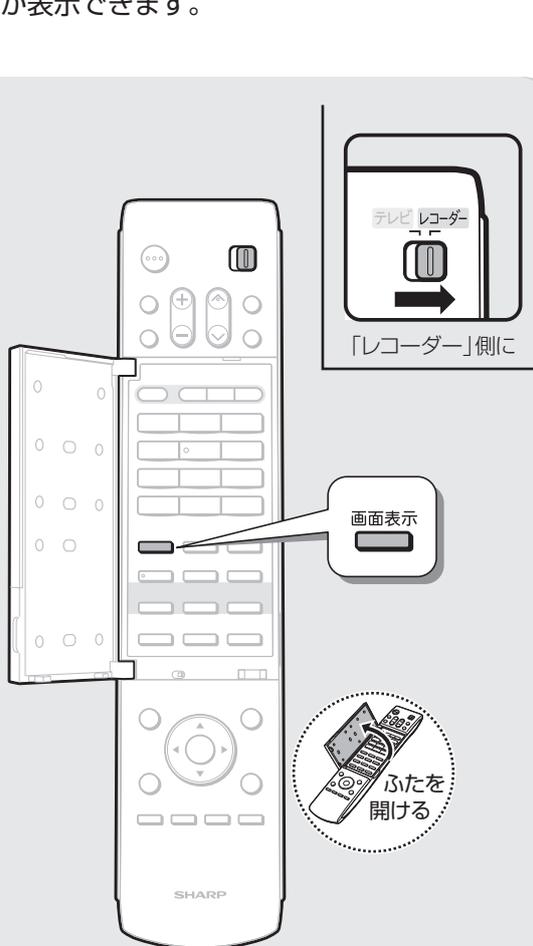
サーチやスロー再生、スキップなど、いろいろな再生ができます。

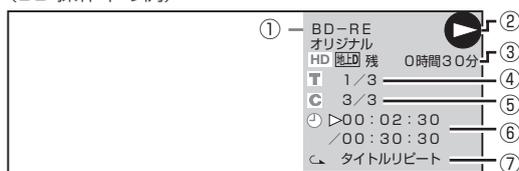
■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え ▶ 64 ページ

■くり返し再生する ▶ 68 ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

ディスクの残り時間やカウンター表示

再生時のカウンターなどの情報をテレビ画面に表示できます。録画用の BD-RE をセットしているときは、ディスクの残り時間が表示できます。

⇨ディスクの残り時間やカウンターを表示します（約 1 分後に自動的に消えます）

（BD 操作中の例）

・停止時はもう一度 画面表示 を押すと、消えます。再生 / 録画中であればカウンター表示だけになります。カウンター表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- セットしたディスクの種類を表示
- オリジナルタイトルを再生するかプレイリストを再生するかを表示
- DVDディスクを再生するときは、加えて録画フォーマットを表示
  VR:VRフォーマット
  V :ビデオフォーマット
- ファイナライズしたビデオフォーマットのDVDディスクをセットしたとき、および、ファイナライズしたVRフォーマットのDVD-Rをセットしたときは「ファイナライズ済」の表示になります。

② 動作表示
- 再生中（青いマーク）
- 録画停止時（赤いマーク）
- REC 録画開始時（赤いマーク）
- 再生停止時（青いマーク）

③ 残量時間（録画可能時間）を表示
- 表示される残時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。
- 残時間表示は、現在視聴している放送に合わせ、地上D（デジタル）、BS、CSがあります。
- 録画できないディスクがセットされたときは、ディスク残量表示部が空欄または「残 0時間00分」と表示されます。

④ 再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示
（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

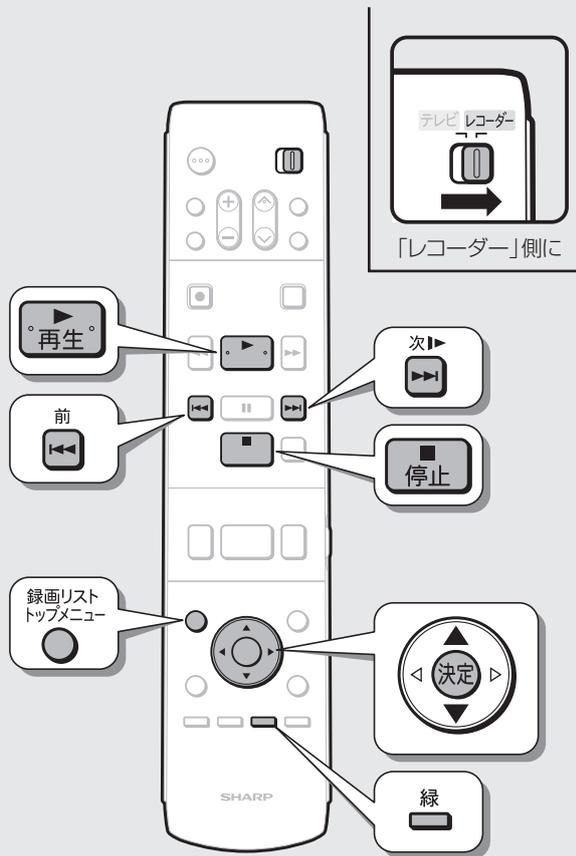
⑤ 再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示
（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑥ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示
録画中は、録画開始からの経過時間を表示

⑦ リピート再生をしているときに表示

- ディスク残量表示は、目安です。録画中の残量表示と録画停止時点での表示が一致しないこともあります。
- 一部の市販の BD ビデオでは、チャプターやカウンターの総時間表示が出ないことがあります。

本機で録画した BD-RE を再生する

本機または他の BD レコーダー※で放送を録画した BD-RE は、「録画リスト」から録画した番組を選んで再生します。
※デジタル放送を録画したディスクのみが再生可能です。

ご注意

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。

お知らせ

- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- BD をお使いになるときは、他の人がディスクやタイトルを消去しないよう「ディスク保護」を設定することができます。（→ 70 ページ）
- **デジタル放送を録画したディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。**
  - **番組情報は表示できません。**
  - **連動データは表示できません。**
  - **字幕は表示できません。**

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 再生する BD-RE ディスクをセットします 41 ページ

ディスクを再生する

3 再生 を押します

- 再生が始まります。
- 途中で停止した BD-RE を再生したときは、前回停止した位置から再生されます。
- ディスク保護を設定したディスクをセットしたときは、自動的に再生が始まります。

4 再生を止めるときは

- つづき再生について 60 ページ

BD-R ／ DVD-RW ／ DVD-R の再生は 55、56 ページ

見たい番組を選んで再生する

1 録画リストを表示させます

録画リスト トップメニュー 押す

- スタートメニューで「再生」を選んで決定し、録画リストを表示することもできます。

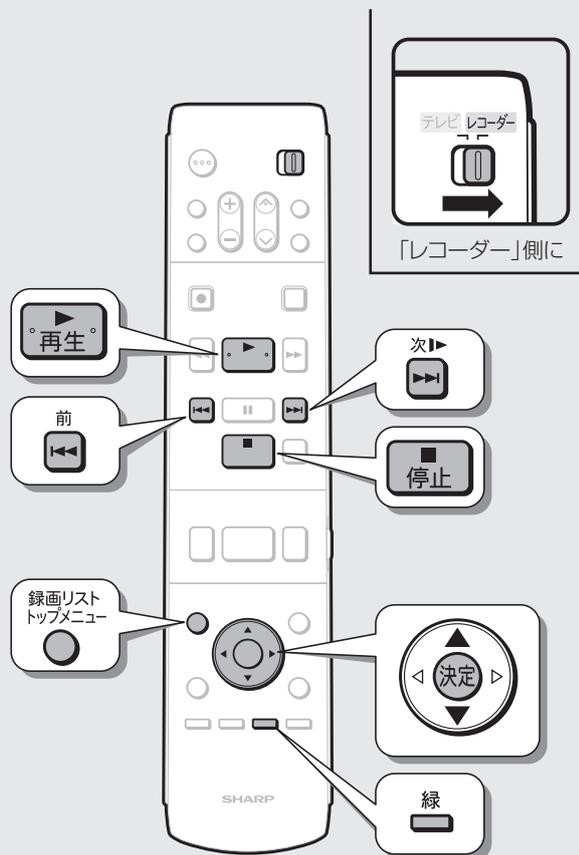
2 見たい番組（タイトル）を選んで決定し、再生します

録画リストの画面例

- **決定ボタンのかわりに 再生 を押して再生を始めることもできます。**
- **タイトルが 7 つ以上あるとき：前 次 でページを切り換えることができます。**

・他の BD レコーダーで録画したディスクにプレイリストがあるときは、緑（プレイリスト）を押すとプレイリスト画面に切り換えられます。

BD-R や DVD に録画されたタイトル（番組）を再生する

他機で録画した BD-R Ver.1.1 や DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

1 テレビと本機の準備をします

25 ページ

2 ディスクをセットします

41 ページ

• セットすると自動的に再生が始まります。

3 再生を止めるときは

• つづき再生について 60 ページ

DVD-RW ／ DVD-R ビデオフォーマットディスクの再生は 56 ページ

別のタイトルを再生したいとき

1 録画リストを表示させます

• スタートメニューで「再生」を選んで決定し、録画リストを表示することもできます。
• プレイリストのあるディスクでプレイリストを再生したいときは 緑（プレイリスト）を押します。

2 見たい番組（タイトル）を選んで決定し、再生します

⇨

• **決定ボタンのかわりに 再生 を押して再生を始めることもできます。**
• **タイトルが 7 つ以上あるとき： 前 次 でページ切換**

3 再生を止めるときは

• つづき再生について 60 ページ

ご注意

・BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
・他の BD レコーダーで録画した BD-RE には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。

お知らせ

・録画リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「*」表示となります。
・BD をお使いになるときは、他の人がディスクやタイトルを消去しないよう「ディスク保護」を設定することができます。（→ **70** ページ）
・**デジタル放送を録画したディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。**
  ・番組情報は表示できません。
  ・連動データは表示できません。
  ・字幕は表示できません。

次ページへつづく

ファイナライズされた DVD ディスクを再生する

ファイナライズされたディスクであれば他機で録画した DVD ディスクも再生できます。（ファイナライズされていない DVD ディスクは本機で再生できません。）

1 テレビと本機の準備をします ☞ 25 ページ

2 ディスクをセットします ☞ 41 ページ

• セットすると自動的に再生が始まります。

3 再生を止めるときは

■タイトルを選んで再生させるには

1 停止中にタイトルメニューを表示させます

録画リスト
トップメニュー
押す

2 タイトルを選んで決定します

選んで
決定
決定する
⇨ 再生

（タイトルメニュー例）

ご注意

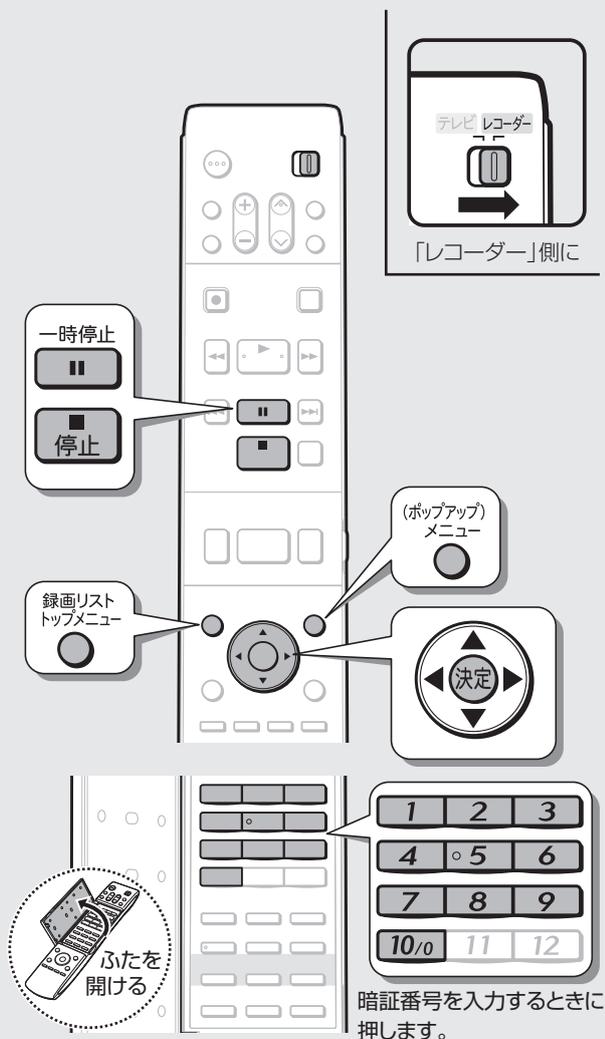
・DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。

お知らせ

・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

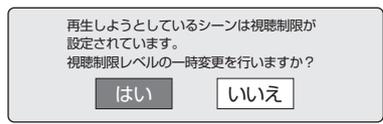
暗証番号を入力するときに押します。

1 テレビと本機の準備をします

25 ページ

2 ディスクをセットします

41 ページ

- セットすると自動的に再生が始まります。
- セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

- DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。

- BD 視聴制限年齢について 85 ページ

3 再生を止めるときは

お知らせ

- 市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
  ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
- 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販の BD ビデオの再生中、ディスクによっては自動で静止画になるものもあります。このようなディスクを再生し、自動で静止画になったときは 一時停止 を押して静止画を解除できます。

メモ

- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」(→**58**ページ）と同じ操作で表示できます。

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 再生中にトップメニューを表示させます

録画リスト
トップメニュー
押す

トップメニューの例

トップメニュー
1 ジャズ　2 ラテン音楽
3 クラシック　4 ロック

・画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 再生中にディスクメニューを表示させます

ディスクメニューの例

・画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

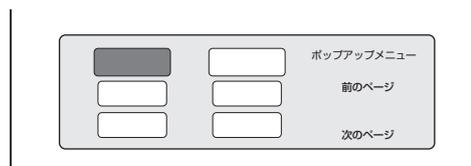
ポップアップメニューを表示させるには

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

BD ビデオには､再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示させます

ポップアップメニューの例

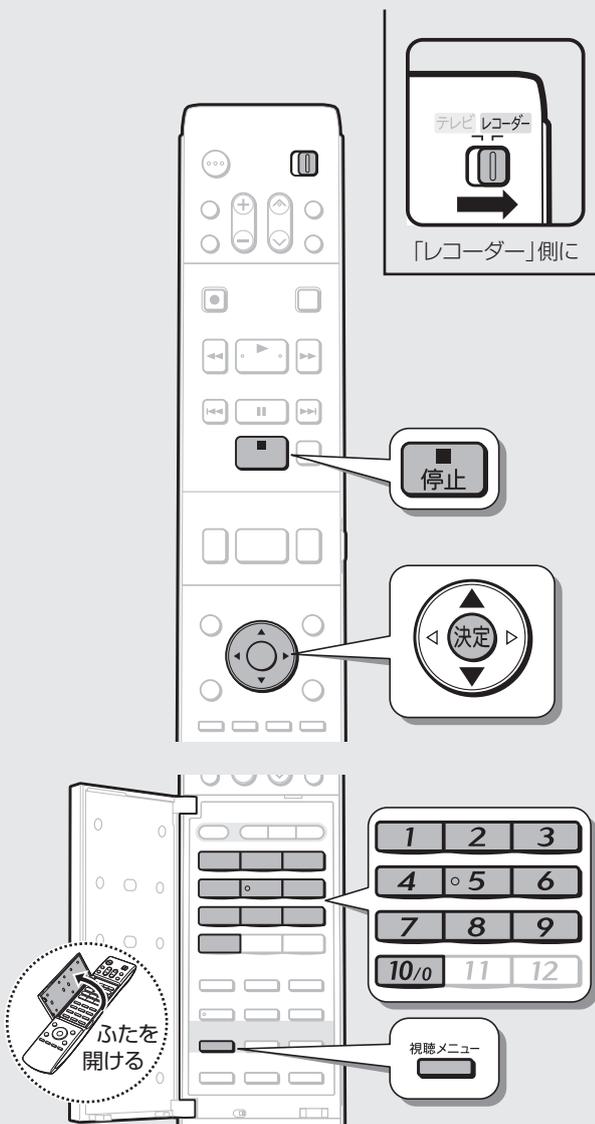
ポップアップメニュー
前のページ
次のページ

・ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 項目を選んで決定します

3 操作が終ったら、ポップアップメニューを消します

・ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

音楽CDを再生する

市販の音楽CDを再生できます。

1 テレビと本機の準備をします 25ページ

2 CDをセットします 41ページ

- 自動的に再生が始まります。

3 再生を止めるときは 停止 押す

曲を選んで再生させるには

1 CDをセットして視聴メニュー画面を表示させます

（ふた内）

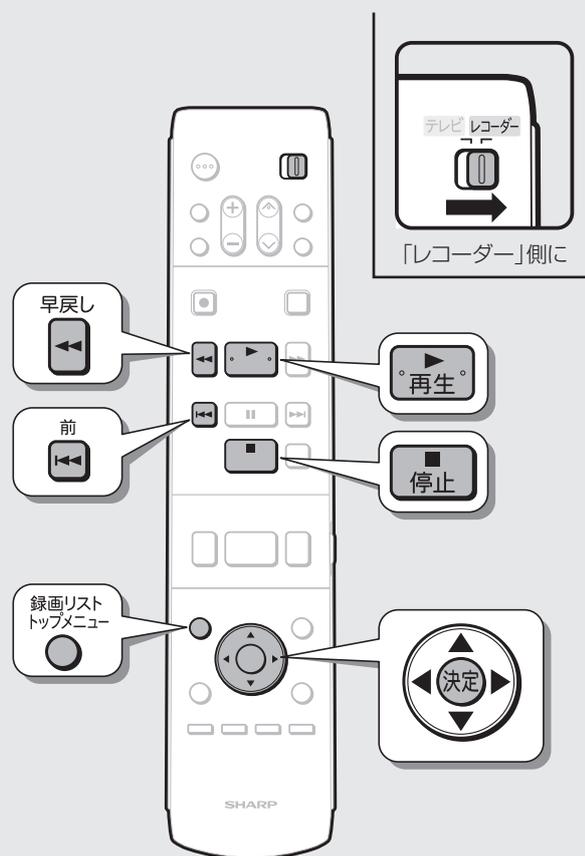
2 「T」を選んで決定します

3 曲番号を選んで決定します

・選んだ曲から再生されます。

・リモコンの数字ボタンでも曲番号を指定できます。

停止した場所からつづけて再生する（つづき再生）

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

- BD-RE 以外のディスクでは、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うとつづき再生が働きなくなります。
- 音楽用 CD はつづき再生が働きません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かないまたは正常に働かない場合があります。

再生ボタンでつづき再生するには

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

- 再生を停止した後で、[再生]を押すと、つづきから再生できます。

途中で止めたタイトルをはじめから再生するには

■ BD ビデオや DVD ビデオの場合

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

- [停止]を 2 回押して停止した後、[再生]を押すと、はじめから再生されます。

■ BD や DVD ディスクの場合

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

- [再生]を押し、つづきから再生した後、[前]または[早戻し]を押してはじめに戻します。

別のタイトルを再生するには

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

- [再生]を押すとつづき再生になる場合でも、「録画リスト」を使うとはじめから再生できます。

1 録画リストで再生したいタイトルを選びます

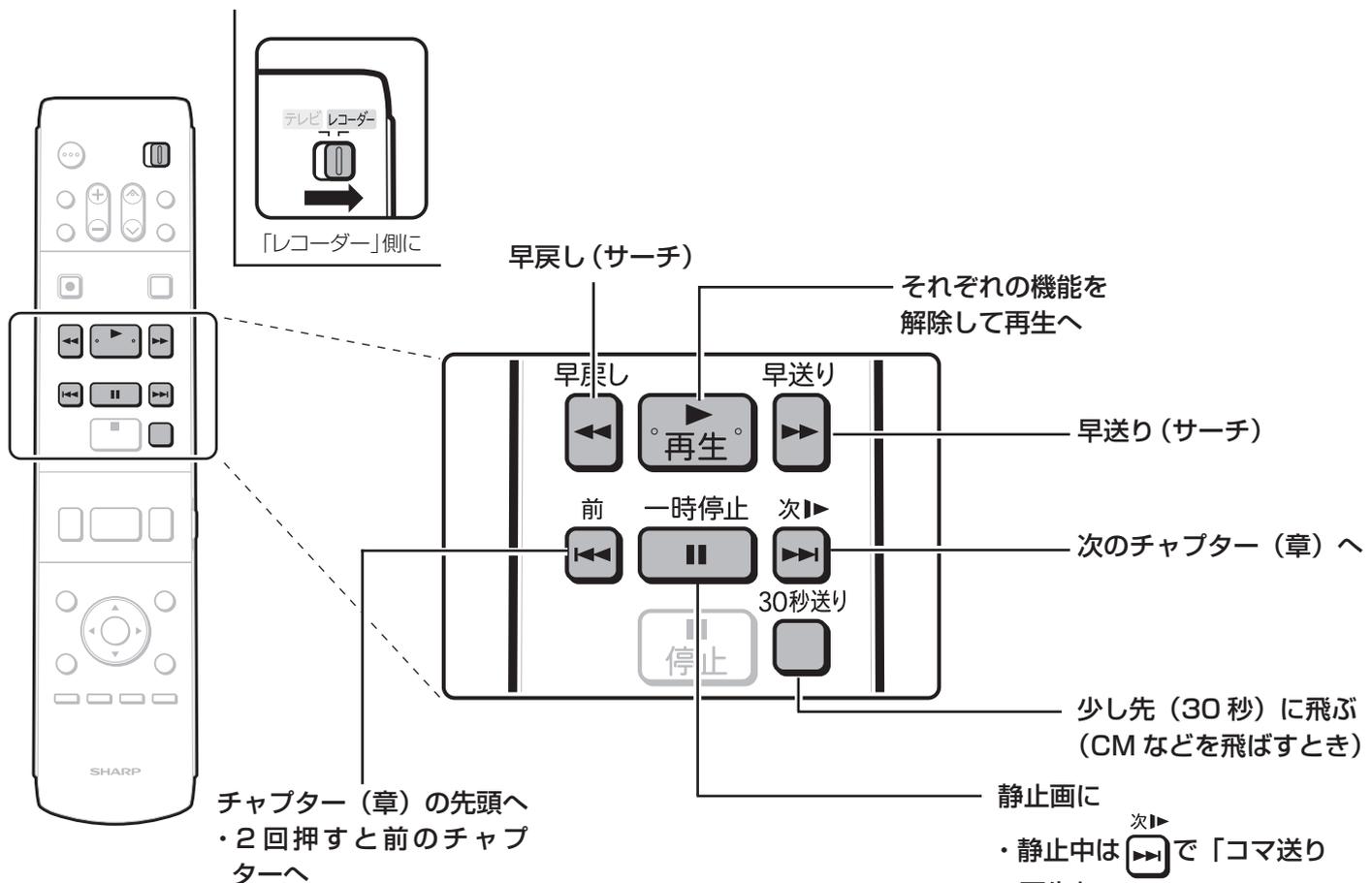
☞ 54、55 ページ

2 決定します

⇨選んだタイトルを最初から再生

再生中に使えるボタン（再生時の便利な機能）

ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

ご注意

・ ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・コマ送り

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
・逆スロー再生はできません。

静止画再生／コマ送り再生について
・VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
　※ BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。
・コマ戻し再生はできません。

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
・データ放送や字幕は再生できません。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（→ 162 ～ 163 ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・静止画再生／コマ送り再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

確認 基本・準備 視聴 録画・予約 再生 管理 ファミリンク ダビング 各種設定 接続・設定 こんなときは

次ページへつづく

タイトル／チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

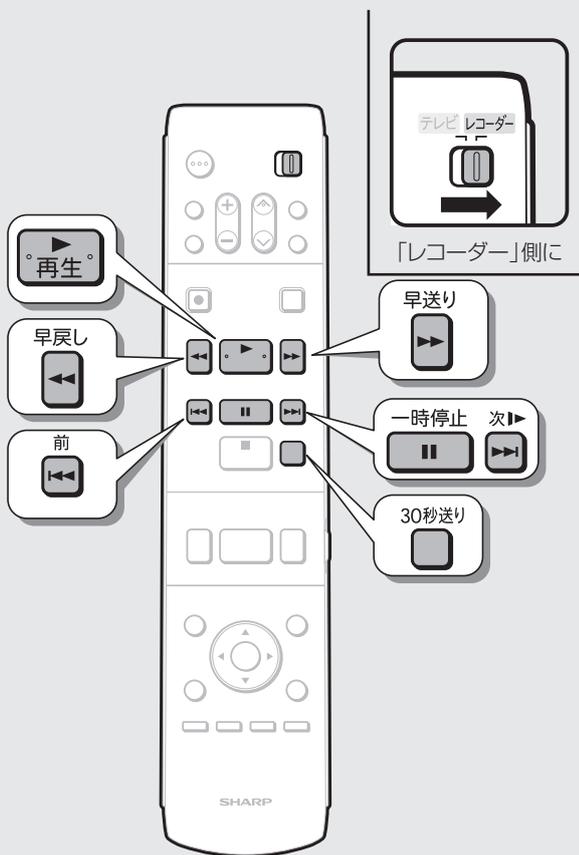
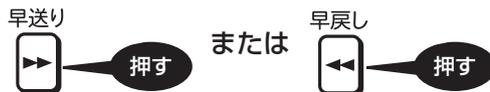
タイトルやチャプター（章）、トラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。

1 再生中に

⇨ 次 を押すと、次のタイトル／チャプター（トラック）を頭出しします
前 を押すと、いま見ているタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります
2 回続けて押すと、前のタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります

早送り / 早戻しするには（サーチ）

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

再生中の映像を早送り／早戻しできます。

1 再生中に

⇨押すたびにサーチの速さが変わります

BD/DVD を再生しているとき

音楽用 CD を再生しているとき

2 サーチを解除するときは

⇨サーチが解除され、再生画面に戻ります

- タイトル（録画した番組）をまたぐ早送り／早戻しはできません。

お知らせ

- 次 で次のタイトルを頭出ししたときや 早送り などで最後まで再生したときは、最後のシーンが数秒間静止画状態になった後、次のタイトルを再生します。
- 静止画再生状態のとき、早戻し を押すとそのシーンから早戻し再生が行えます。

静止画にするには（静止画再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

静止画再生ができます。

1 再生中に

⇨**静止画再生します**

- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。

2 静止画再生を解除するときは

⇨**静止画再生が解除され、再生画面に戻ります**

- 一時停止 を押しても解除できます。

コマ送りするには（コマ送り再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

コマ送り再生ができます。

1 静止画再生中に

⇨ 次 **を押して離すと、コマ送りします**

2 コマ送り再生を解除するときは

⇨**コマ送り再生が解除され、再生画面に戻ります**

- DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

スローモーションで見るには（スロー再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

スローモーション再生ができます。

1 静止画再生中に

⇨**約 1/2 倍速でスロー再生します**

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

2 スロー再生を解除するときは

⇨**スロー再生が解除され、再生画面に戻ります**

•タイトルをまたぐスロー再生はできません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

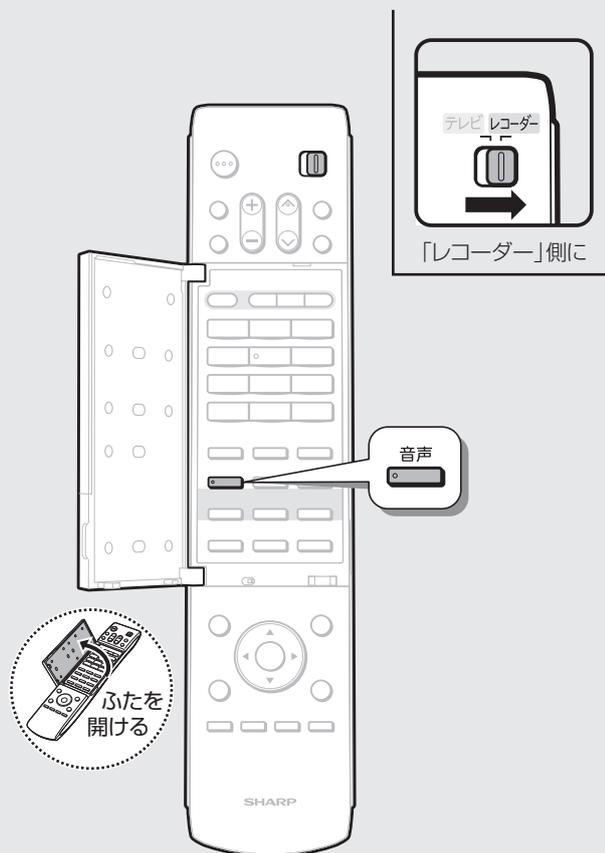
市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

約 30 秒先に送ることができます。
- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

1 再生中に

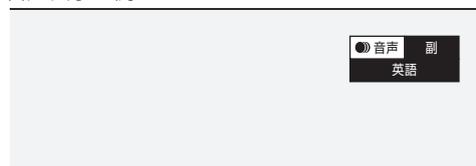
⇨**約 30 秒先にジャンプします**

再生中に音声や字幕を切り換える

再生中に音声・字幕・映像の切り換えができます。

音声を切り換えるには

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

音声（ふた内） 押す ⇨押すたびに音声を切り換えます

音声表示の例

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
- 現在再生されている音声番号が表示されます。

•音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

ご注意

- 次のような場合は、ニヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク（マルチカラオケ音声）は音声切換ができません。

お知らせ

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
- データ放送や字幕は再生できません。

各機能の切り換えについて

・字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき

・アングルが記録されているシーン（場面）で、アングルマークを表示するように設定できます。
・「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「BD/DVD再生設定」－「アングルマーク表示」（→ **86** ページ）で設定します。
・表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

字幕を切り換えるには

1 字幕のあるタイトルを再生中に

字幕（ふた内） 押す ⇨押すたびに字幕を切り換えます

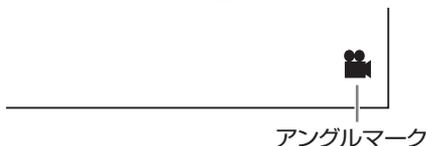
字幕表示の例

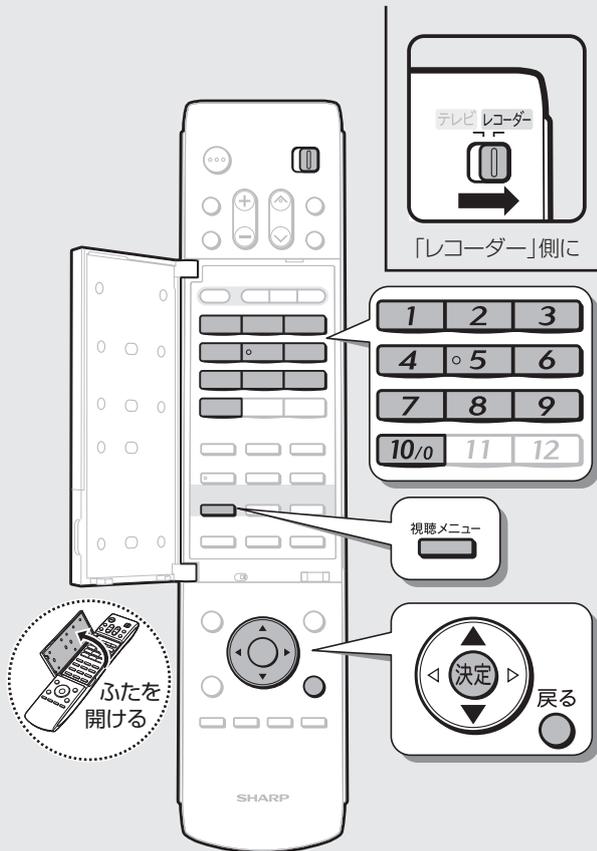
映像やアングルを切り換えるには

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

映像（ふた内） 押す ⇨押すたびに映像を切り換えます

映像表示の例

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

再生中に設定をする（視聴メニュー）

再生しながら、再生情報を確認したり、タイトルの頭出し、リピート再生が行えます。

ご注意

・BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。

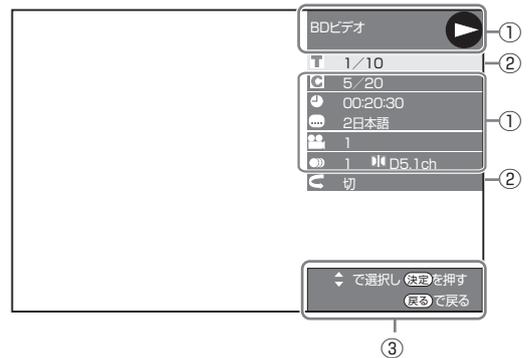
お知らせ

・アングルや字幕などの表示が「−−」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 再生中に

⇨視聴メニュー画面を表示します

（ふた内）

2 設定項目を選んで決定します

① **再生状態表示**
動作状態やディスクの種類

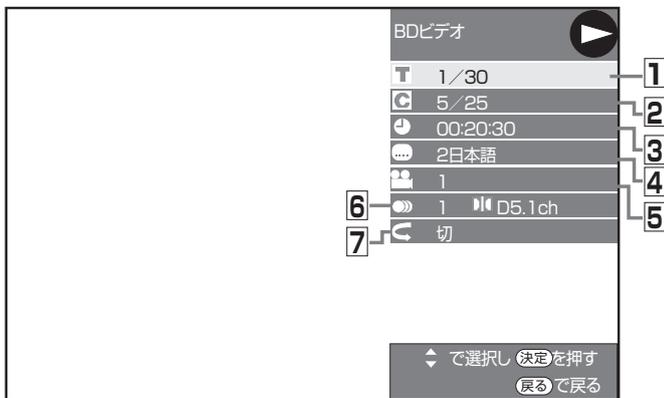
② **設定項目（→ 67 ページ参照）**

③ **操作ガイド表示**

3 設定します（→ 67 ページ）

・画面右下の「操作ガイド表示」にしたがって操作してください。

4 設定を終わるとき

画面表示と各設定項目について

設定する

■好きなところから見る

1 タイトル（トラック）選択
- 再生中のタイトル番号（CD の再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

■くり返し再生する

7 リピート再生
- 再生中のタイトル(チャプター)をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。

再生状態を確認する

■再生中の位置を表示

2 チャプター再生表示
- 再生中のチャプター番号が表示されます。

3 再生経過時間表示
- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

■字幕・映像・音声を表示

4 字幕言語再生表示
- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。
  他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像再生表示
- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 「アングルマーク表示」（→ **86** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク を表示させるように設定することができます。

6 再生（視聴）音声表示
- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。

確認
基本・準備
視聴
録画・予約
再生
管理
ファミリンク
ダビング
各種設定
接続・設定
こんなときは

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

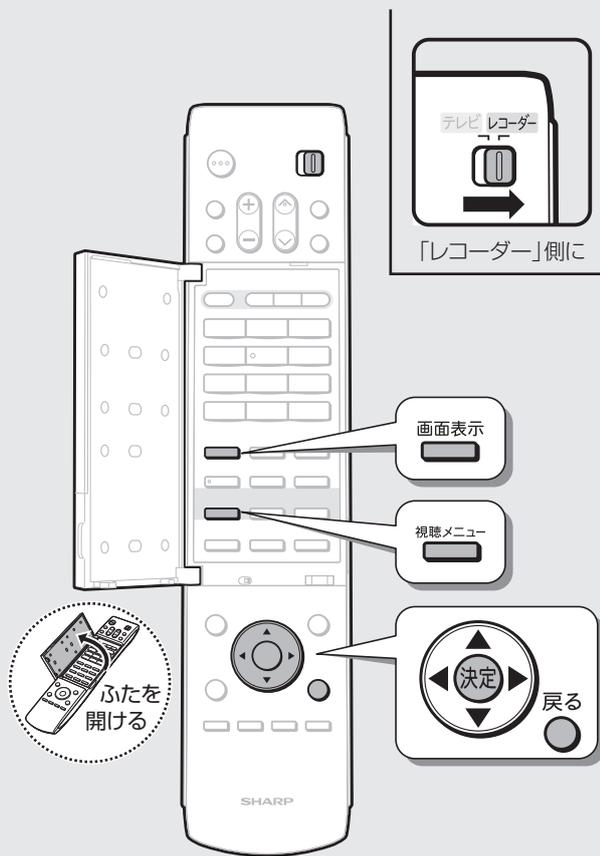
くり返し再生する（リピート再生）

視聴メニューで、選んだタイトルやチャプター（章）をくり返し再生できます。

ご注意

・ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。

お知らせ

・リモコンふた内の「画面表示」ボタンを押すと、リピートの状況が確認できます。

タイトルまたはチャプターをくり返すには

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 ①再生中に

②で「⊊」を選んで 決定 を押します

3 リピート再生の種類を選んで決定します

⇨リピート再生を開始します

入 チャプターリピート　チャプターリピート
↓
入 タイトルリピート　タイトルリピート
↓
切　切

・音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

チャプターリピート：　再生中のチャプターをくり返し再生
タイトルリピート：　再生中のタイトルをくり返し再生

選択画面を消すには

リピート再生を解除するには

・視聴メニュー画面で「⊊」を選び、「切」を選びます。

タイトルを消去する

ご注意

- 消去したタイトルは復元できません。
- 他機でプレイリストを作成していた場合、そのオリジナルのタイトルを消去するとプレイリストも消去されます。この場合、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。なお、プレイリストを消去してもオリジナルのタイトルは消去されません。
- プレイリストを消去しても残量は増えません。
- 本機では、プレイリストは作れません。
- BD-RE 以外のディスクはタイトル消去ができません。

お知らせ

- ディスク保護が設定されているときは、タイトル消去ができません。ディスク保護を解除してから消去してください。（→ **70** ページ）

消去画面でタイトルを選んで消去する

・不要なタイトルを消去画面で選び、消去します。

1 テレビと本機の準備をします ☞ **25** ページ

2 消去ボタンを押します

3 消去画面で消したいタイトルを選びます

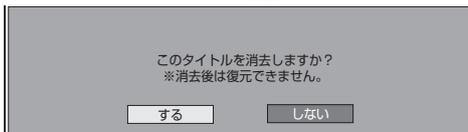
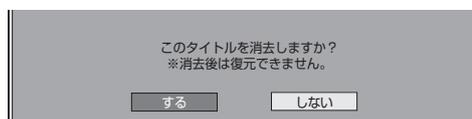
1 春のイタリア観光	＊＊／＊＊[＊]	30分	HD
2 K－5格闘技選手権	＊＊／＊＊[＊]	30分	HD
3 新春、芸能人大集合	＊＊／＊＊[＊]	30分	SD
4 マニュアル浜口夫人	＊＊／＊＊[＊]	30分	SD

1／全　4タイトル

① (決定) で消去したいタイトルを選びます

② 複数のタイトルを選択するときは 黄 を押します

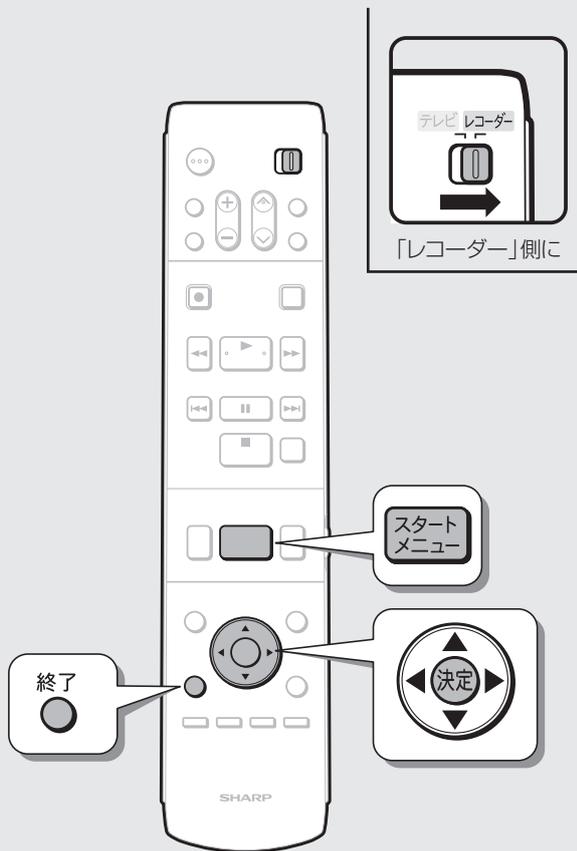
・一度に選べるタイトルは最大 20 タイトルです。

4 決定します

5 「する」を選んで決定します

・消去が始まります。
・消去中は、電源を切らないでください。

6 設定を終了します

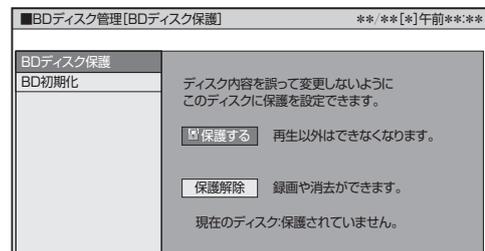
確認 / 基本・準備 / 視聴 / 録画・予約 / 再生 / 管理 / ファミリンク / ダビング / 各種設定 / 接続・設定 / こんなときは

BDディスクの内容を消さない設定をする（BDディスク保護）

BD ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 保護したいディスクをセットします

3 スタートメニューを表示させます

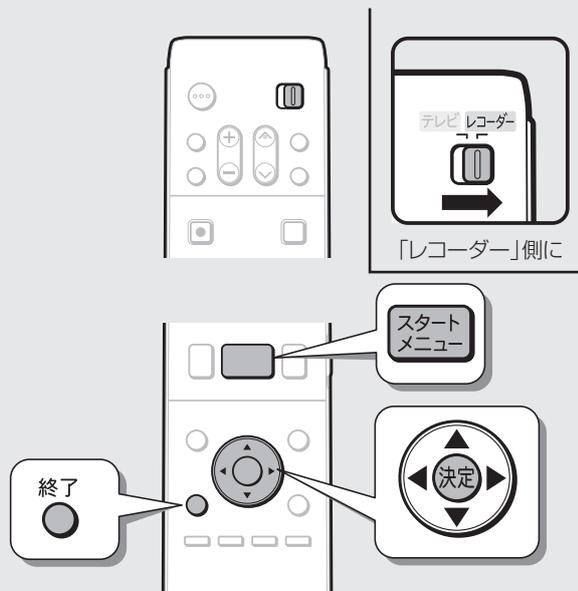
4 「BD ディスク管理」を選んで決定し、「BD ディスク保護」を選んで決定します

5 「保護する」を選んで決定します

- 保護設定を解除したいときは、「保護解除」を選んでください。

6 「確認」を選んで決定します

7 設定を終了します

BD を初期化する

- 未使用の BD-RE を使ってハイブリッド録画やかんたん BD ダビングを行う前には、ディスクの初期化が必要です。
- 未使用の BD-RE をセットしたときは、自動的に初期化が始まります。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 使用済みの BD-RE を未使用の状態に戻したい場合は、次の操作で初期化をします。

- 録画済みの BD-RE を初期化すると、録画されたタイトルがすべて消去されます。消されたタイトル（番組）は元に戻せませんので、内容をよく確認してください。
- 他社のレコーダーで録画した BD-RE をセットしたときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んで決定してください。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 ディスクをセットします 41 ページ

3 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す ⇨スタートメニューを表示します

4 「BD ディスク管理」を選んで決定します

■スタートメニュー

BDの初期化などをします。
チャンネルの設定や録画・再生をするときに便利な設定ができます。

再生 | 録画予約 予約確認 | BDディスク 内容消去
各種設定 | お知らせ | BDディスク 管理

5 「BD 初期化」を選んで決定します

6 「する」を選んで決定します

7 「はい」を選んで決定します

▼本体表示部

70

- 表示が「100」になったら初期化が完了します。

8 「確認」で決定します

9 設定を終了します

ファミリンクで便利に使う

ファミリンク機能

かんたんBDダビング

この章では、本機とシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をHDMI コードで接続して行える連動操作（ファミリンク機能※）や、シャープ製ハイビジョンレコーダーで録画した映像をBD にダビングする「かんたん BD ダビング」について説明しています。

※ファミリンク機能は、ファミリンク機能に対応したテレビと HDMI コードで接続して操作できる機能です。

ファミリンク機能について

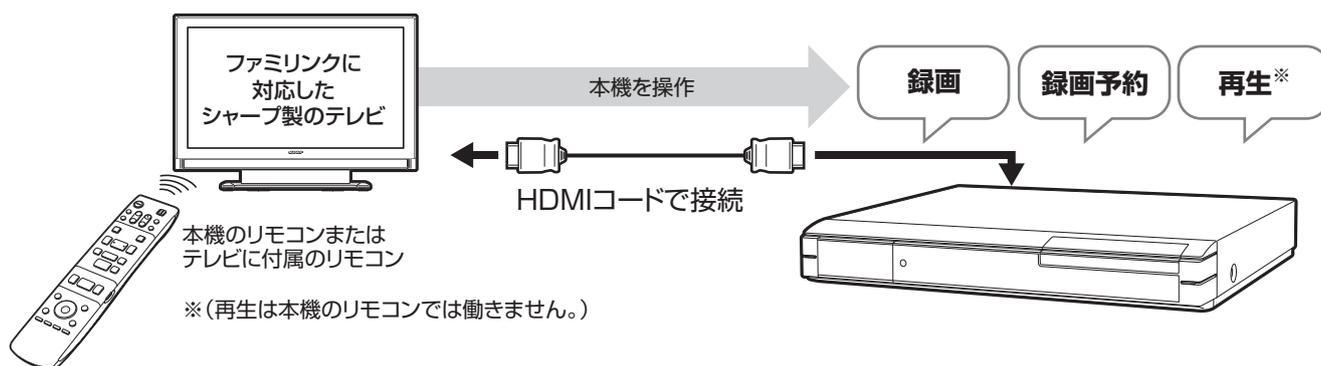
ファミリンク対応デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機を HDMI コードで接続することにより連動操作が行えます（ファミリンク機能）。

「ファミリンク機能」とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや AV アンプを制御するためのコントロール機能です。
CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、同様の連動操作が楽しめます。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

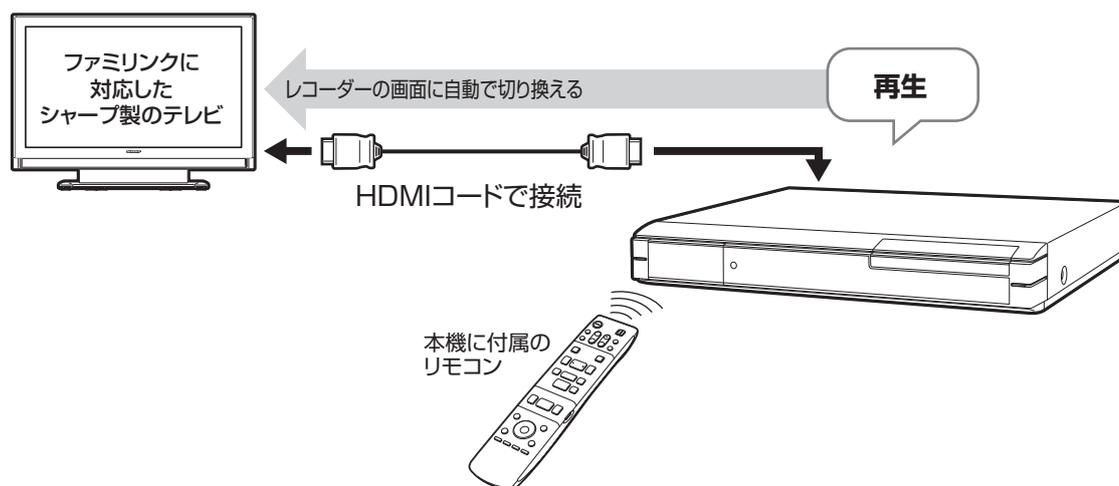
ファミリンク機能を搭載したシャープ製テレビと本機を HDMI コードで接続することによりできること

テレビを見ながら

（本機のリモコンまたはテレビのリモコンで）

- テレビで見ている番組を本機にワンタッチ録画 ▶ **74 ページ**
- 本機の電子番組表を呼び出して録画予約 ▶ **75 ページ**
- テレビの電子番組表で本機に録画予約 ▶ **76 ページ**

BD-RE を再生すると

- テレビの画面が本機の再生映像に自動切換 ▶ **74 ページ**

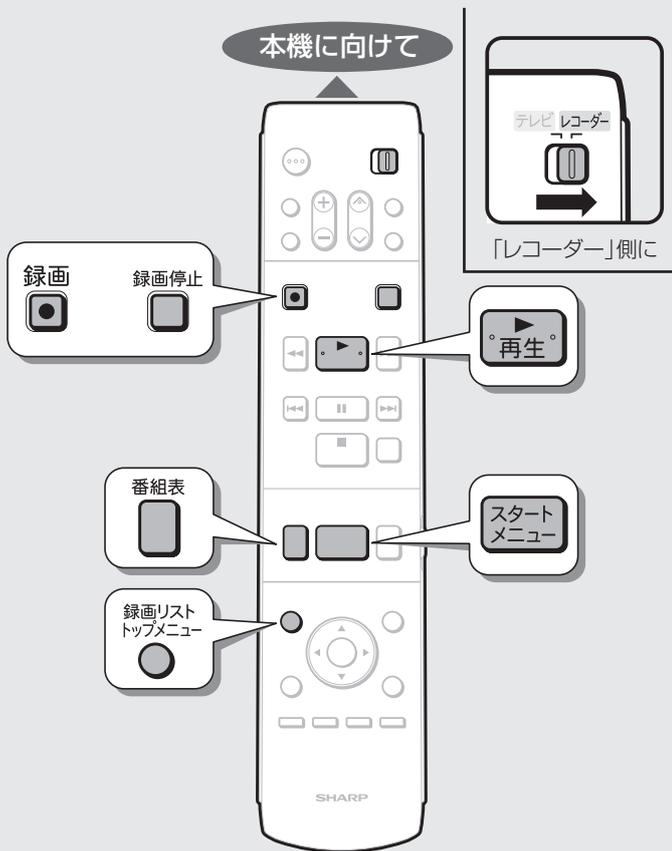
・ BD-RE 以外のディスクをセットしたときは、自動的に再生がはじまり、レコーダーの画面に自動的に切り換わります。

ファミリンク機能に対応している液晶テレビ「アクオス」は？

・ 対応機種については、DVD/BD サポートステーションの「AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？」をご確認ください。
DVD/BD サポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

リモコンを切り換えることなく本機とテレビを連動操作できます。

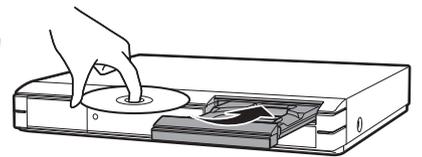
本機のリモコンでテレビの入力をワンタッチ切換（本機に向けて操作します）

本機リモコンの下記のボタンを押すだけで自動的にテレビがレコーダーからの入力（HDMI 入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

番組表
▶ 本機の電子番組表を表示

録画リスト トップメニュー
▶ 録画リストを表示

▶ スタートメニューを表示

▶ 本機の再生画面を表示（電源入からの操作でテレビの入力が切り換わります。）

BD-RE 以外のディスクをセットすると、自動的に再生が始まりテレビに映ります。

ご注意

・本機が動作中は、ワンタッチ録画やテレビの電子番組表からの予約録画が行えません。
・テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画が継続します。）

一発（クイック）起動設定について

• 「一発（クイック）起動」を「する」に設定しておくと、本機が待機状態（電源が切れた状態）で「ワンタッチ録画」または「ファミリンク予約」を行ったときに「一発（クイック）起動」を「しない」に設定したときよりも早く録画が始まります。

テレビで見ている番組をワンタッチ録画（テレビに向けて操作します）

「テレビ」側に

本機の電源が待機状態でも自動的に電源が入り、テレビで見ている番組が録画できます。（本機のチャンネルが正しく切り換わらない場合は、**116** ～ **117** ページの手順で「テレビの設定取得」を行ってください。）

録画
▶ 本機で録画開始

録画停止
▶ 録画を停止

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機またはテレビの電子番組表から録画予約ができます。

ご注意

- テレビの番組表からの予約と本機の予約が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。
- テレビの番組表からの予約開始時刻に本機で再生や録画動作をしていると、予約が実行されません。予約開始時刻の3分前までに本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 予約を変更する場合は、本機側で行ってください。（→ **51** ページ）
- 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んだときに表示されるレコーダーの番組表は、現在テレビ側で見ている放送の番組表となります。
- 有料放送を録画するときは、契約されている B-CAS カードを本機にセットしてください。

本機の電子番組表を表示させて予約する

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 テレビの電源を入れます

2 予約したい放送を選びます

3 ファミリンク機能選択画面を表示させます

4 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んで決定します

（例：液晶テレビ「アクオス」の画面例）

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
HDMI 機器選択

- レコーダーの電子番組表が表示されます。

5 本機の電子番組表で予約します

- 予約について詳しくは 44 ページ
- 録画用ディスク BD-RE Ver.2.1 をセットします。

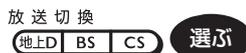
開始時刻になると、録画が始まります。

確認 | 基本・準備 | 視聴 | 録画・予約 | 再生 | 管理 | ファミリンク | ダビング | 各種設定 | 接続・設定 | こんなときは

テレビの電子番組表で予約する

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 テレビの電源を入れます

2 予約したいデジタル放送を選びます

3 テレビの電子番組表を表示させます

4 テレビの電子番組表で予約します

- テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

5 ファミリンク予約をします

- 「ファミリンク 1（標準）」または「HDMI コントロール予約」が働きます。
- 「ファミリンク 2（i.LINK）」予約は設定しても働きません。
- 予約操作については、テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

- 録画用ディスク BD-RE Ver.2.1 をセットします。

開始時刻になると、録画が始まります。

ご注意

- ファミリンクによる予約と本機の予約が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。
- ファミリンクによる予約開始時刻に本機で再生や録画動作をしていると、予約が実行されません。予約開始時刻までに本機の電源を切ってください。
- テレビの電子番組表で予約するときは、「毎週録画」または「毎日録画」等の設定はできません。

お知らせ

- 予約を変更する場合は、テレビ側で行ってください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

ファミリンク予約録画時のお願い

テレビの電子番組表を使った「ファミリンク予約 [1]（標準）※」を設定したときは、つぎの点にご注意ください。

※テレビの種類によっては「HDMI コントロール予約」と表示されるものがあります。

- **「ファミリンク予約 [1]（標準)」と本機の「予約録画」が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。そのため「ファミリンク予約 [1]（標準)」で予約した番組が途中で終わっている、または録画されていない場合があります。**

つぎのような予約は行わないようにご注意ください。

例 1：以下の組み合わせでは、「ファミリンク予約 [1]（標準)」録画が途中で終わります

■予約設定内容

① 午後 7：00～ 8：00 の番組を「ファミリンク予約 [1]（標準)」
→ 午後 7：00 ～ 午後 8：00「ファミリンク予約[1](標準)」

② 午後 7：30～ 8：00 の番組を本機で予約録画
→ 午後 7：30 ～ 午後 8：00 本機の予約録画

■実際の録画

午後7:00～7:30は「ファミリンク予約[1](標準)」を実行
午後7:30～8:00は本機の予約録画を実行
→ 午後 7：00 ～ 午後 7：30 ～ 午後 8：00「ファミリンク予約 [1]（標準)」｜本機の予約録画優先

例 2：以下の組み合わせでは、「ファミリンク予約 [1]（標準）録画が実行されません

■予約設定内容

① 午後 7：30～ 8：00 の番組を「ファミリンク予約 [1]（標準)」
→ 午後 7：30 ～ 午後 8：00「ファミリンク予約 [1](標準)」

② 午後 7：00～ 8：00 の番組を本機で予約録画
→ 午後 7：00 ～ 午後 8：00 本機の予約録画

■実際の録画

午後7：00～8：00の本機の予約録画を実行
「ファミリンク予約[1](標準)」は実行されません
→ 午後 7：00 ～ 午後 8：00 本機の予約録画優先

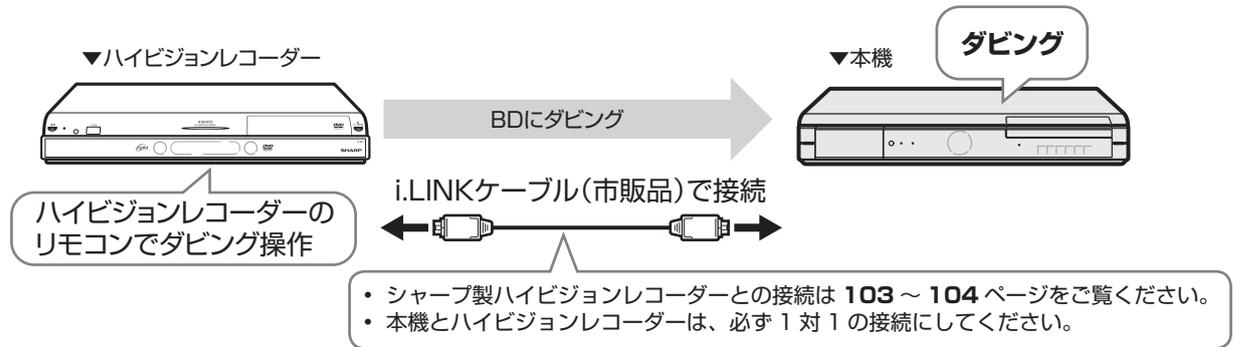
・予約録画を行う際は、テレビと本機それぞれの予約リストで、設定した予約の時間帯が重複していないかご確認ください。

- **「ファミリンク予約 [1]（標準)」録画開始時刻に本体で「録画（ダビング）している」、「再生している」など本機が動作しているときは「ファミリンク予約 [1]（標準)」が実行されません。**
  「ファミリンク予約 [1]（標準)」録画開始時刻の 5 分前までに本機の操作を停止してください。

・本機は、2 番組を同時に録画することはできません。本機の番組表で予約することをおすすめします。

かんたん BD ダビングについて

シャープ製ハイビジョンレコーダーと本機を i.LINK ケーブル（市販品）で接続すると、シャープ製ハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画したデジタル放送番組を BD にダビングできます。▶▶▶**かんたん BD ダビング**

- シャープ製ハイビジョンレコーダーとの接続は **103** ～ **104** ページをご覧ください。
- 本機とハイビジョンレコーダーは、必ず 1 対 1 の接続にしてください。

● かんたん BD ダビング対応機種（2007 年 9 月現在）

- BD-HD100、DV-HRD2、DV-HRD20、DV-HRD200、DV-HRD3、DV-HRD30、DV-HRD300、DV-AR11、DV-AR12、DV-ARW12、DV-ARW15、DV-ARW22、DV-ARW25、DV-ARV22、DV-ACW38、DV-ACW52、DV-ACW55、DV-ACW60、DV-AC52、DV-AC55、DV-ACV52、DV-ACW72、DV-ACW75、DV-ACW80、DV-AC72、DV-AC75、BD-HDW15、BD-HDW20

● i.LINK（アイリンク）について

- i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続することができます。
  i.LINK は、IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送速度が可能です。

● i.LINK（TS）接続について

- 接続した i.LINK 機器との相性により、正しく動作しない場合があります。これにより、万一録画・録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 複数の i.LINK（TS）機器と同時に接続したときは、ダビングできない、または認識できない場合があります。
- 本機の i.LINK（TS）入力端子にディジーチェーン（連鎖）接続およびツリー接続したときに、正しく動作しない場合があります。確実にダビングを行うため、本機と操作したい機器を 1 対 1 で接続してください。
- i.LINK（TS）接続で本機へ録画できる映像は、TS 出力される映像です。（TS とはトランスポートストリーム（Transport Stream）の略で、多重信号形式の 1 つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらず共通の信号形式で扱い、1 つのストリームとして伝送できるシステムのことです。）

お知らせ

- **かんたん BD ダビング中は、再生や録画リスト表示、各種設定の操作はできません。**
- **BD-AV1 の場合、かんたん BD ダビングに使えるディスクは BD-RE（Ver.2.1、SL/1 層ディスク）のみです。**

■録画できる時間

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

放送	BD-AV1/BD-AV10 で使えるディスク	BD-AV10 で使えるディスク	画質
	BD-RE Ver.2.1 SL（片面 1 層）25GB のディスクの録画時間	BD-RE Ver.2.1 DL（片面 2 層）50GB のディスクの録画時間	
BS ／ CS デジタル放送の「HD 放送」（ハイビジョン放送）	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	ハイビジョン画質
地上デジタル放送の「HD 放送」（ハイビジョン放送）	約 3 時間	約 6 時間	ハイビジョン画質
デジタル放送の「SD 放送」（スタンダード放送）	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	スタンダード画質
アナログ放送	録画できません。		

ご注意

- 録画する映像によって、録画できる時間は変わります。
- 独立データ放送、ラジオ放送、連動データ放送は録画できません。
- BD-R や DVD ディスクには録画できません。
- カートリッジタイプのディスクには録画できません。

レコーダーから本機へダビングする（かんたん BD ダビング）

シャープ製のハイビジョンレコーダーの HDD 内に録画した番組を、ハイビジョン画質のまま BD-RE にダビングできます。

ダビングの準備をする

- シャープ製のハイビジョンレコーダーを i.LINK ケーブルで本機と接続します。78 ページ

録画の前に 次のことがお済みかどうか、ご確認ください。

- i.LINK ケーブルを使った接続 103 ページ
- 日付・時刻の設定 119 ページ
- 一発（クイック）起動の設定 123 ページ

・ i.LINK 機器へのダビング機能を搭載したシャープ製ハイビジョンレコーダーから、かんたん BD ダビングするときは、本機とハイビジョンレコーダーのみ i.LINK 接続してください。本機やハイビジョンレコーダーがその他の機器と i.LINK 接続されているときは、その他の機器から i.LINK ケーブルを抜いてください。

重要

- ダビング操作は本機の電源を入れた状態で行ってください。

シャープ製のハイビジョンレコーダーでダビングの操作をする

1 本機に録画用の BD-RE をセットします

41 ページ

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 未使用の BD-RE をセットすると、自動的に初期化され、録画用ディスクとして使用できるようになります。

2 テレビの入力をハイビジョンレコーダーを接続した入力に切り換えます

- ハイビジョンレコーダーに付属のリモコンで操作してください。

3 ハイビジョンレコーダーでダビングの操作「HDD から→ i.LINK（TS）」をします

- **ダビングは必ず 1 タイトルずつ行ってください。**
- ハイビジョンレコーダーに付属のリモコンで、HDD から i.LINK 機器へのダビングの操作を行ってください。
- ダビングの操作については、ハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

⇨ **ハイビジョンレコーダーから本機へのダビングを開始します**

- 本体表示部に「TS- in」と表示されます。

4 ダビングを止めるときは、ハイビジョンレコーダー側の［■ 停止］を押し、再生を停止します

- **放送の画面に戻す場合は 入力切換 を押してください。**

シャープ製のハイビジョンレコーダー以外の機器から本機へダビングすることはできません。

i.LINK（TS）機器から本機へ映像を入力するとき

- i.LINK（TS）入力録画できるディスクは、BD-AV1 の場合は BD-RE Ver.2.1（SL/1 層）のみです。BD-AV10 は BD-RE Ver.2.1（DL/2 層）にも録画できます。

取り込み中に下記のような状態になると、録画を停止します。
また、異常な映像が記録されることがあります。

- 接続した機器が無信号部分を再生したとき
- 途中で i.LINK ケーブルを抜いたり、相手機器の電源を切ったりしたとき
- 相手機器の再生を中止したとき
- 相手機器で再生している映像が乱れたとき
- 相手機器で再生している番組によっては、番組の切り替わり地点で録画が停止する場合があります。
- **録画が開始されるまで、数秒かかります。そのため、ダビングする番組のはじめの数秒は、ダビングされません。**

本機から外部機器へダビングすることはできません。

ご注意

- BD-AV1 の場合、BD-RE Ver.2.1（SL/1 層）ディスクにのみダビングできます。BD-AV1 も BD-AV10 も BD-R、DVD ディスクにはダビングできません。
- カートリッジタイプのディスクにはダビングできません。
- ダビングできるのは、シャープ製のハイビジョンレコーダーの HDD（ハードディスク）に録画されている番組です。DVD ディスクから BD へはダビングできません。
- ダビングできるのは、「HD/SD 録画」された番組です。録画画質を設定して録画した番組はダビングできません。詳しくはハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- かんたん BD ダビング中は、「録画停止」以外の操作ができません。
- 「1 回だけ録画可能」の番組をダビングしたときは、ムーブ（移動）となり、ダビング元のハードディスク内の映像は消去されます。
- シャープ製のハイビジョンレコーダー以外のレコーダーから本機へダビングすることはできません。

お知らせ

シャープ製ハイビジョンレコーダーからダビングしたときは

- チャプターはダビングされません。
- タイトル名は録画開始時の番組名となります。
- 録画日は、ダビングした日時となります。

スタートメニューの「各種設定」について

●「各種設定」には、視聴や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための設定項目があります。本機の使用状況に応じて各項目を設定してください。
●各項目の説明や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

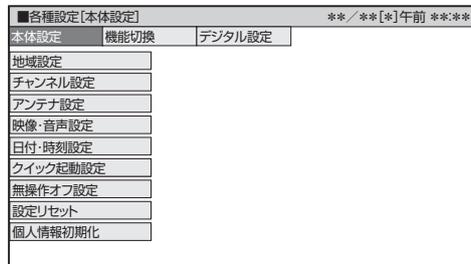
重要

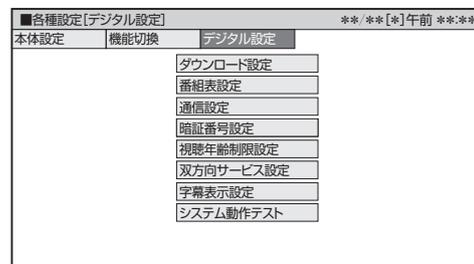
・スタートメニューは、約 1 分間何も操作しないと解除されます。

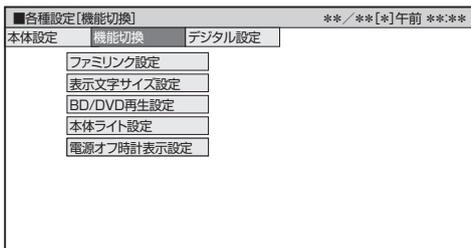
スタートメニューの「各種設定」で設定できること

・「各種設定」の中には、設定の目的別に 3 つのグループがあります。各グループの中に、各設定項目があります。
・ 各項目の内容と設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

本体設定（→ 83 ページ）

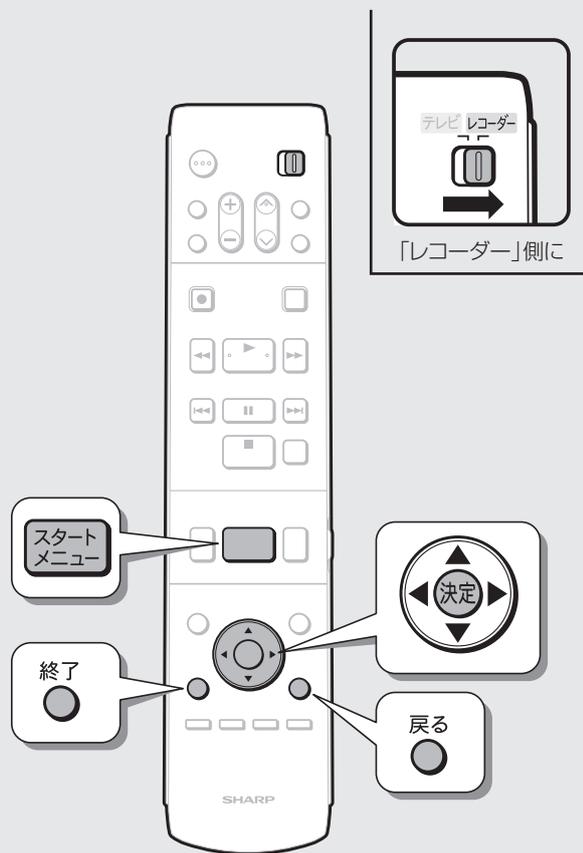
放送を受信するための設定や、映像や音声など本機を楽しむための設定をします。

デジタル設定（→ 87 ページ）

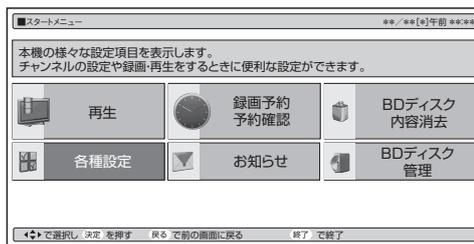
本機内蔵のデジタルチューナーに関する設定をします。

機能切換（→ 85 ページ）

本機をより便利に活用していただくための設定をします。

各種設定の基本操作

「各種設定」では本機をより活用していただくための設定ができます。

・以下の設定項目グループに分かれています。
「本体設定」　：本体の動作に関する設定（→ **83** ページ）
「機能切換」　：さまざまな機能に関する設定（→ **85** ページ）
「デジタル設定」：デジタル放送の受信に関する設定（→ **87** ページ）
・スタートメニューは何も操作しない状態が約 1 分間続くと解除されます。
・操作中、間違ったときや設定し直したいときは

⇨前の画面に

1 テレビと本機の準備をします

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 設定したい項目を選んで決定します

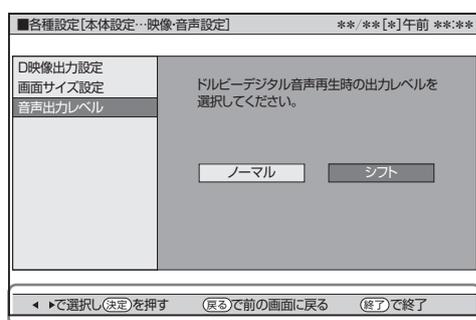
（「本体設定」－「映像・音声設定」を選ぶ場合）

次ページへつづく

画面下のガイド表示に従って設定を進めます

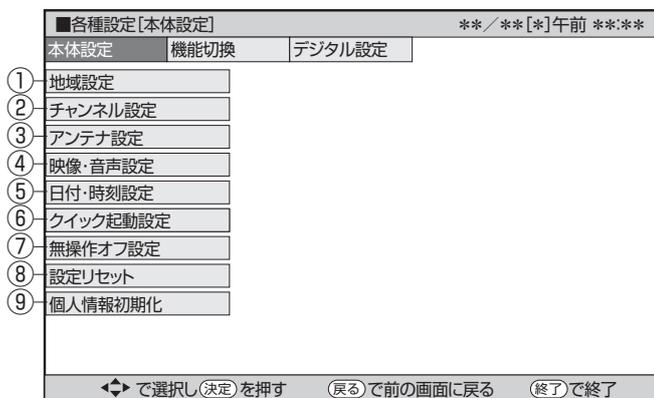
〈例「音声出力レベル」で「シフト」を選ぶ場合の設定操作〉

①「音声出力レベル」を選んで決定します

②「シフト」を選んで決定します

設定を終了します

本体の動作に関する設定をする

本体の動作に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定[本体設定]　**／**[*]午前 **:**
本体設定｜機能切換｜デジタル設定
①地域設定
②チャンネル設定
③アンテナ設定
④映像･音声設定
⑤日付･時刻設定
⑥クイック起動設定
⑦無操作オフ設定
⑧設定リセット
⑨個人情報初期化
で選択し(決定)を押す　(戻る)で前の画面に戻る　(終了)で終了

※１の項目は、再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）が本機にセットされているときには選択できません。

① 地域設定

各項目について詳しくは **125** ページをご覧ください。

② チャンネル設定※1

各項目について詳しくは **128**、**131** ～ **136** ページをご覧ください。

③ アンテナ設定※1

各項目について詳しくは **126** ～ **127** ページをご覧ください。

④ 映像・音声設定※1

D映像出力設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、「D映像出力設定」の変更が必要です。

設定項目	出力される信号	設定内容
D1 ☆	525i	テレビのD1映像入力端子と接続するとき。
D2	525p	テレビのD2映像入力端子と接続するとき。
D3／D4／D5	1125i／525p	テレビのD3／D4／D5のいずれかの映像入力端子と接続するとき。

- 「D3／D4／D5」に設定していても、DVDの再生映像は「525p」で出力されます。（DVD以外の映像は1125iで出力されます。）
- D5／D4／D3／D2映像入力端子付きテレビとD映像コードを使って接続したとき、再生映像やテレビとの相性により、再生した映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「D映像出力設定」を「D1」に設定してください。
- 設定後、D映像コードを抜き差しすると、設定はD1に戻ります。

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16：9（ワイド） ☆	16：9画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4：3（ノーマル）	4：3画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4：3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス	画面サイズが4：3のテレビと接続して16：9映像を再生するとき、16：9の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが4：3のテレビと接続して16：9映像を再生するとき、映像の左右をカットして4：3のサイズで再生します。（4：3PS指定の表示があるDVDビデオで動作する機能です。）

HDMI音声出力設定

設定項目	設定内容
オート☆	・接続している機器に適した音声方式で音声を出力します。 ・ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵したHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。
PCM（サラウンド）	・マルチチャンネル対応のHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。 ・ドルビーデジタル、DTS、AACなどの各種音声方式で記録された音声をデコードし、リニアPCMで出力します。

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル☆	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※2	ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量に聞こえるよう、平均音量を上げます。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）

※２ 設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

次ページへつづく

⑤ 日付・時刻設定

自動設定について

デジタル放送を受信している場合、日付・時刻の設定は自動的に行われます。受信していない場合は設定を行ってください。

日付・時刻設定

予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。
デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。
詳しくは **119** ページをご覧ください。（設定方法が、基本操作と少し異なります。）

⑥ クイック起動設定

素早く電源を「入」にして、番組表などを表示することができます。

設定項目	設定内容
する	「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」などの操作や、「録画」「再生」の操作がすぐにできる設定です。
しない☆	クイック起動設定を「切」にします。

- 「クイック起動」が設定されている状態で「ダウンロードサービス」を行うとき、ダウンロードサービスを開始する 5 分前になると、一時的に「クイック起動」設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。
- 設定方法は **123** ページをご覧ください。

⑦ 無操作オフ設定

操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	電源は自動的に切れません。

- 無操作オフ機能は、再生や録画を行っているときは働きません。

⑧ 設定リセット

システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

- リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されます。また、暗証番号の設定はリセットされません。
- 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
- 設定方法は **166** ページをご覧ください。
- リモコン番号は 3 に戻ります。

⑨ 個人情報初期化

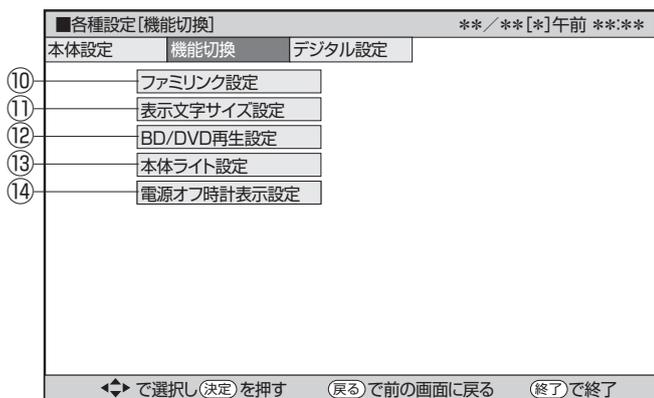
本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。

設定項目	設定内容
する	個人情報が初期化されます。
しない☆	個人情報が残ります。

- 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。
- リモコン番号は 3 に戻ります。

本機の機能に関する設定をする

さまざまな機能に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［機能切換］ **／**［*］午前 **:**
本体設定 機能切換 デジタル設定
⑩ ファミリンク設定
⑪ 表示文字サイズ設定
⑫ BD/DVD再生設定
⑬ 本体ライト設定
⑭ 電源オフ時計表示設定
で選択し（決定）を押す （戻る）で前の画面に戻る （終了）で終了

※ 1 の項目は、再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）が本機にセットされているときには選択できません。

⑩ ファミリンク設定※1

連動設定

「ファミリンク」を搭載したシャープ製のテレビと HDMI コードで接続したとき、テレビから本機を操作できるようにするか、しないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMI で接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMI で接続した機器から操作できないようにします。

• その他のテレビの場合は設定が無効となります。

テレビの設定取得

ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にすることができます。

⑪ 表示文字サイズ設定※1

本機からテレビへ 1125i または 1125p の解像度で映像出力している場合、電子番組表やスタートメニューの文字サイズを変更することができます。

設定項目	設定内容	
	電子番組表	スタートメニュー
小さな文字☆	高精細／ 6 時間表示	高精細※2
大きな文字	3 時間表示	大きな文字

• 高精細表示にするには、デジタルハイビジョンテレビと本機を次のどちらかの方法で接続、設定してください。
  • D 映像コードで接続し、「D 映像出力設定」（→ **83** ページ）を「D3 ／ D4 ／ D5」に設定する。
  • HDMI コードで接続する。（HDMI 出力より 1125i または 1125p 出力しているときに有効。）

※ 2 BD-RE 以外のディスクをセットしているときは、スタートメニュー画面は大きな文字の画面になります。（高精細表示は行いません。）

⑫ BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。設定方法については **89** ページをご覧ください。

DVD 視聴制限レベル

• 視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2 ～ 3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4 ～ 7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

BD 視聴制限年齢

• BD ビデオの視聴制限年齢を設定できます。

設定項目	設定内容
無制限☆	年齢制限をしません。
0 歳を制限 ～ 99 歳以下を制限	0 歳～ 99 歳の間で年齢制限をします。

国コード

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。（国コード一覧 **89** ページを参照）

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。設定方法については **89** ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	字幕の言語コードを選びます。（言語コード一覧 **89** ページを参照）

音声言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	音声の言語コードを選びます。（言語コード一覧 **89** ページを参照）

メニュー言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	メニューの言語コードを選びます。（言語コード一覧 **89** ページを参照）

• 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

次ページへつづく

アングルマーク表示

DVD ビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「 」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

⑬ 本体ライト設定

本体表示部、BD ランプ、ディスクメーターを点灯させるか消灯させるかを設定します。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに本体表示部や BD ランプなどを点灯させます。
消灯	本体表示部や BD ランプなどは消灯します。
予約実行中消灯	電源切（待機）状態で予約録画が始まった場合、本体表示部や BD ランプなどは点灯しません。就寝中の明かりが気になるときに設定すると便利です。

⑭ 電源オフ時計表示設定

本機の電源を切ったときに、本体表示部に時計を表示できます。

設定項目	設定内容
する	時計を表示します。
しない☆	時計を表示しません。

・「する」に設定している場合は、電源を切ると本体表示部に時計が表示されます。
・「しない」に設定している場合は、リモコンふた内の［本体ライト］を押すと、本体表示部に時計が表示されます。

デジタル放送の設定をする

デジタル放送の受信に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［デジタル設定］ **/**[*]午前 **:**
本体設定 機能切換 デジタル設定
⑮ ダウンロード設定
⑯ 番組表設定
⑰ 通信設定
⑱ 暗証番号設定
⑲ 視聴年齢制限設定
⑳ 双方向サービス設定
㉑ 字幕表示設定
㉒ システム動作テスト
で選択し（決定）で決定 （戻る）で前の画面に戻る （終了）で終了

※ 1 の項目は、再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）が本機にセットされているときには選択できません。

⑮ ダウンロード設定

電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行うかどうかを設定します。（ソフトウェアを自動更新することで本機の機能改善などに対応することができます。）

設定項目	設定内容
する☆	自動ダウンロードを行います。
しない	自動ダウンロードを行いません。

- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、背面ファンが回転し、本体表示部に「dL」の表示が出ます。また、本体の BD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

⑯ 番組表設定※1

番組表取得設定

地上デジタル放送の電子番組表情報を自動で取得するための時間を設定します。取得するための設定については **129** ページをご覧ください。

表示方向設定

本機からテレビへ 1125i または 1125p の解像度で映像出力している場合、電子番組表を表示するときの表示のしかたを設定することができます。電子番組表については **30** ～ **31** ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
モード 1	チャンネルを縦方向に、6 時間分の番組を表示します。（小さな文字／高精細）
モード 2 ☆	新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横方向に表示します。（小さな文字／高精細）

小さな文字（高精細）の番組を表示するには、ハイビジョンテレビと次の接続・設定が必要です。

- D 映像コードで接続し、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定します。
- HDMI 入力端子付テレビと接続するときは、HDMI コードでテレビと接続します。（HDMI 出力端子より、1125i または 1125p 出力しているときに「小さな文字（高精細）」となります。）

ジャンルアイコン設定

番組表のジャンルを示すアイコン（マーク）をお好みにあわせて表示させることができます。（マークについては **30** ページ参照。）

設定項目	設定内容
標準☆	標準の設定です。
薄く	アイコン（マーク）を薄く表示します。
注目	アイコン（マーク）を赤で表示します。

⑰ 通信設定

各項目について詳しくは **139** ～ **142** ページをご覧ください。

⑱ 暗証番号設定

本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときに、暗証番号を使います。

設定方法については、**88** ページをご覧ください。

⑲ 視聴年齢制限設定※2

年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。年齢制限は 4 ～ 20 歳の範囲で設定できます。

設定項目	設定内容
数字ボタンで年齢を入力	視聴年齢を制限します。
無制限☆	視聴年齢を制限しません。

※２あらかじめ暗証番号の設定（→**88**ページ）をしておくことが必要です。

⑳ 双方向サービス設定※3

電話回線への接続を禁止します。

設定項目	設定内容
電話回線を禁止する	電話回線への接続を禁止します。
禁止しない☆	電話回線に接続できます。

※３あらかじめ暗証番号の設定（→**88**ページ）をしておくことが必要です。

㉑ 字幕表示設定

デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定することができます。

設定項目	設定内容
する	字幕を常に表示します。
しない☆	字幕を表示させません。

㉒ システム動作テスト※1

アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CAS カードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。

- テストに失敗したときは、アンテナとの接続（→ **92** ～ **94** ページ）、B-CAS カードの挿入（→ **106** ページ）、電話回線の接続（→ **137**、**138** ページ）が正しく行われているかどうか、ご確認ください。
- 本機のソフトウェアのバージョン情報を確認することもできます。

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

- 初期化したときは、データ放送などで、再度情報の入力が必要となります。また、ポイント情報なども初期化されます。

- **暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

- 「各種設定」－「本体設定」－「個人情報初期化」で個人情報を初期化することでリセットされます。
  他の設定項目もリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

暗証番号は以下の設定で使います

デジタル設定 ― 視聴年齢制限設定 / 双方向サービス設定

- 「機能切換」－「BD/DVD 再生設定」－「DVD 視聴制限レベル」の暗証番号としても使います。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「デジタル設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力します

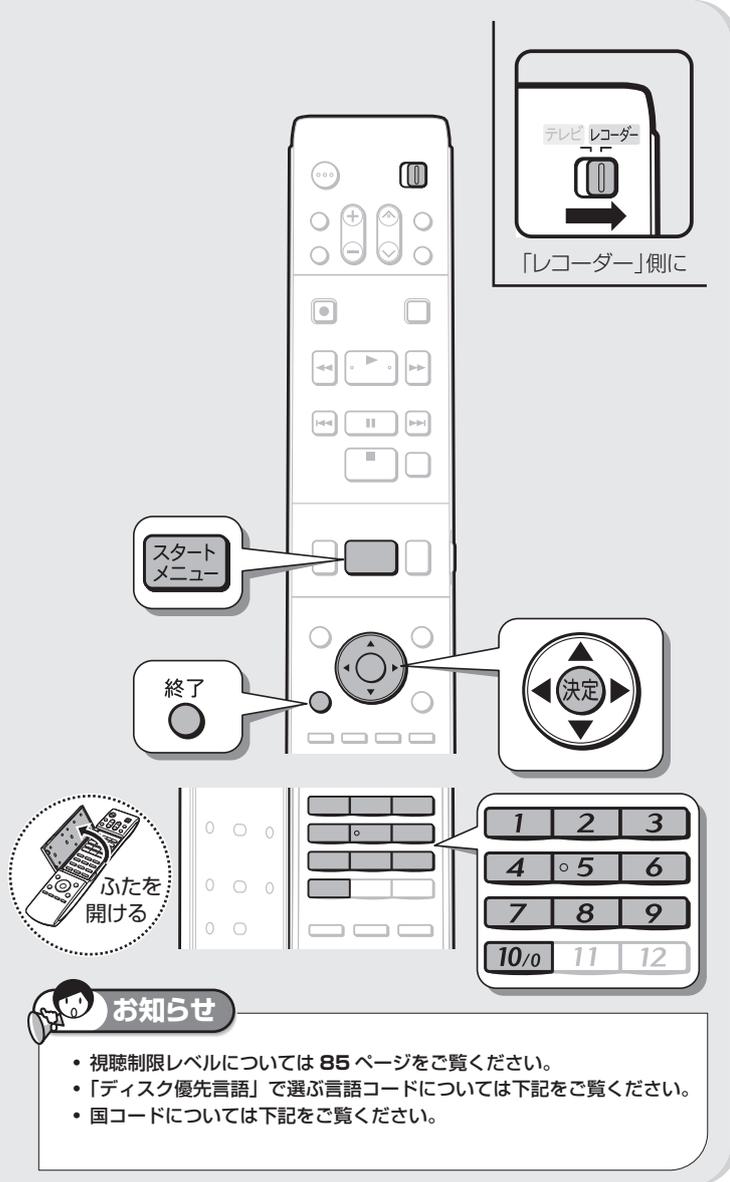
7 確認のためもう一度入力します

8 「確認」で決定します

⇨暗証番号設定

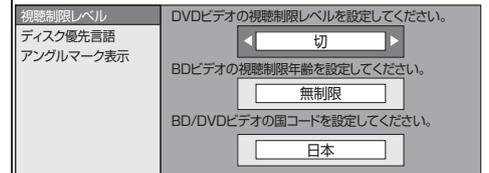
9 設定を終了します

視聴制限とディスク優先言語を設定する

視聴制限で国コード、ディスク優先言語で言語コードを設定します。

1 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 88 ページ を入力します

4 それぞれ選んで決定します

5 「ディスク優先言語」を選んで決定します

6 それぞれの項目の言語を選んで決定します

7 設定を終了します

お知らせ

- 視聴制限レベルについては **85** ページをご覧ください。
- 「ディスク優先言語」で選ぶ言語コードについては下記をご覧ください。
- 国コードについては下記をご覧ください。

国コードの一覧表

アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラドビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダカスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ＝ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

接続と設定

この章では、本機へのアンテナ接続、
他の機器との接続やチャンネル設定など
について説明しています。

接続のながれ

1 アンテナを接続する

本機にアンテナを接続する前に、「アンテナ接続時のご注意」（→ **92** ページ）を必ずお読みください。

A 個別にVHF/UHFとBSアンテナを設置している場合

93 ページ A の接続へ

・地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナ、BS・110 度 CS デジタル放送の受信に必要な衛星アンテナの設置をお確かめください。

B マンションなどの共聴システムで受信している場合

93 ページ B の接続へ

・地上デジタル放送や BS・110 度 CS デジタル放送の信号が配信されているかどうかは、マンション管理者にお問い合わせください。

C BS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合

93 ページ C の接続へ

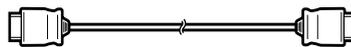
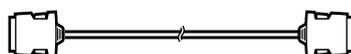
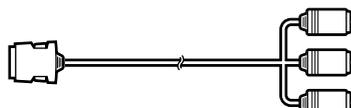
D ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

94 ページ D の接続へ

・本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATV パススルー方式」です。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。
・**CATV パススルー方式とは**
CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。

2 テレビやオーディオ機器と接続する

テレビとつなぐときに使う映像コードについて

・HDMI 入力端子付きテレビと接続するときは、付属の HDMI コード（19 ピン）をお使いください。
・ファミリンク機能をお楽しみいただくためには、付属の HDMI コード（19 ピン）でファミリンク対応テレビと接続してください。（→ **101** ページ）

・D 映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販の D 映像コード（D-D）をお使いください。

・コンポーネント入力端子付きテレビと接続するときは、市販の D- コンポーネント変換コード（D-3 ピン）をお使いください。

・本機には S 映像出力端子はありません。

■ HDMI 入力端子付きテレビと接続 ――→ 96 ページ
■ D 映像入力端子付きテレビと接続 ――→ 97 ページ
■ 映像・音声入力端子付きテレビと接続 →98 ページ
■ ビデオデッキと本機をテレビに接続 ――→ 99 ページ
■ オーディオ機器と接続 ――→ 100 ページ

シャープ製ファミリンク対応機器と接続するときは

■ ファミリンク対応テレビと接続 ――→ 101 ページ
■ アクオスオーディオと接続 ――→ 102 ページ
■ シャープ製ハイビジョンレコーダーと i.LINK 接続 ――→ 103 ページ

アンテナを接続する

ご自宅のアンテナの状況に応じて、本機とアンテナ線を接続してください。

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- BS・110度CSデジタル放送を見るためには、BS・110度CS共用アンテナをお使いください。

接続をする前に

本機をお使いになる場所のアンテナの設置状況によって、接続方法が異なります。まずは、アンテナ（放送）環境を確認してから、本機に接続するアンテナケーブルを準備します。

•アンテナ（放送）環境により、以下の市販品などが必要です。
- アンテナケーブル（市販品）
- 衛星放送用同軸ケーブル（市販品）
- 分配器（市販品）
- 分波器（市販品）

- BS･110度CS共用アンテナとの接続には「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。
「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの（S-5C-FBなど）をお使いください。

アンテナ線がF型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは
- 先端を加工してアンテナ線接続プラグ（市販品）を取り付けます。

BSアンテナと接続するときは

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について
- 本機の「BS・110度CS アンテナから入力」端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」（→ **109** ページ）を設定したときや「BS･CSアンテナ電源」（→ **126** ページ）を「入」に設定したときは、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ず「BS・CSアンテナ電源」を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について
- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ接続時のご注意

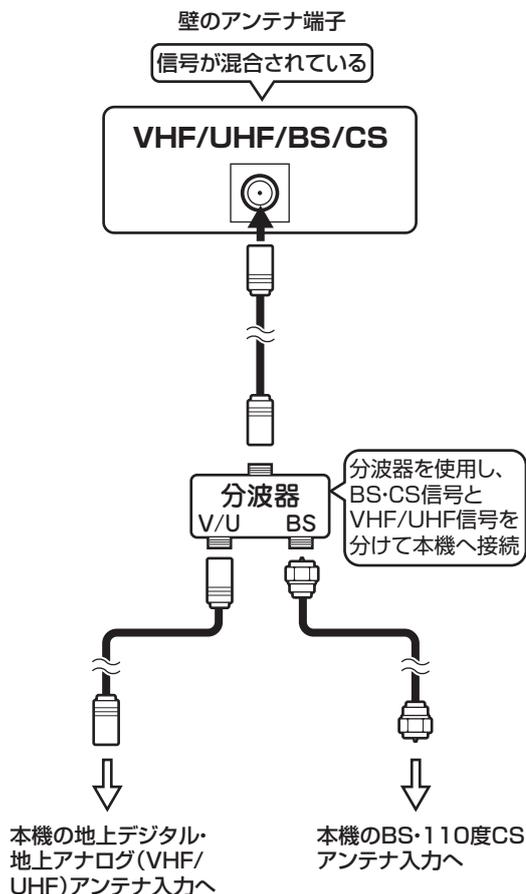
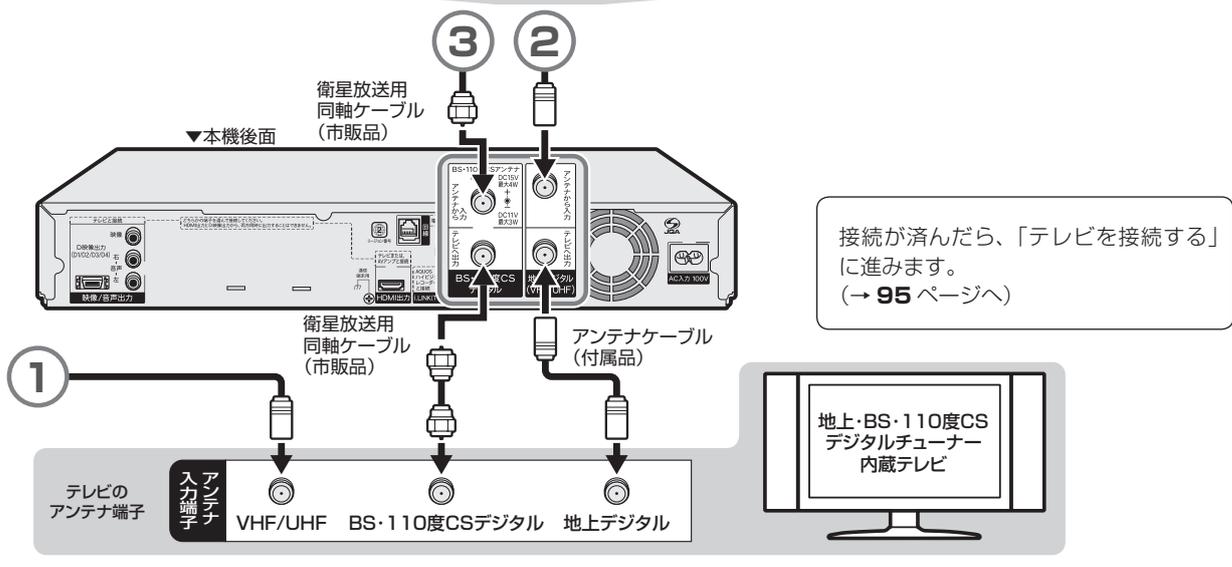
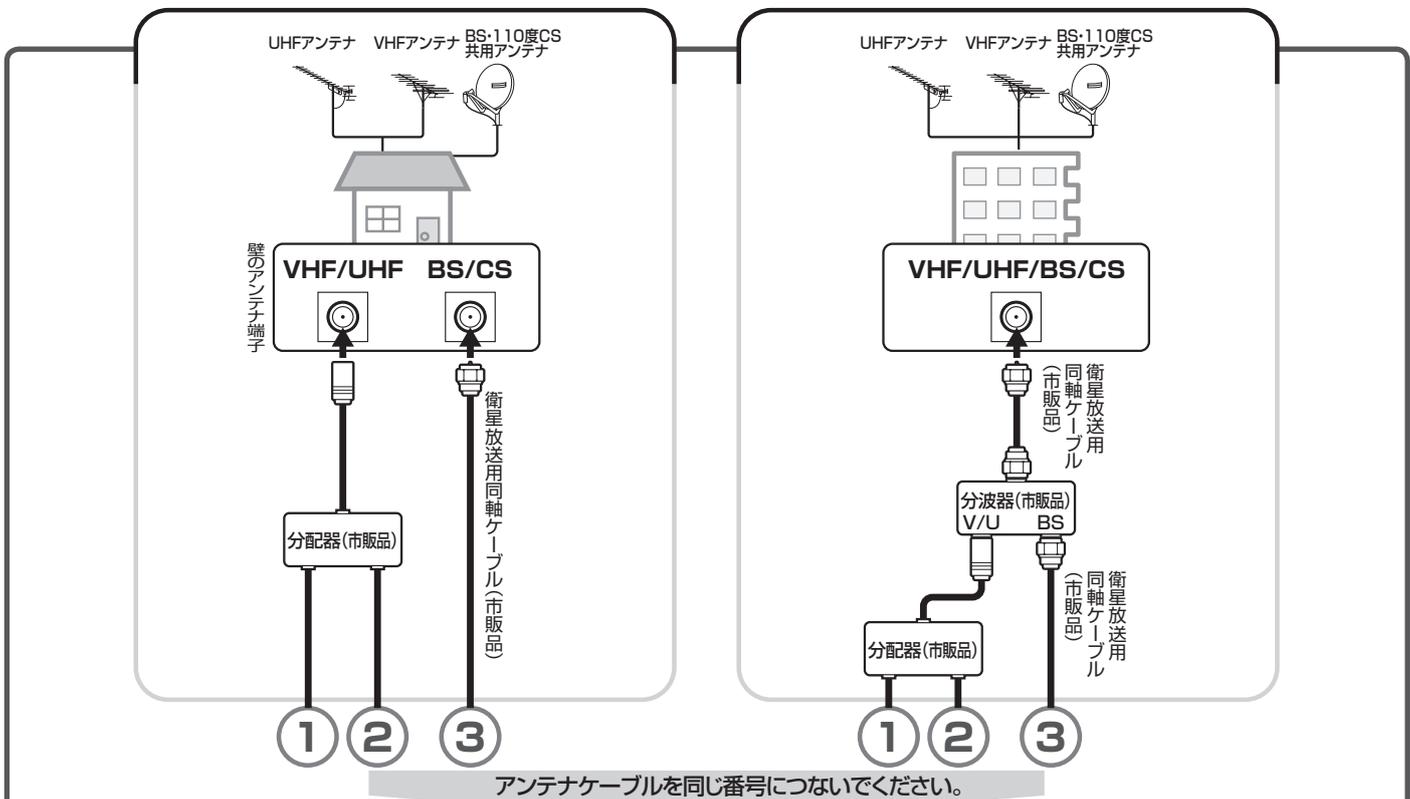
VHF/UHF/BS/CSの信号が混合されているアンテナ端子から本機へアンテナ線を接続するときは、必ずBS/UV分波器を使用して接続してください。

分波器と分配器について

分波器（市販品）

- VHF/UHF信号とBS・110度CSデジタル信号を分けます。
- 金属シールドタイプをご使用ください。
- 地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110度CSデジタル放送だけを見る場合は必要ありません。

分配器（市販品）

- 本機では地上アナログ放送は受信できませんが、テレビでも地上アナログ放送を受信しない場合は、分配器は必要ありません。

詳しくは 93 ページB

UHFアンテナ　VHFアンテナ　BS･110度CS共用アンテナ

壁のアンテナ端子　VHF/UHF　BS/CS

分配器（市販品）

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

① ② ③

B マンションなどの共聴システムで受信している場合

UHFアンテナ　VHFアンテナ　BS･110度CS共用アンテナ

VHF/UHF/BS/CS

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

分波器（市販品）　V/U　BS

分配器（市販品）

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

① ② ③

アンテナケーブルを同じ番号につないでください。

③ ②

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

▼本機後面

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

アンテナケーブル（付属品）

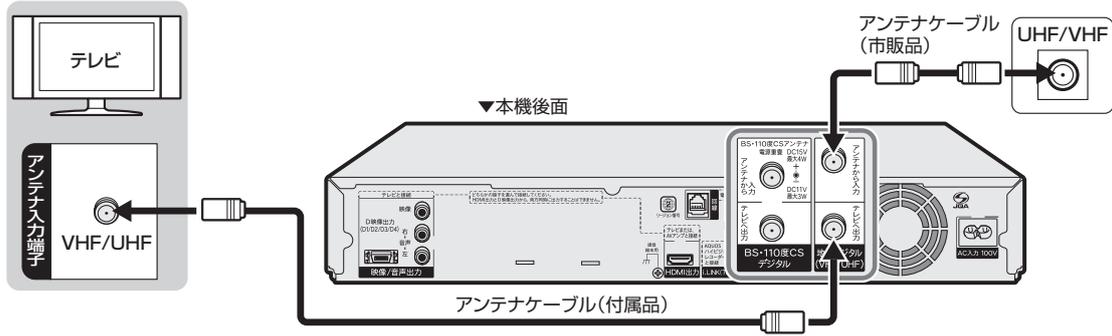
①

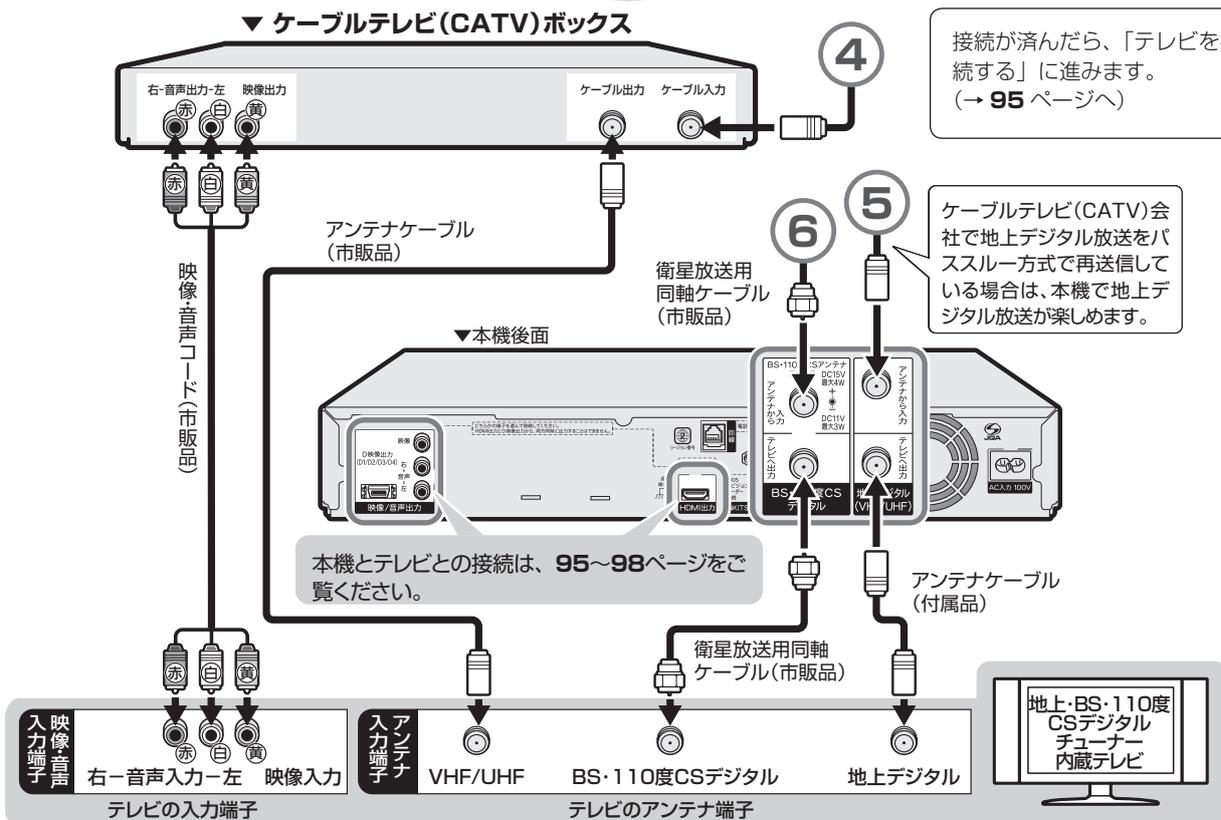
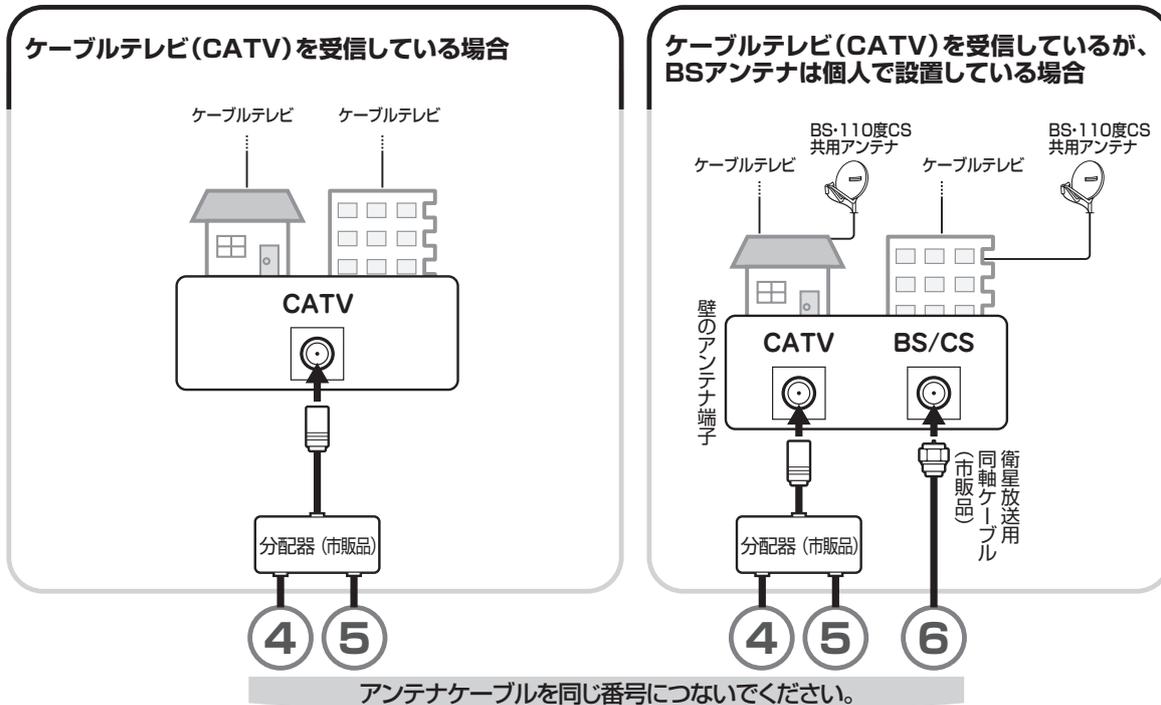
テレビのアンテナ端子　アンテナ入力端子　VHF/UHF　BS･110度CSデジタル　地上デジタル

地上･BS･110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ

接続が済んだら、「テレビを接続する」に進みます。
（→ **95** ページへ）

接続が済んだら、「テレビを接続する」に進みます。（→ **95** ページへ）

次ページへつづく

D ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

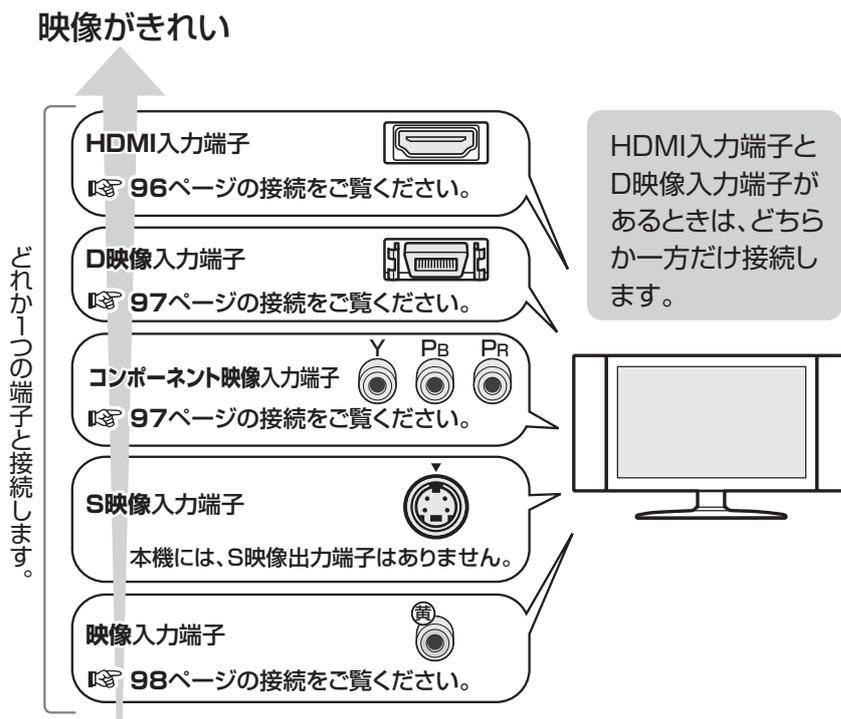
・接続図は一例です。ケーブルテレビ（CATV）ボックスによりつなぎかたは異なります。
詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ご注意

・安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
・ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
・アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

テレビを接続する

テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子とおつなぎください。
接続したあとは、「初期設定」で接続したテレビのタイプを設定してください。（→ **110** ページ）
（HDMI コード（付属品）で接続したときは、自動で設定されます。）

テレビ入力端子の種類

接続する端子により、お楽しみいただける画質が異なります。

・HDMI コードで接続する場合、ファミリンク機能を搭載したテレビ（シャープ製）と接続すると、本機とテレビを連動して操作できます。 101 ページ

ハイビジョン映像をご覧いただくには

テレビのタイプは

- ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ（モニター）が必要です。
  - HDMI 入力端子
  - D3 映像入力端子
  - D4 映像入力端子
  - D5 映像入力端子
  - コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子
- ハイビジョンタイプのテレビ（モニター）以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

テレビとの接続は

- 本機とテレビを、D 映像コード（市販品）または HDMI コード（19 ピン／付属品）で接続します。
- コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子付きテレビ（モニター）と接続するときは、D －コンポーネント変換コード（市販品）で接続します。

D 映像コードで接続したときは

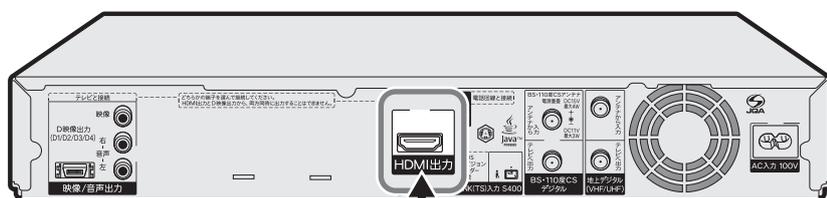
- 「初期設定」でテレビ側の端子名を次のいずれかに設定します。（→ **110** ページ）
  - 「D3 映像入力端子」
  - 「D4 映像入力端子」
  - 「D5 映像入力端子」
  - 「コンポーネント映像入力端子」

次ページへつづく

HDMI 入力端子付きテレビと接続する場合

HDMI 出力端子は、映像と音声のデジタル信号を 1 本のコードでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMI コード（19 ピン／付属品）を使うと、他の映像コード・音声コードを接続する必要はありません。

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI コードを接続して電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

▲本機後面

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビと HDMI コードで接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。
  （→ **101** ページ）

- **HDMI コードのみ接続している場合、接続したテレビの電源が入っているときは自動的に HDMI 出力に切り換わります。下記の設定は必要ありません。（D 映像コードが接続されている場合は、自動で切り換わりません。）**

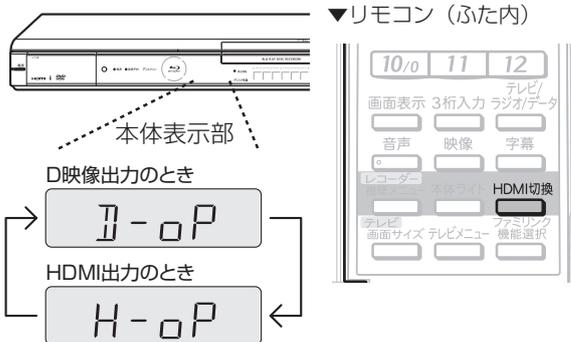
HDMI 出力に切り換える（D 映像コードも接続時）

D 映像出力端子と HDMI 出力端子の両方にコードを接続したときは、映像出力する端子をリモコンで切り換えてください。
（D 映像端子と HDMI 端子の両方からは映像は出力されません。）
・リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えてください。

① **本機の電源を入れます**

② **リモコンのふたを開けます**

③

⇨ 表示が「H-oP」になるまで（再度押し続けると D 映像出力「D-oP」に戻る）

お知らせ

- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI/HDMI 変換コード（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI/HDMI 変換コードを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。）

D 映像入力端子付きテレビ／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機の電源が「入」の状態で、本機に D 映像コードを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D 映像コードを差し込んでください。
- 本機の電源が「入」の状態で、本機に D −コンポーネント変換コードを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D −コンポーネント変換コードを差し込んでください。
- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書に従って操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）に接続したときは、DVD の再生映像は楽しめません。DVD の再生映像は 525i または 525p の信号が出力されます。
- 電源入や一発（クイック）起動を「する」にしているとき、電子番組表の取得中に D 映像コードを抜き差しすると D 映像出力設定（→ **83** ページ）が D1 に戻ります。

お知らせ

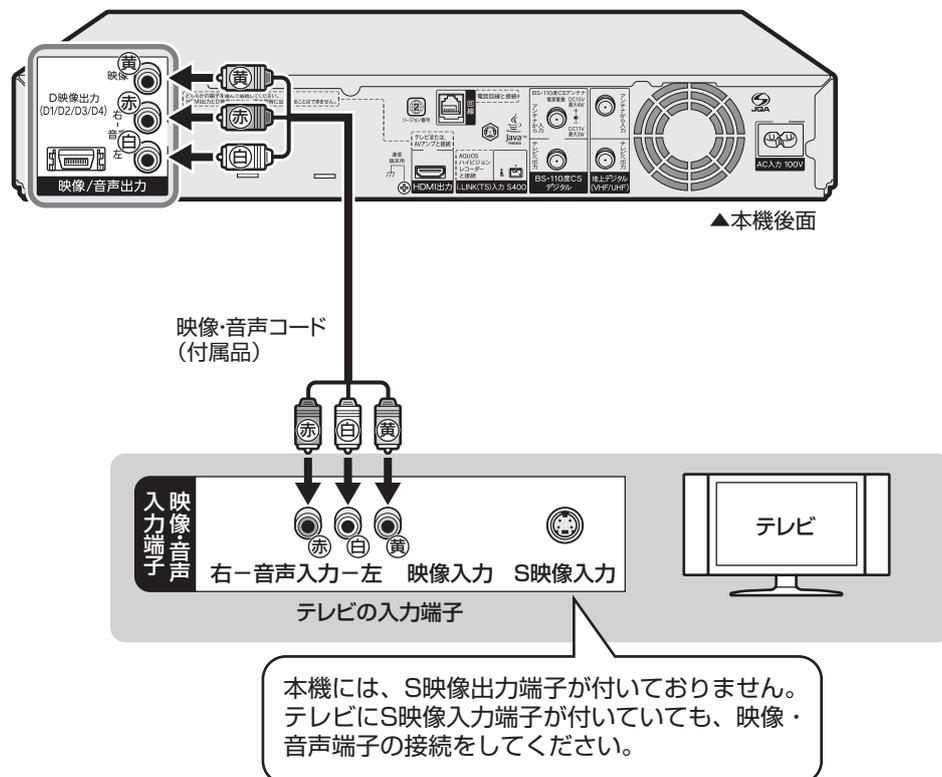
- 映像が乱れる、正常に映らない、映らないときは、**156** ページをご覧ください。

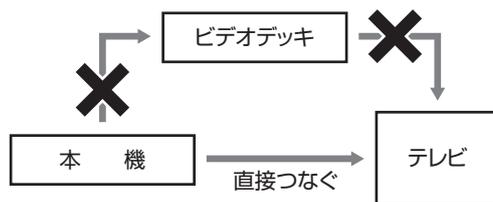
メ モ

- テレビに D 映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D 映像入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビの D 映像入力端子が D3、D4 または D5 映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。テレビの D 映像入力端子に合わせて、ハイビジョン対応テレビの映像端子名（→ **110** ページ）を「D3 映像入力端子」「D4 映像入力端子」または「D5 映像入力端子」に設定してください。

S 映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

ご注意

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

- 映像が乱れるときは、**156** ページをご覧ください。

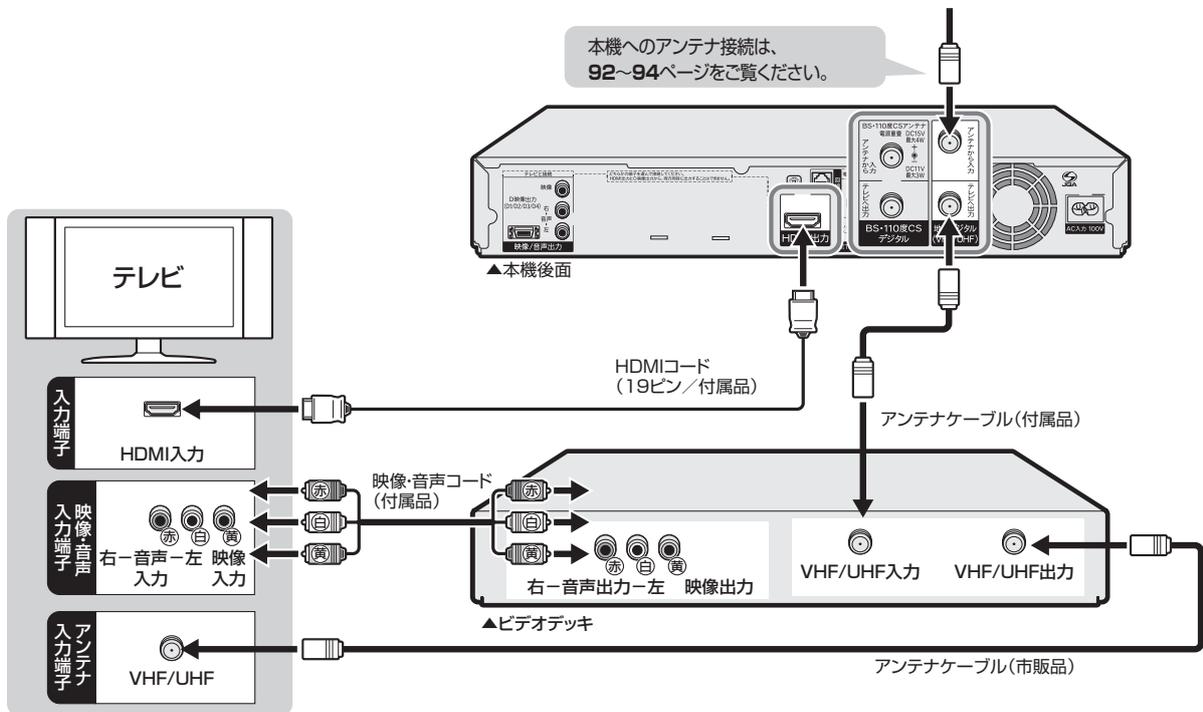
その他の機器と本機をテレビに接続する

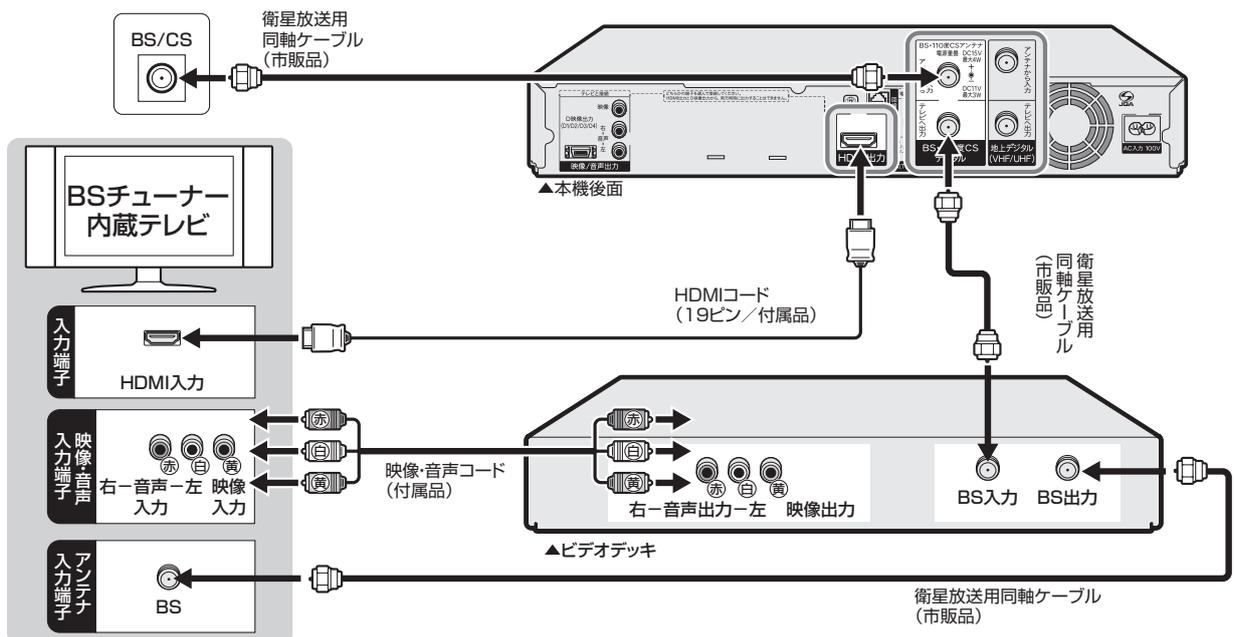
本機をさらに楽しむために、必要に応じてその他の機器と接続しましょう。

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったコード類を使って、接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ビデオデッキ（ビデオテープ）の映像を録画（ダビング）することはできません。

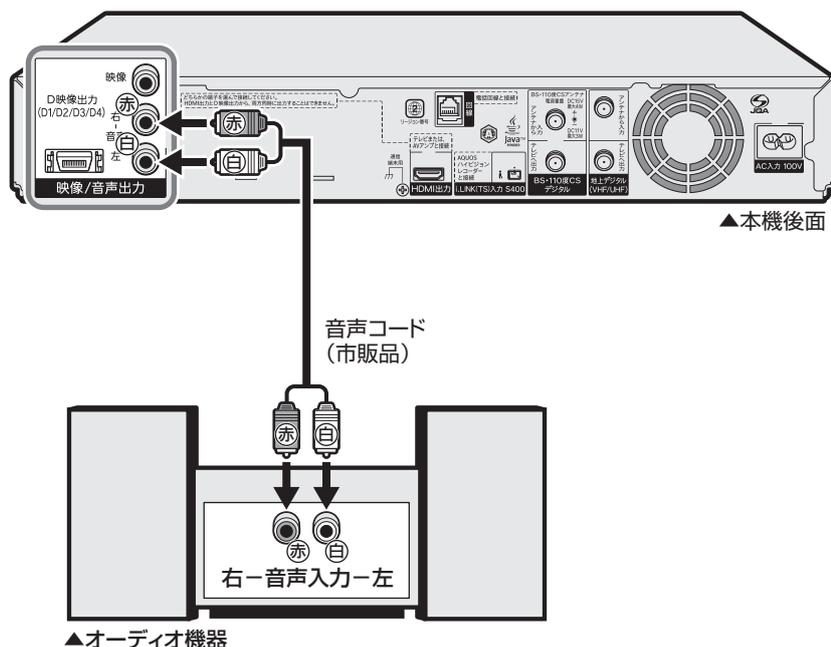
ビデオデッキと本機をテレビに接続する場合

ビデオデッキでも番組を録画するときは

ビデオデッキでも BS 放送を録画するときは

次ページへつづく

オーディオ機器を接続する場合

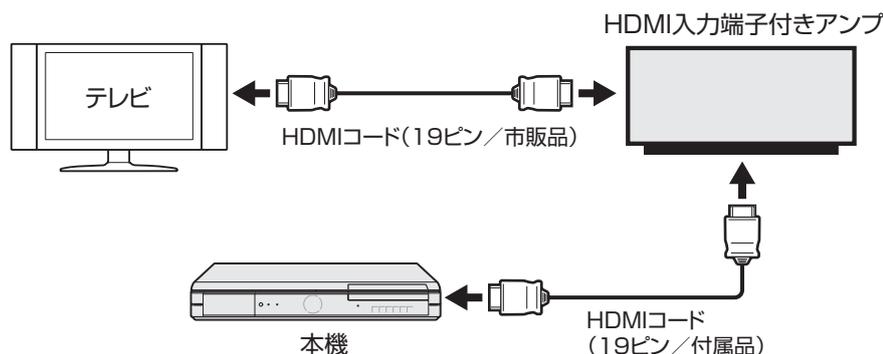
アナログ接続で音声を楽しむときは

本機の音声を 2ch オーディオ機器で楽しむときの接続です。

- 音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは、「故障かな？と思ったら」（→ **159** ページ）をご覧ください。
- 本機とテレビとの接続について詳しくは **95** ～ **98** ページをご覧ください。

HDMI 入力端子付きアンプと接続する場合

- 本機とアンプは、HDMI コード（19 ピン／付属品）を使って直接接続してください。
- アンプ側の接続について詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- HDMI 入力端子付きサラウンドアンプと接続したときは、「HDMI 音声出力設定」（→ **83** ページ）で「オート」または「PCM（サラウンド）」に設定します。
- ドルビー True HD、ドルビーデジタルプラス、DTS-ES 音声を再生する場合は、「HDMI 音声出力設定」を「PCM（サラウンド）」に設定してください。
- ドルビー True HD の音声は 2ch 出力となる場合があります。
- DTS-HD はコアストリーム部分（5.1ch）の再生が可能です。

ファミリンク機能を使うための接続をする

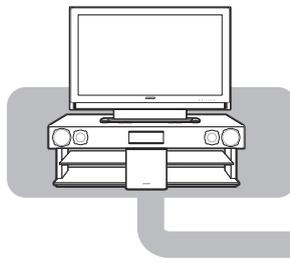
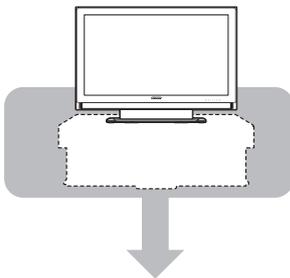
連動操作をするため、シャープ製のテレビやアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）と本機を HDMI コードで接続します。

アンテナの接続について

- アンテナ線などの接続については、**92**〜**94**ページをご覧ください。

ファミリンク機能に対応している液晶テレビ「アクオス」は？

- DVD／BDサポートステーションの「AQUOSファミリンクとは？　対応している機種は？」をご確認ください。
  DVD／BDサポートステーション　http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続しない場合はこのページの接続をしてください。

ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続する場合は次ページの接続をしてください。

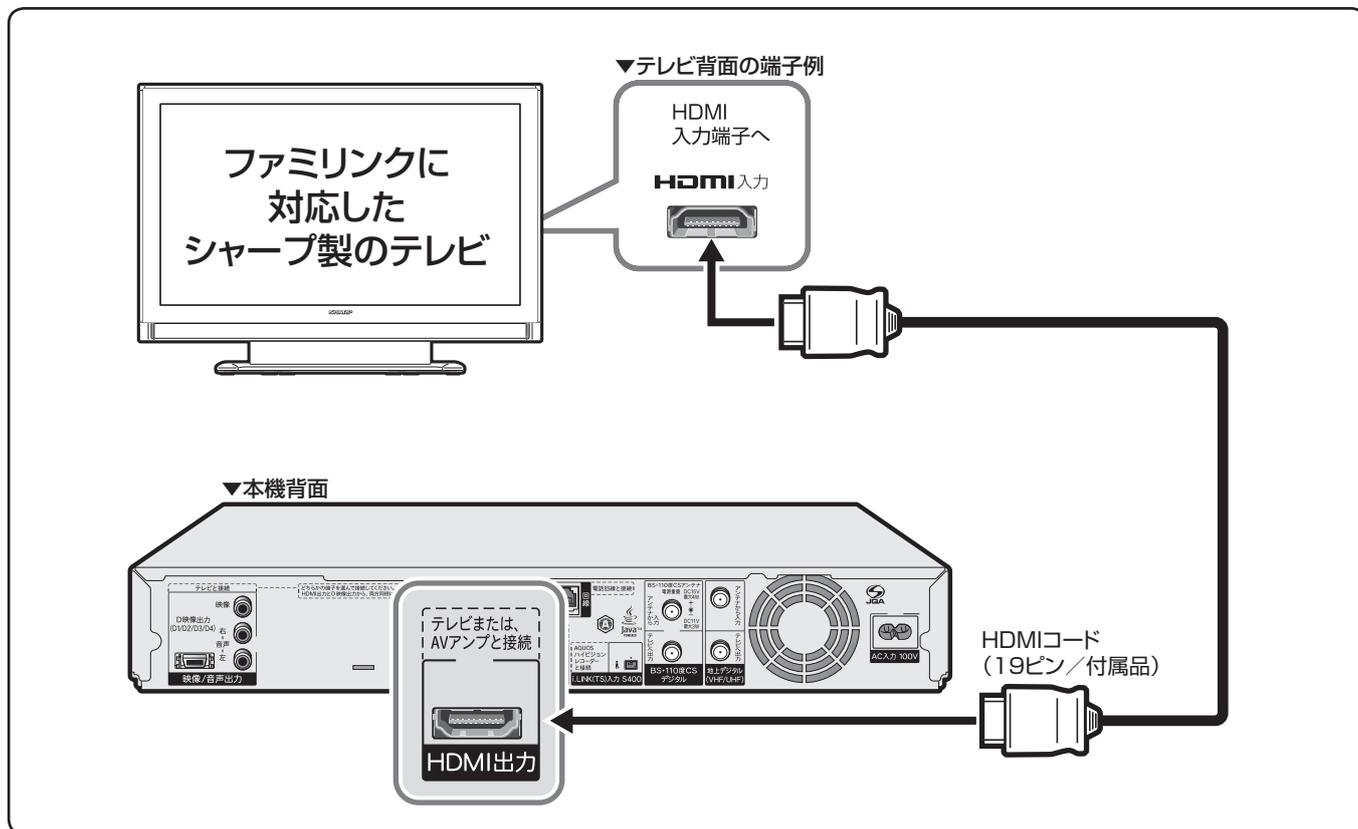
テレビと本機のみの接続

安全のため、本機・テレビなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

HDMIコード（19ピン／付属品）×1 本

接続のしかた

シャープ製ハイビジョンレコーダーをお持ちのときは、**103**ページの接続をします。

ファミリンクの設定については **113** ページ

次ページへつづく

テレビと本機とアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)の接続

安全のため、本機・テレビ・アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)など、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

光デジタル音声ケーブル(アクオスオーディオ付属品)× 1 本

HDMI コード(19 ピン/付属品)× 1 本

HDMI コード(アクオスオーディオ付属品)× 1 本

接続のしかた

シャープ製ハイビジョンレコーダーをお持ちのときは、**104**ページの接続をします。

ファミリンクに
対応した
シャープ製のテレビ

▼テレビ背面の端子例

デジタル音声
出力端子へ

デジタル音声出力(光)

HDMI
入力端子へ

HDMI入力

HDMIコード
(アクオスオーディオ/
アクオスサラウンド付属品)

光デジタル音声ケーブル
(アクオスオーディオ/
アクオスサラウンド付属品)

▼アクオスオーディオ
(アクオスサラウンド)
背面の端子例

▼ファミリンクに対応した
アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)

デジタル音声入力(光)

入力1　入力2

HDMI
出力
(テレビへ)

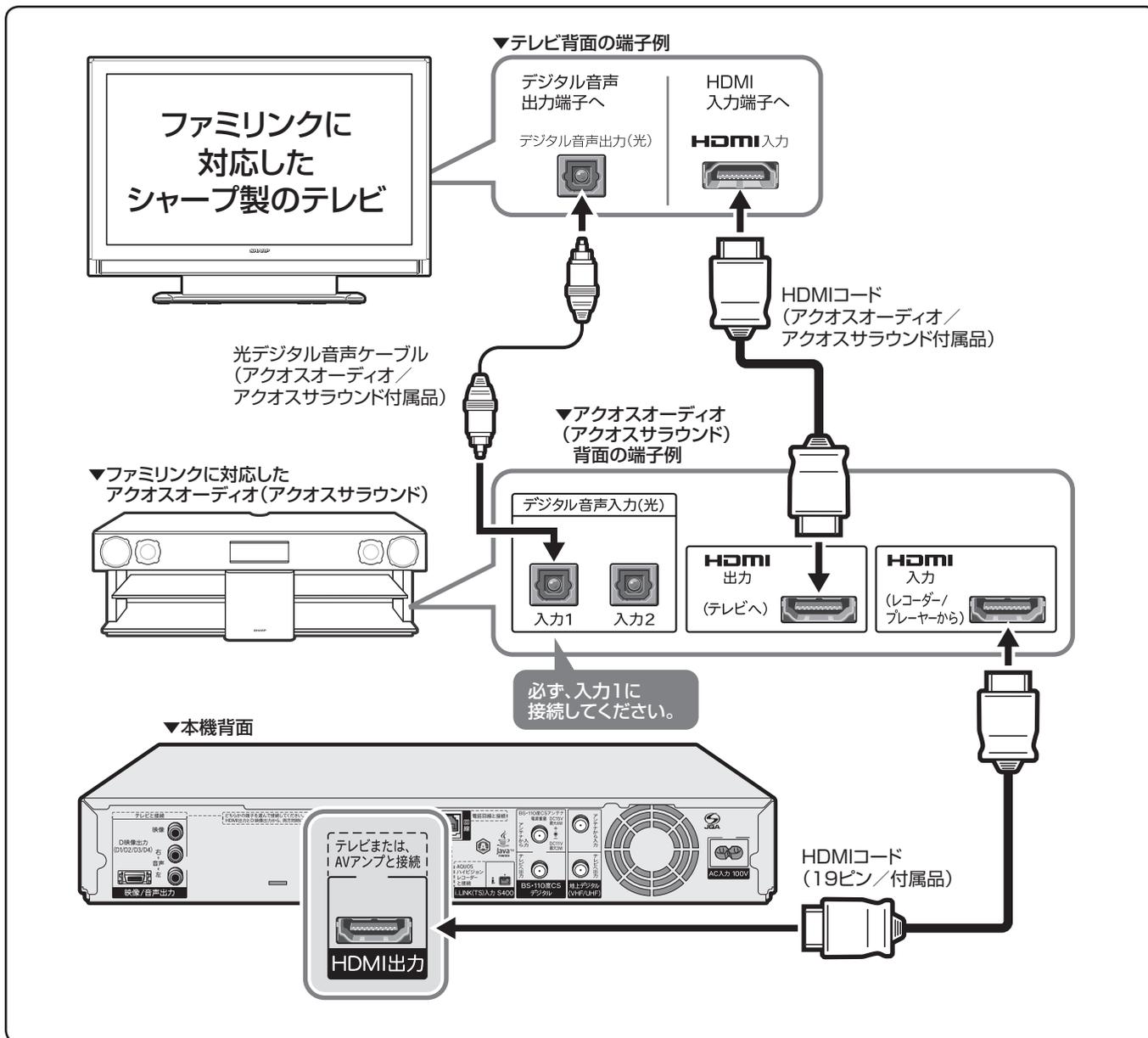
HDMI
入力
(レコーダー/
プレーヤーから)

必ず、入力1に
接続してください。

▼本機背面

テレビまたは、
AVアンプと接続

HDMI出力

HDMIコード
(19ピン/付属品)

ファミリンクの設定については **113** ページ

・アクオスサラウンドまたはアクオスオーディオと HDMI ケーブルで接続したときは、「HDMI 音声出力設定」(→ **83** ページ)で「オート」に設定します。

かんたんBDダビングのための接続をする

かんたんBDダビングとは

- シャープ製デジタルハイビジョンレコーダーのハードディスクに録画画質「HD/SD」で録画したデジタル放送番組を、ハイビジョン画質（放送画質）のままi.LINK（TS）入力録画でBD-RE Ver.2.1ディスクにダビングする機能です。
  詳しくは**78**ページをご覧ください。

i.LINKダビング機能を搭載したシャープ製デジタルハイビジョンレコーダーをご使用の場合の接続です。（2007年9月現在）	BD-HD100、DV-HRD2、DV-HRD20、DV-HRD200、DV-HRD3、DV-HRD30、DV-HRD300、DV-AR11、DV-AR12、DV-ARW12、DV-ARW15、DV-ARW22、DV-ARW25、DV-ARV22、DV-ACW38、DV-ACW52、DV-ACW55、DV-ACW60、DV-AC52、DV-AC55、DV-ACV52、DV-ACW72、DV-ACW75、DC-ACW80、DV-AC72、DV-AC75、BD-HDW15、BD-HDW20

- テレビ放送は本機でBD-RE Ver.2.1ディスクに録画します。
- ハイビジョンレコーダーからBD-RE Ver.2.1ディスクにダビングします。

テレビと本機とハイビジョンレコーダーの接続

安全のため、本機・テレビ・ハイビジョンレコーダーなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

接続のしかた

▼テレビ背面の端子例

HDMI 入力端子へ　HDMI入力

HDMI 入力端子へ　HDMI入力

ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ

HDMIコード（19ピン／付属品）

HDMIコード（19ピン／市販品）

お知らせ

ハイブリッドダブレコをするためにハイビジョンレコーダーとテレビがi.LINK接続されているときは、かんたんBDダビングは働きません。

必ず本機とハイビジョンレコーダーを1対1の接続につなぎかえてから、ダビング操作をしてください。

▼ハイビジョンレコーダーの背面端子例

i.LINK（TS）端子へ　i.LINK（TS）

HDMI 出力端子へ　HDMI出力　※

▼シャープ製ハイビジョンレコーダー

▼本機背面

テレビまたは、AVアンプと接続　HDMI出力

AQUOS ハイビジョンレコーダーと接続　i.LINK(TS)入力 S400

i.LINKケーブル（市販品）

※ DV-HRD2、DV-HRD20、DV-HRD200、DV-HRD3、DV-AR11は、HDMI出力端子を搭載していません。D映像コード（市販品）と音声コード（市販品）を使いテレビと接続してください。

接続のしかたについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

テレビ・アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)・本機とハイビジョンレコーダーを接続する場合

安全のため、本機・テレビ・ハイビジョンレコーダー・アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)など、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

接続のしかた

ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ

▼テレビ背面の端子例

デジタル音声出力端子へ　デジタル音声出力(光)

HDMI入力端子へ　HDMI入力

HDMI入力端子へ　HDMI入力

光デジタル音声ケーブル(アクオスオーディオ付属品)

必ず入力1に接続してください。

HDMIコード(アクオスオーディオ付属品)

HDMIコード(19ピン／市販品)

▼ファミリンクに対応したアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)

▼アクオスオーディオ背面の端子例

デジタル音声入力(光)　入力1　入力2

HDMI出力(テレビへ)

HDMI入力(レコーダー/プレーヤーから)

光デジタル音声ケーブル(市販品)

▼ハイビジョンレコーダーの背面端子例

デジタル音声出力端子へ　デジタル音声出力(光)

i.LINK(TS)端子へ　i.LINK(TS)

HDMI出力端子へ　HDMI出力 ※

▼シャープ製ハイビジョンレコーダー

HDMIコード(19ピン／付属品)

▼本機背面

テレビまたは、AVアンプと接続　HDMI出力

AQUOSハイビジョンレコーダーと接続　i.LINK(TS)入力 S400

i.LINKケーブル(市販品)

お知らせ

ハイブリッドダブレコをするためにハイビジョンレコーダーとテレビがi.LINK接続されているときは、かんたんBDダビングは働きません。

必ず本機とハイビジョンレコーダーを1対1の接続につなぎかえてから、ダビング操作をしてください。

※ DV-HRD2、DV-HRD20、DV-HRD200、DV-HRD3、DV-AR11は、HDMI出力端子を搭載していません。D映像コード(市販品)と音声コード(市販品)を使いテレビと接続してください。

接続のしかたについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

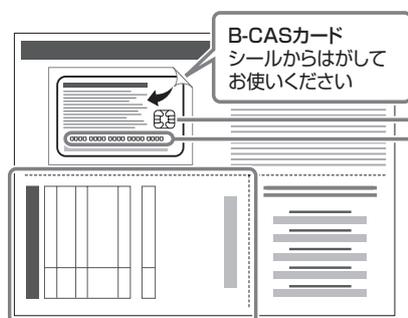
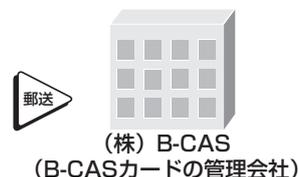
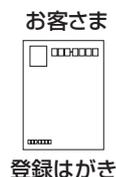
ご注意

- ディスクに記録されている音声によっては、ハイビジョンレコーダーを再生したときにアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)から音声が出力されない場合があります。そのような場合は、アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)に付属のリモコンの「入力切換」ボタンを押し、光デジタル音声入力2を選んでください。

B-CAS（ビーキャス）カードをセットする

デジタル放送を視聴するために、B-CAS カードを必ず挿入してください。

デジタル放送と B-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CAS カードを挿入していただくことで、NHK や無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
  B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送や BS デジタル放送が映りません。
- 地上デジタル放送、BS・110 度 CS デジタル放送は、B-CAS カードを利用した限定受信システム（＝ CAS）を採用しています。2004 年 4 月より、有料放送だけでなく、無料放送も B-CAS カードが必要です。
- B-CAS カードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
  付属の B-CAS カード番号登録用はがきを送り、B-CAS カードの番号を登録することで受信者登録が行われます。

B-CAS カードの取り扱い

- 折り曲げたり変形させない。
- 重いものをおいたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC（集積回路）部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。

B-CAS カードのお問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに B-CAS カードの登録をするには

（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CAS と呼びます。）

- B-CAS カードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
  詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るには

地上デジタル放送の受信には UHF 対応のアンテナを使用します。
現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）

VHF アンテナでは受信できません。

- ご使用のアンテナが VHF アンテナのみの場合は、UHF アンテナの設置が必要になります。

お知らせ

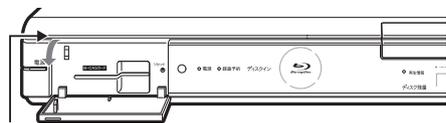
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、2003 年 12 月から開始された放送です。各都道府県の県庁所在地は、2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは順次拡大されます。
- お住まいの地域でデジタル放送が開始されていない場合は視聴できません。

BS・110度CSデジタル放送を見るには

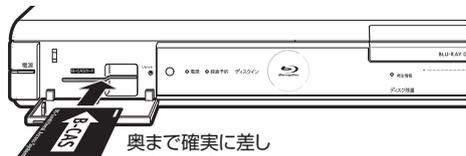
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するには放送局への申し込みが必要です。

- お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。
  詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

- 本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態＝電源ランプ赤色点灯）のときでも動作することがあります。
- 通信中は、本体表示部に「ACCESS」と表示されます。

B-CAS（ビーキャス）カードを本機にセットする

1 本機前面の扉を開けます

▲本機前面

2 B-CAS（ビーキャス）カードを表面の矢印の方向に差し込みます

3 本機前面の扉を閉めます

- 差し込みが不完全な状態で本機前面の扉を閉めると、カードの破損や本機の故障の原因となります。

お知らせ

- デジタルチューナー内蔵テレビをご使用の場合でも、本機でデジタル放送を視聴・録画をするために、本機にもB-CASカードをセットする必要があります。

B-CAS（ビーキャス）カードを取り出すときはまっすぐに手で引き抜いてください。

ご注意

B-CASカードの取扱い上のご注意

- 本機使用中は、B-CASカードに触れないでください。
- 差し込み口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。

B-CASカードは大切に保管してください

- 仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CASカードを破損した場合は

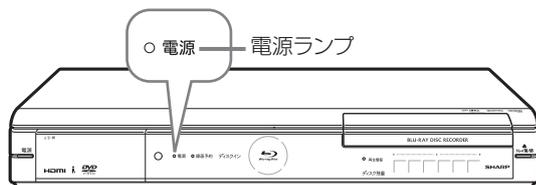
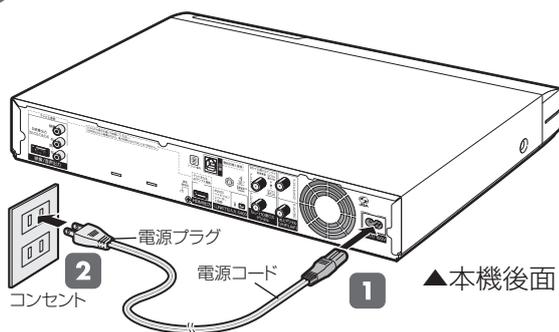
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。（2007年9月現在）
  詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  （連絡先：0570-000-250）

電源プラグを差し込む

必要な接続と B-CAS カードのセットが済んだら、本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

1 電源コード接続部に電源コードを接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます

赤点滅中－システム準備中
（赤点灯するまでおまちください）
赤点灯中－待機中
（電源「入」にできます）
緑点灯中－電源入

ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源ランプが点灯するまでに多少時間がかかります。電源ランプが点灯するまでお待ちください。（電源ランプ点滅中はシステム準備中のため、電源「入」にできません。）

設定のながれ

以下のような場合はそれぞれの設定を行ってください。

本機を箱から出して初めて電源を入れたとき

→ **初期設定** 109 ページ～

らくらくセットアップ

・ファミリンクを搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と本機を HDMI コードで接続をすると、テレビのチャンネル設定を取得することができ、かんたんに初期設定が行えます。

ファミリンクでの連動操作のための設定

→ **ファミリンク連動設定** 113 ページ

・アクオスオーディオと接続したときの設定（→ **118** ページ）

デジタル放送がうまく受信できない

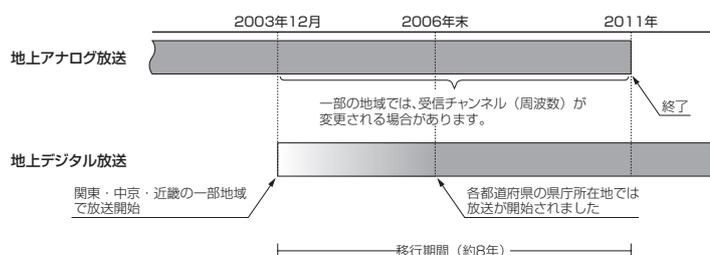
双方向番組に参加したい

有料放送の契約がしたい

→ **デジタル放送設定** 124 ページ

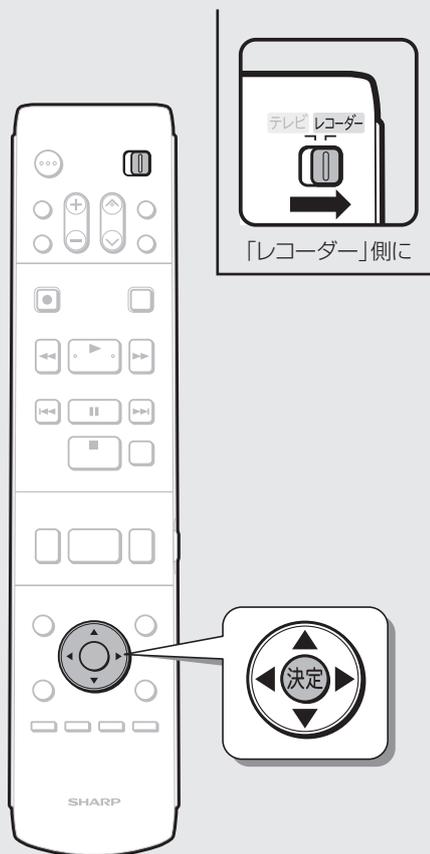
・チャンネル個別設定
・電子番組表の取得
・双方向通信設定　など

現行の地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに終了します。

- 2011 年 7 月までに地上アナログ放送は終了する予定です（2007 年 9 月現在）。（※地上アナログ放送と地上デジタル放送では、放送内容が異なる場合があります。）
- **本機のチューナーでは、地上アナログ放送は受信できません。**

お知らせ

・ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。

初期設定する（らくらくセットアップ）

本機を初めてお使いになるときは初期設定を行ってください。初期設定をやり直すこともできます。（→ **112** ページ）
ファミリンクを搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と本機を HDMI コードで接続をすると、テレビのチャンネル設定を取得することができ、かんたんに初期設定が行えます。（らくらくセットアップ）

ご注意

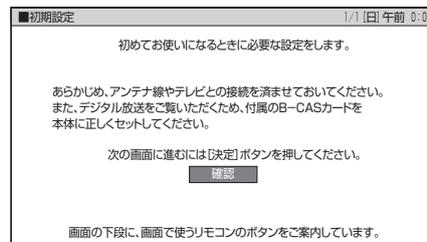
- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合については、**166** ページをご覧ください。
- HDMI コード（付属品）でテレビと接続した場合に「初期設定」画面が表示されない場合は、「HDMI 出力に切り換える」で HDMI 出力に設定してください。（→ **96** ページ）
- リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。（→ **120** ページ）
- リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を別の番号に設定してください。（→ **121** ページ）

1 テレビと本機の準備をします

25 ページ

⇨初期設定画面表示

2 「確認」で決定します

確認 で

3 BS・110 度 CS 用アンテナ電源を設定します

① マンション等の共聴タイプでアンテナに電源を供給する必要がない場合
② 個別にアンテナを設置していてアンテナに電源を供給する必要がある場合
③ BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置していない場合

ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と HDMI コードを接続した場合（らくらくセットアップ）

☞ 112 ページ C HDMI 設定へ

- ファミリンク対応の「アクオス」に次の条件で接続している場合は、すぐにチャンネル設定中の画面に進みます。
  ① シャープ製ファミリンク対応「アクオス」に HDMI 接続していること
  ② テレビの電源が入っていること
  ③ テレビの入力が本機を接続した入力になっていること
- テレビと本機を同時に購入いただいたときなどは、テレビの設定を先に済ませてください。
  テレビの設定はテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

4 表示される画面を確認します

•本機とテレビを接続したコードの種類により、表示画面が異なります。

●映像コード・D 映像コードで接続した場合

☞このページの A 端子設定へ
次ページ B チャンネル設定へ

●ファミリンク機能を搭載していないテレビと HDMI コードで接続した場合

☞次ページ B チャンネル設定へ

A 端子設定

1 接続したテレビのタイプを選んで決定します

選んで 決定する

2 テレビ側の映像端子名を選んで決定します

ハイビジョン対応テレビの場合

通常のテレビの場合（ハイビジョン非対応）

・選択項目によって、変更確認画面や選択画面などが表示されます。画面の指示に従って設定してください。

テレビの画面サイズの選択

接続したテレビの画面サイズを選択してください。

ワイド（16：9）

通常（4：3）

わからない

※HDMI出力時、この設定は無効です。

3 「確認」で決定します

確認 で

•下記画面は一例です。

接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　［D３／D４／D５］

また、次の項目をハイビジョン対応テレビに適したものに自動設定しました。
画面サイズ　［ワイド（16：9）］
プログレッシブ出力　［する］

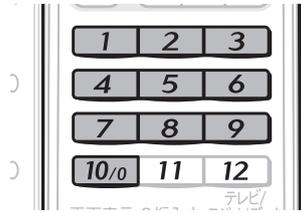
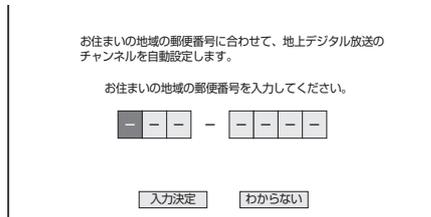
確認

☞次ページ B チャンネル設定へ

B チャンネル設定

1 郵便番号を入力します

・0 は 10/0 で入力

お住まいの地域の郵便番号に合わせて、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定します。
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。
入力決定　わからない

・修正するには
修正部分を   ▶ 再入力

・2006 年現在の郵便番号に対応しています。
・事業者の郵便番号には対応していない場合があります。

郵便番号が分からない場合は

① 1 で 分からない を選んで

② 後でチャンネル設定を行う を選んで

⇨ 5 へ

（別途デジタル放送設定をしてください。

 124 ページ ）

2 「入力決定」で決定します

 で

・ 存在しない郵便番号を誤って入力した場合は、入力を間違えたことを示すメッセージが表示されます。郵便番号を入力し直してください。

3 地上デジタル放送のチャンネルが自動設定されます

お住まいの地域（●●）で視聴可能なデジタル放送の放送局を確認しています。
しばらくお待ちください。
受信チャンネル　○○ｃｈ
リモコン番号　1
放送局名　○○○
を確認しました。
○○ｃｈを確認しています。
中止

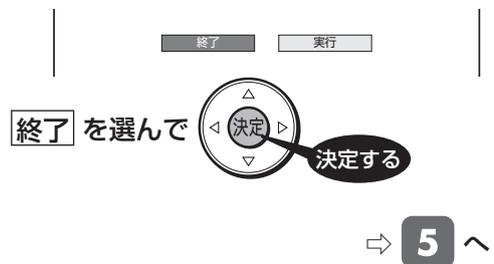
設定できない場合は

終了　実行

終了 を選んで 決定する

⇨ 5 へ

4 「確認」で決定します

 で

居住地向けのチャンネルを登録しました。

うまく放送が受信できない場合は、取扱説明書を見ながら、各種設定の一発チャンネル設定またはチャンネル設定からもう一度設定をおこなってください。

確認

5 初期設定完了メッセージを確認後、終了します

 で

⇨ 初期設定終了

お知らせ

・ 郵便番号によるチャンネル設定で放送が受信できないときは、「チャンネルの個別設定」（→ **131** ページ）でチャンネルを設定してください。

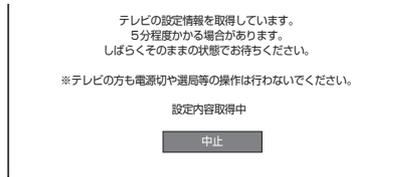
C HDMI 設定

1 テレビのチャンネル情報が取得されます

テレビの設定情報を取得しています。
5分程度かかる場合があります。
しばらくそのままの状態でお待ちください。

※テレビの方も電源切や選局等の操作は行わないでください。

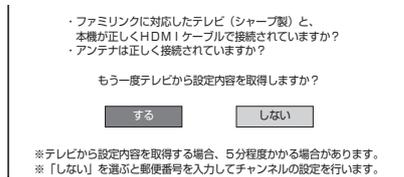
設定内容取得中

中止

取得できない場合または 中止 を選んだ場合は表示される取得中止画面で

・ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）と、
本機が正しくHDMIケーブルで接続されていますか？
・アンテナは正しく接続されていますか？

もう一度テレビから設定内容を取得しますか？

する　　しない

※テレビから設定内容を取得する場合、5分程度かかる場合があります。
※「しない」を選ぶと郵便番号を入力してチャンネルの設定を行います。

する を選んで決定

⇨ 1 画面に

しない を選んで決定

⇨ 111 ページ B

郵便番号を入力し、チャンネル設定を行います。

2 初期設定完了メッセージを確認後、終了します

⇨ 初期設定終了

お知らせ

・初期設定の「A 端子設定」（→ 110 ページ）でテレビ側の映像端子を「D2」～「D5」または「コンポーネント映像入力端子」に設定した後、本機から D 映像コードを取り外すと、設定は「D1」になります。その場合は、「D 映像出力設定」（→ 83 ページ）でテレビの設定をやり直してください。

初期設定をやり直す

引越しやテレビの買い換えなどで初期設定をやり直す場合は、次のように行ってください。

1 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「設定リセット」を選んで決定します

166 ページ

2 「リセットする」を選んで決定します

・自動的に電源が切れます。

3 本機の電源を入れます

・初期設定画面が表示されます。

4 初期設定をやり直します

109 ページ

映像端子とテレビのタイプの設定

「初期設定」で設定できる各項目のうち、次の項目については「初期設定」をやり直さなくても再設定することができます。

設定する項目		選ぶ内容
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	D1 端子	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像·音声設定」－「D 映像出力設定」で、接続したテレビの端子名を選びます。
	D2 端子	
	D3 端子	
	D4 端子	
	D5 端子	
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

ファミリンクで楽しむための設定をする

下のながれに沿って、テレビと本機の設定を行ってください。
- 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に切り換えたり、テレビで見ている番組をブルーレイディスク（BD-RE Ver.2.1）に録画するなど、ファミリンクを楽しむための設定をします。
- 設定の説明では、ファミリンク対応のテレビを「テレビ」と表現しています。
- テレビの設定は、LC-46RX1Wを例に説明しています。
- 製品により設定が異なります。テレビの設定について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

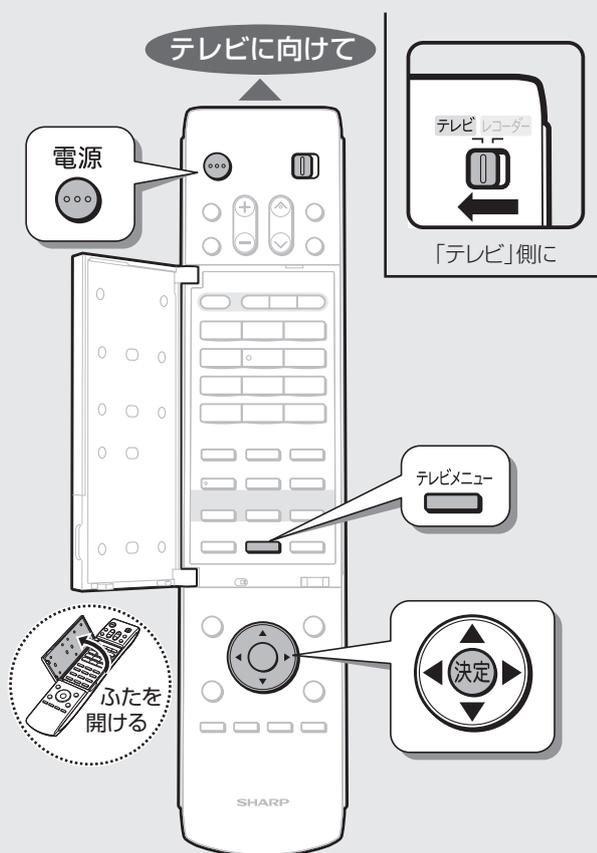
設定完了

■ アクオスオーディオ（サラウンド）と接続しているときは、「ジャンル連動設定」を行います。

■ ファミリンクの操作をより便利に使いこなすために、「一発（クイック）起動」の設定を「する」に設定しておくことをおすすめします。（→ **123** ページ）

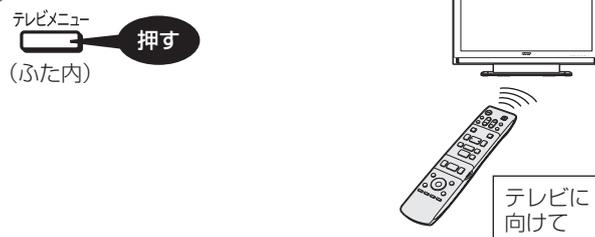
■ 上記の設定を行ってもファミリンクの連動操作（→ **74** ページ）ができないときは、本機のファミリンク設定の「連動設定」が「する」に設定されているか確認します。（→ **116** ページ）

次ページへつづく

テレビの設定を行う

連動起動設定（ファミリンクのための設定）

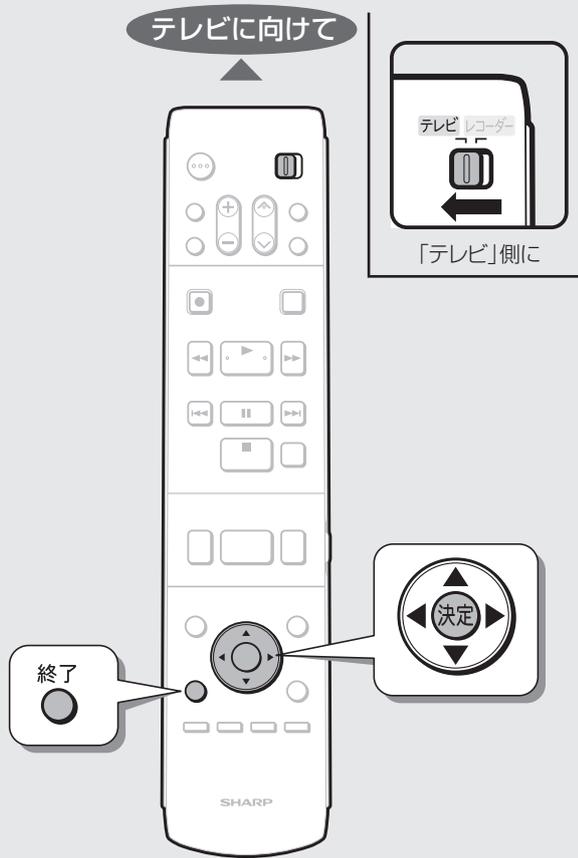
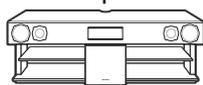
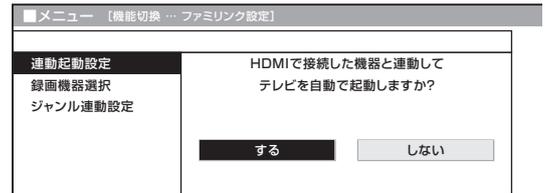
・本機の操作に連動してテレビの入力を自動で切り換えるための設定です。

1 テレビの電源を入れます

2 テレビのメニューを表示します

3 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

・テレビの機種によっては「HDMI コントロール設定」と表示されます。

お知らせ

電源が入らないときは
• 本機のリモコンでテレビの電源が入らないときはリモコンの「メーカー指定」をご確認ください。（→ **120** ページ）
• 本機の電源が入らないときはリモコンの「リモコン番号」をご確認ください。（→ **121** ページ）

4 「連動起動設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

・続いて、ファミリンクで録画をするための設定を行います。

録画機器選択(ファミリンクのための設定)

・録画 ● を押したときに録画するレコーダーを本機に決めるための設定です。

6 「録画機器選択」を選んで決定します

7 本機を接続した入力を選び、決定します

・本機を接続した「入力端子」を選んで決定してください。
・左図のように、テレビと本機の間にアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)を接続した場合は、「入力端子」の後ろに「サブ」と表示されます。

8 設定を終了します

ファミリンク設定の「連動設定」を行う

テレビに向けて

電源

テレビ レコーダー

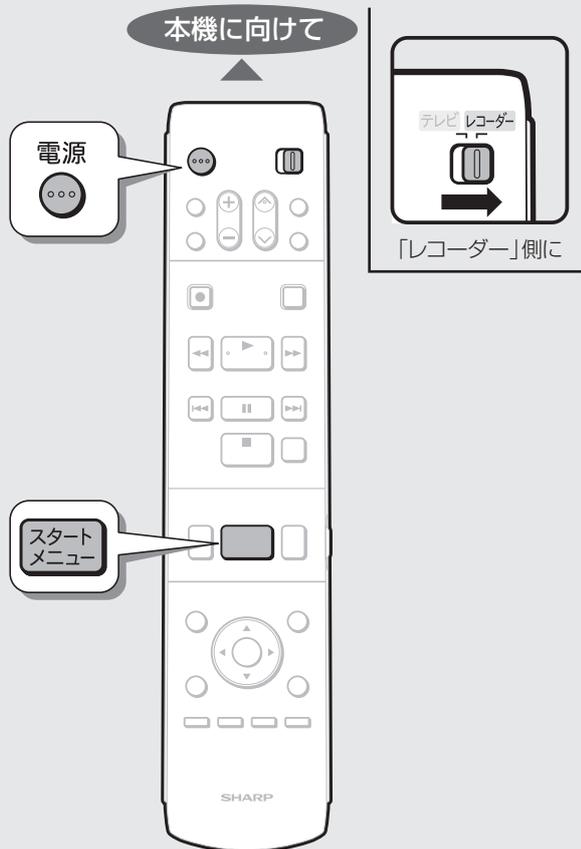
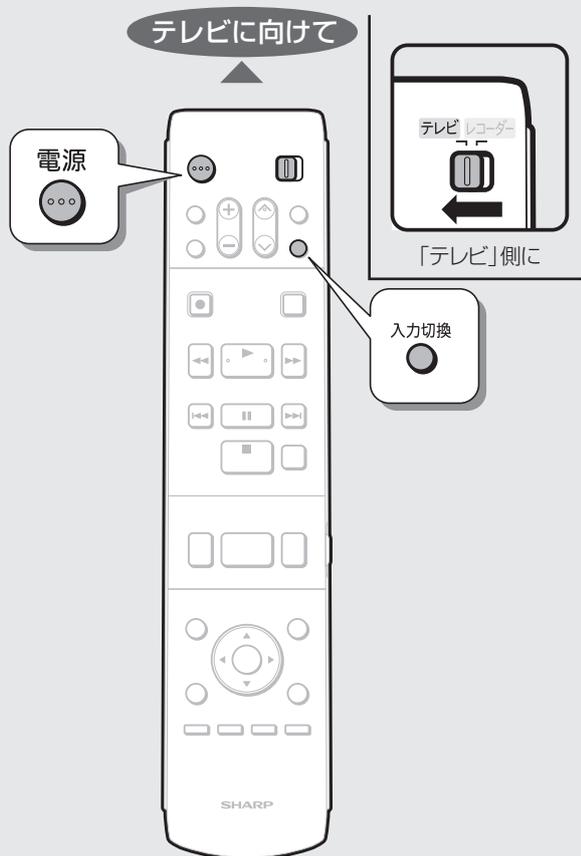
「テレビ」側に

入力切換

本機に向けて

電源

テレビ レコーダー

「レコーダー」側に

スタートメニュー

連動設定をするときは

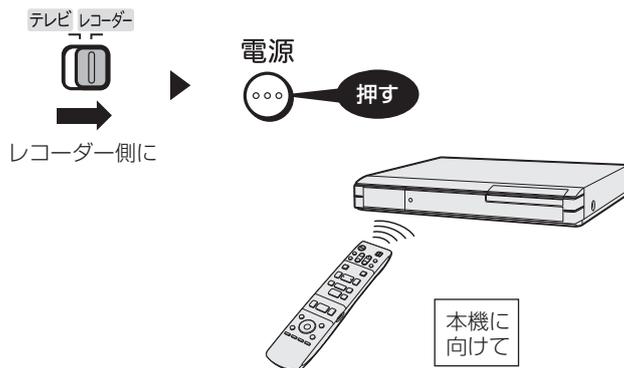
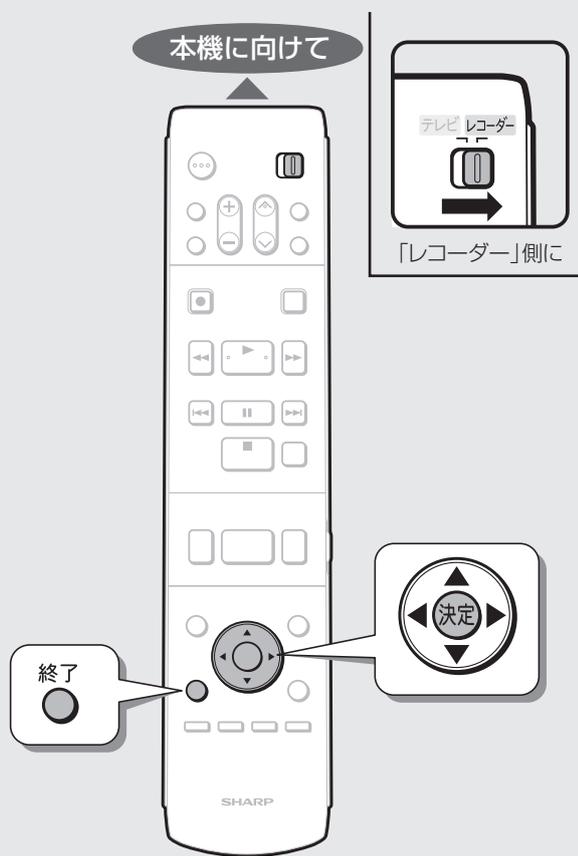
・テレビの操作で本機の電源を入れる、本機の再生操作にあわせてテレビの入力を自動で切り換えるなどの連動操作をするための設定です。

連動設定を「しない」に設定している場合のみ行う操作です。工場出荷時は「する」に設定済みです。

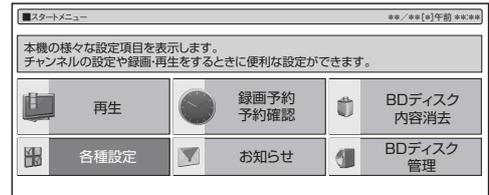
1 テレビの電源を入れます

2 テレビ入力を切り換えます

・繰り返し押して、本機を接続した入力に切り換えます。

3 本機の電源を入れます

4 本機のスタートメニューを表示します

ご注意

本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合
- 「テレビの設定取得」を選んで(決定)を押します。画面の指示に従って設定します。
  その後、改めて「連動設定」を選んで決定してください。

5 「各種設定」を選んで決定します

6 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

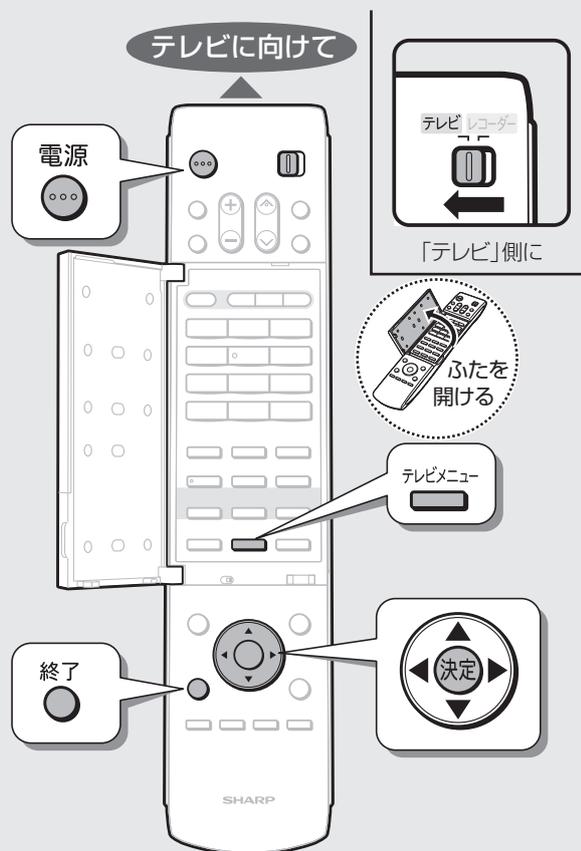
7 「連動設定」を選んで決定します

8 「する」を選んで決定します

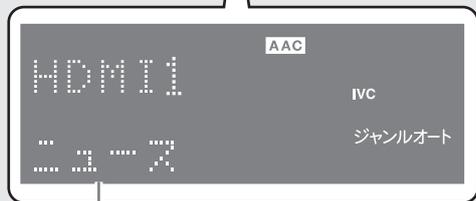
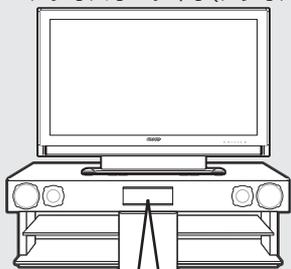
9 設定を終了します

- これで設定は完了です。

アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)を接続しているときは

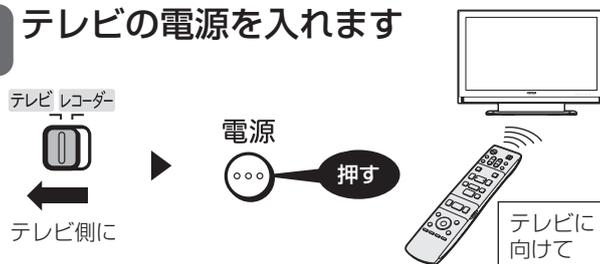
「ジャンル連動設定」を「する」に設定しておくと、アクオスオーディオのサウンドモードを自動で適切なサウンドモードに切り換えます。

▼ファミリンク対応のテレビ「アクオス」とアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)

お知らせ

- デジタル放送視聴中と BD-RE の再生時以外はジャンル情報がありません。この場合は「サウンドモード切換」(別冊「かんたん!!ガイド」**42**ページ)で、手動で切り換えてください。
- BD-RE 再生時にタイトル途中で番組のジャンルが変わった場合は、アクオスオーディオのジャンルが連動して変わらない場合があります。

ジャンル連動設定

- デジタル放送の視聴中やデジタル放送を録画した番組を再生したときに、デジタル放送のジャンル情報「音楽」「映画」「ニュース」などに応じて、アクオスオーディオのサウンドモードを自動で適切なサウンドモードに切り換えるための設定です。

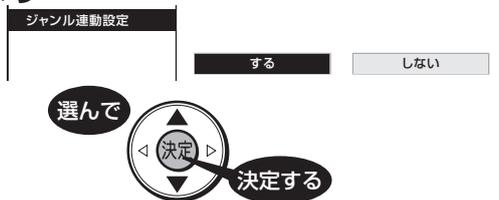
アクオスオーディオ(アクオスサラウンド)を接続している場合に行う設定です。

1 テレビの電源を入れます

2 テレビのメニューを表示します

- テレビに向けて テレビメニュー を押します。(ふた内)

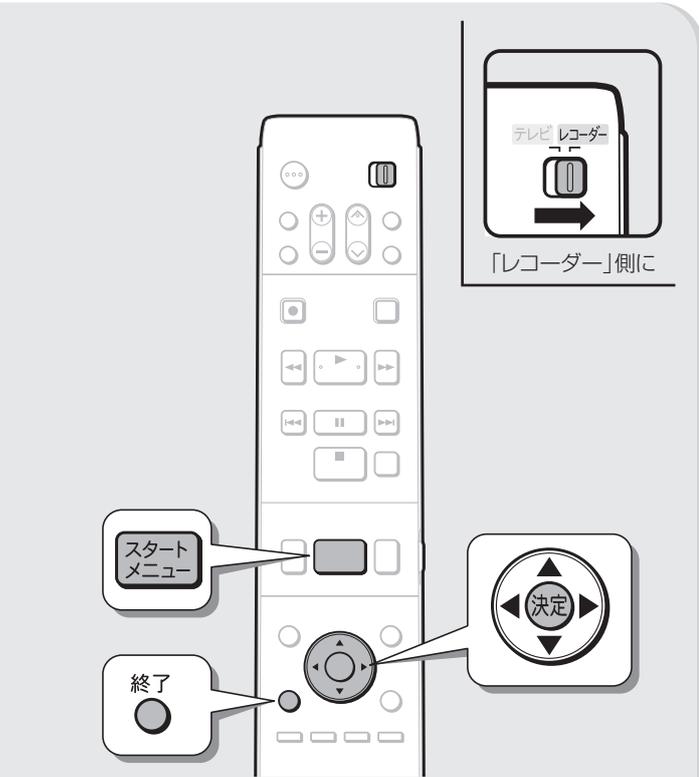
3 「機能切換」-「ファミリンク設定」を選んで決定します

- テレビの機種によっては「HDMI コントロール設定」と表示されます。

4 「ジャンル連動設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 設定を終了します

時計を合わせる

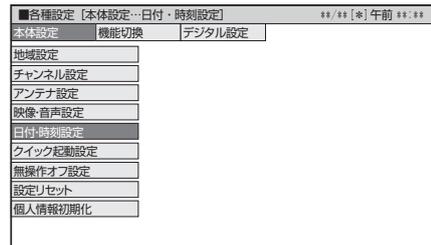
アンテナを接続していないなどデジタル放送を受信できない場合は、時計合わせを行う必要があります。

- デジタル放送を受信している場合は自動的に時計合わせが行われますので、この操作は必要ありません。
- 日付･時刻設定されていない場合は、録画予約やダビングができません。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

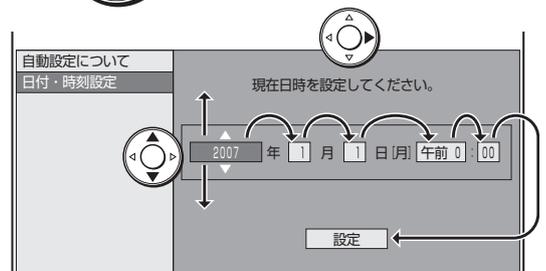
2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

各種設定

4 「本体設定」－「日付・時刻設定」を選んで決定します

- 日付･時刻設定には「自動設定について」と「日付･時刻設定」の２つの項目があります。「日付・時刻設定」を選んで決定してください。

5 「日付・時刻設定」を選んで決定します

6 年→月→日→時→分をそれぞれ選んで設定します

7 「設定」で決定します

8 時計合わせを終了します

確認 基本・準備 視聴 録画・予約 再生 管理 ファミリンク ダビング 各種設定 接続・設定 こんなときは

本機のリモコンでテレビを操作する

テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にすると、お使いのテレビを本機のリモコンで操作することができるようになります。

シャープ製テレビをお使いのときは

- **本機のリモコンは、工場出荷時「シャープC」に設定されています。そのまま操作できるかご確認ください。**
- 操作できないときは「シャープB」→「シャープA」の順番で設定し、テレビが操作できるか確認します。

お知らせ

- 「シャープC」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作ボタンのすべてが操作できます。
- 「シャープA」、および手順 2 で設定した他メーカーのテレビでは、「電源」「音量」「選局」「入力切換」のみが操作できます。
- 「シャープB」に設定したときは、「電源」「音量」「選局」「入力切換」「消音」のみが操作できます。
- 「シャープC」設定時のみ、テレビ入力自動切換機能がご使用になれます（→ **149** ページ）。

ご注意

- テレビの種類や機種によっては、リモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間（約1日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、メーカーの設定は「シャープC」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

1 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします

2 メーカー指定ボタンを押したまま、電源 を5秒以上押します（下表参照）

例： シャープAに変更する場合 ： 2 + 電源

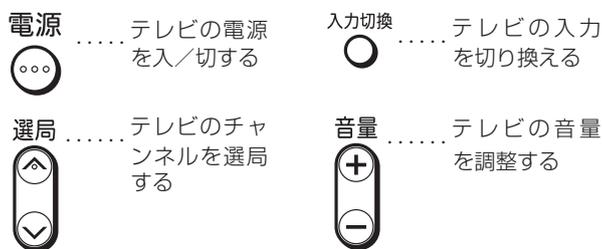
対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン	メーカー	指定ボタン
シャープC※	1 + 電源	日立	9 + 電源
シャープA	2 + 電源	東芝	10/0 + 電源
シャープB	3 + 電源	パイオニア	11 + 電源
松下1	4 + 電源	三洋1	12 + 電源
松下2	5 + 電源	三洋2	地上A + 電源
日本ビクター	6 + 電源	フナイ	地上D + 電源
ソニー	7 + 電源	アイワ	BS + 電源
三菱	8 + 電源		

※工場出荷時

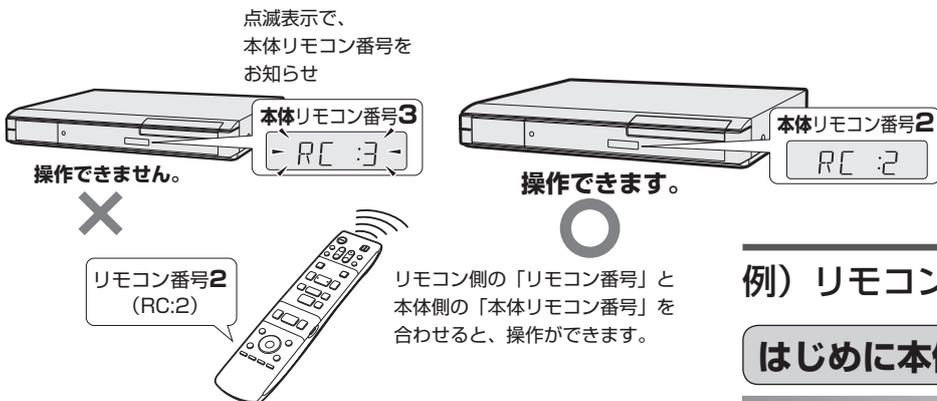
- 同じメーカーで指定番号が2つ以上あるものは、順番に試して、手順 3 でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

- 電源 …… テレビの電源を入／切する
- 入力切換 …… テレビの入力を切り換える
- 選局 …… テレビのチャンネルを選局する
- 音量 …… テレビの音量を調整する

テレビの操作ができないときは

- テレビ/レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にして設定したことを、確認してください。
- テレビ/レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてメーカー指定を「シャープ（C、B、A）」に設定すると、レコーダーを操作するためのリモコン番号が設定され、本機の操作ができなくなります。本機の操作ができないときは、リモコン番号を設定し直してください。（→ **121** ページ）

リモコン番号を設定する

リモコンで本機を操作する信号には、リモコン番号 1、2、3 の 3 種類があります。
シャープ製 DVD 機器（工場出荷時：リモコン番号 3）をお持ちで、リモコンを使うとシャープ製 DVD 機器と本機が同時に動作してしまう場合は、別のリモコン番号に設定することで、本機のみ動作させるようにできます。

- リモコン番号はリモコン側と本体側を合わせて設定しておきます。
- 設定は、リモコン側の設定と本体側の設定を行います。

例）リモコン番号を「2」に変更する場合

はじめに本体の準備をします

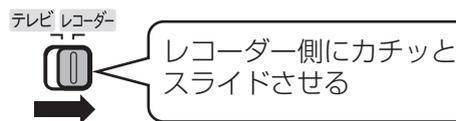
1 「一発（クイック）起動設定」を「しない」に設定します（→ **123** ページ）

2 「地上デジタル番組表取得設定」を「しない」に設定します（→ **129** ページ）

3 「電源オフ時計表示設定」を「する」に設定します（→ **86** ページ）

4 本機の電源ボタンで電源を「切」にします

次にリモコン側の設定をします

5 テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にします

6 リモコン番号を設定します

⇨押した番号のリモコン（RC）番号に設定

- リモコン番号を「1」にするときは 1 を押したまま 電源 を 5 秒以上押しつづけます。
- リモコン番号を「3」にするときは 3 を押したまま 電源 を 5 秒以上押しつづけます。

- 必ず番号ボタン 1 2 3 のいずれかを先に押したまま 電源 を 5 秒以上押しつづけてください。

- 長時間（約 1 日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「3」に戻ります。

次ページへつづく

つづいて本体側の設定をします

7 リモコンを本体に向けてリモコンふた内の 3桁入力 を押しつづけます

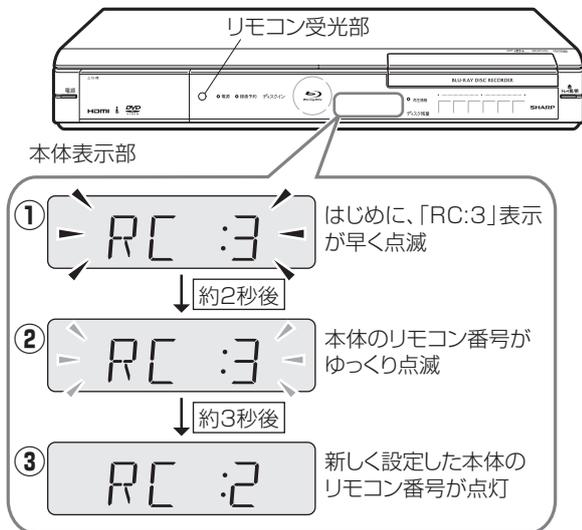
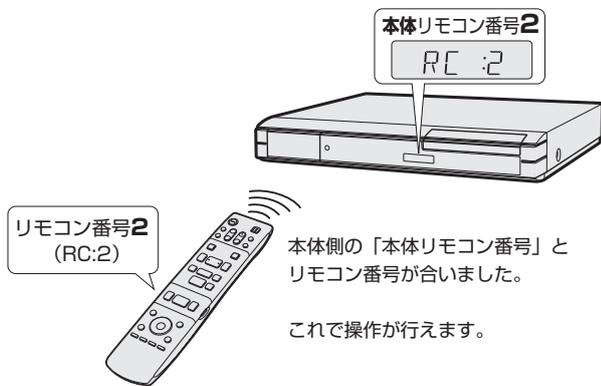
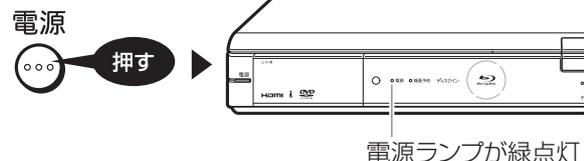
（ふた内）

・本体表示部が次のように変わります。リモコン番号と同じ番号が本体側に設定されます。

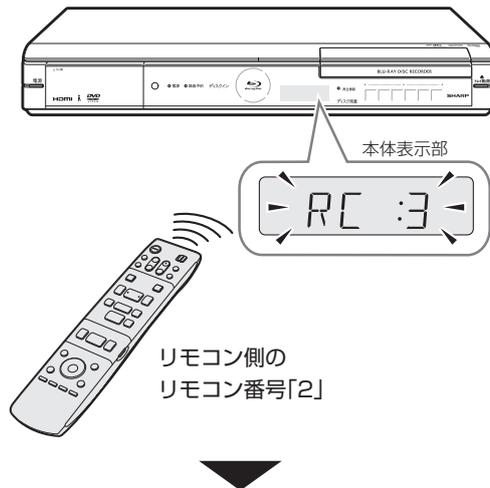
例：本体リモコン番号が 3 から 2 に変わったとき

・設定されたら 3桁入力 を離してください。

本体側の「本体リモコン番号」とリモコン番号が合いました。

これで操作が行えます。

8 電源 を押し、本体の電源が入るかどうか確認します

本体側とリモコン側でリモコン番号が違っているときは

・本体側に設定されているリモコン番号が本体表示部に点滅表示されます。

例）リモコン側のリモコン番号を「2」に設定し、本体側のリモコン番号が「3」のとき

「つづいて本体側の設定をします」の手順 7 を再度行ってください。

ご注意

「つづいて本体側の設定をします」の手順 7 で本体表示部のリモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。

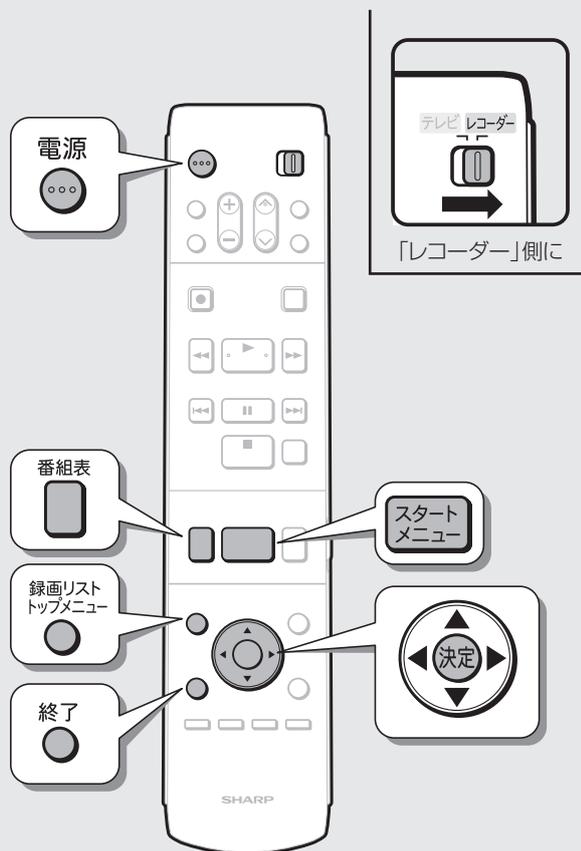
・テレビ／レコーダー切換スイッチが「レコーダー」側になっていますか？
・乾電池が正しくセットされていますか？
・乾電池が古く寿命がきていませんか？新しい乾電池と交換してください。
・本体のリモコン受光部前に障害物がありませんか？
・他の機種のリモコンを使っていませんか？

お知らせ

・番組表データ取得中など、本機の電源「切」時にも本体内部の電源が入る場合があります。その間は本体リモコン番号の設定はできませんので、ご注意ください。設定は、地上デジタル放送のデータ取得中は電源が切れるまで（約 40 分）待つか、「番組表取得設定」（→ **129** ページ）を「しない」にしてから行ってください。
・「設定リセット」（→ **84** ページ）または「個人情報初期化」（→ **84** ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：3」に戻ります。

上記のリモコン番号の設定が終わったら、地上デジタル放送の「番組表取得設定」（→ **129** ページ）を「する」に戻します。

一発（クイック）起動を設定する

待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

・ACコンセントを抜くときは、一発（クイック）起動を「しない」に設定してください。
・一発（クイック）起動の待機中は本体内部の回路が働いているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
・ダウンロードサービス時は開始5分前になると一時的に一発（クイック）起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。

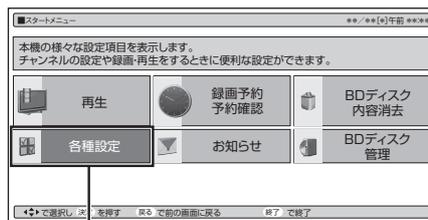
お知らせ

・工場出荷時は一発（クイック）起動は「しない」に設定されています。
・録画や再生操作は、一発（クイック）起動はできません。電源を入れてから操作してください。
・接続するモニターや端子によっては一発（クイック）起動に多少時間がかかる場合があります。

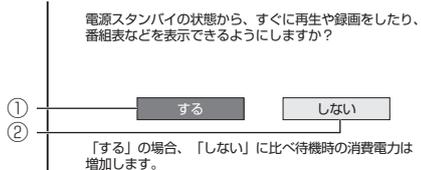
1 テレビと本機の準備をします

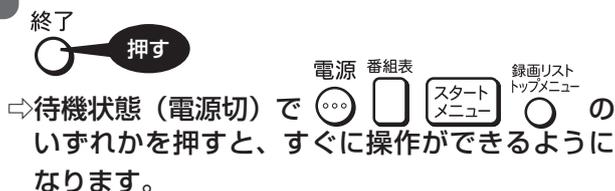
25 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

各種設定

4 「本体設定」−「クイック起動設定」を選びます

5 クイック起動を設定します

① 電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。
② 一発（クイック）起動しません。

6 設定を終了します

⇨待機状態（電源切）で 電源 番組表 スタートメニュー 録画リスト トップメニュー のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

デジタル放送の視聴設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

デジタル放送設定のながれ

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続と B-CAS カードの準備はお済みですか？

- ● デジタル放送を視聴するときの接続をする （→ **92** ～ **94** ページ）
- ● B-CAS カードを本機にセットする （→ **106** ページ）
  - ・地上･BS･110 度 CS デジタル放送は､B-CAS カードをセットしないとご覧になれません。
  - ・同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。（登録は無料です。）

1. 地域と郵便番号を設定する （→ 125 ページ）

- ・デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- ・**この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。**

2. BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむとき BS・110 度 CS 共用アンテナの設定をする （→ 126 ページ）

- ・BS・CS アンテナ電源の設定をします。
- ・受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. 地上デジタル放送を楽しむとき 地上デジタル放送のチャンネル設定をして、電子番組表を受信する

- ・地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。 （→ **128** ページ）
- ・電子番組表データを受信します。 （→ **129** ページ）
- ・地上デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。 （→ **131** ～ **134** ページ）

4. BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむとき BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定をする （→ 134 ページ）

5. リモコンに登録されているチャンネルを確認する （→ 136 ページ）

- ・リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。
  チャンネルの追加登録もできます。

有料放送を受信したり、双方向番組に参加したい場合は

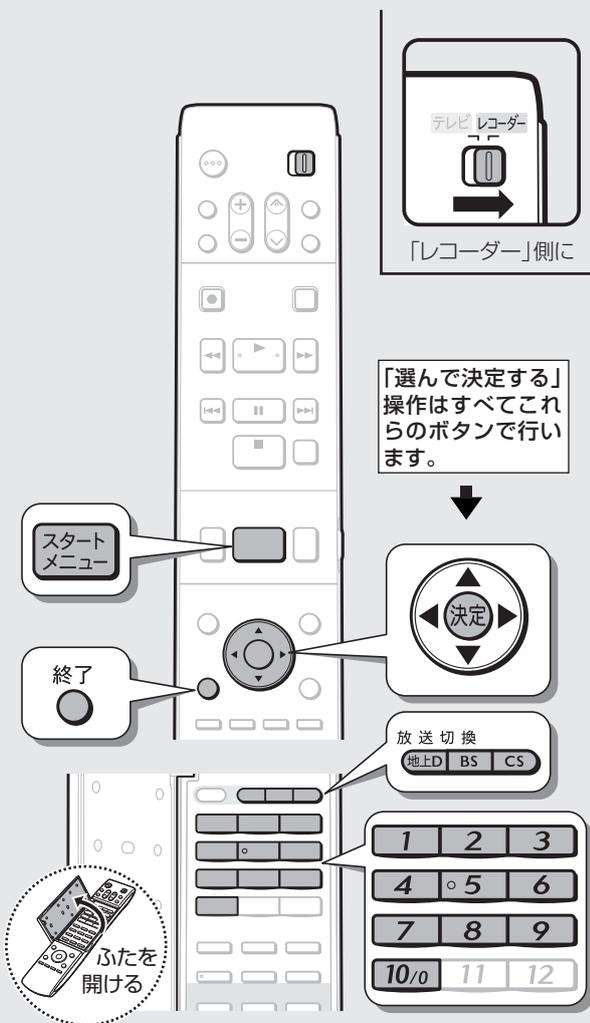
- ・デジタル放送の双方向番組に参加したり、有料放送の受信情報を管理する場合、電話回線を使います。
- ・デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。
  これらは、双方向通信を利用した番組です。

電話回線の設定をする

- ・電話回線に接続します。 （→ **138** ページ）
- ・電話回線の設定をします。 （→ **139** ページ）
- ・電話会社の設定をします。 （→ **140** ページ）
- ・プロバイダの設定をします。 （→ **141** ページ）

お知らせ

・通常のデジタル放送は、電話回線接続を行わなくても楽しめます。

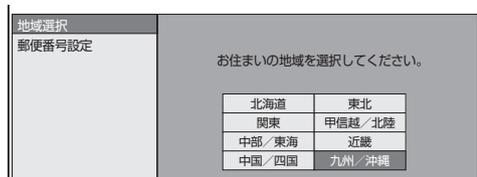
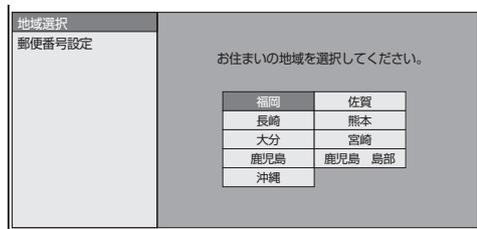
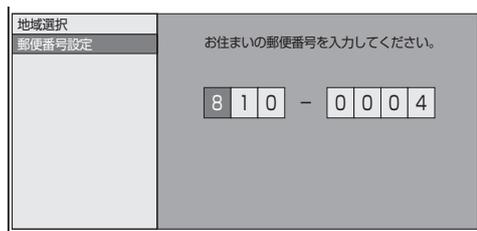
地域と郵便番号設定

・緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送内容が異なることがありますので、必ず地域設定を行ってください。

1 テレビと本機の準備をします 25ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81ページ

3 「本体設定」－「地域設定」を選んで決定します

4 「地域選択」を選んで決定します

5 本機を使う地域を選んで決定します

6 本機を使う都道府県を選んで決定します

7 「郵便番号設定」を選んで決定します

8 数字ボタンで郵便番号を入力して決定します

・入力を間違えたときは修正したい欄を選んで入力し直してください。

9 終了 を押して設定を終了します

BS・110 度 CS 共用アンテナ設定

お知らせ

- BS・110 度 CS 共用アンテナをはじめて設定した場合や引越しなどでアンテナを移動した場合は以下の設定が必要になります。
- 「電源・受信強度表示」や「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。

お知らせ

- 「受信状態」の「××」は、以下の状態を示しています。
  A：受信状態が良好
  B：アンテナレベルが 60 以下
  C：アンテナ信号が不足
  D：アンテナ信号が強すぎる
  E：アンテナ信号が不良
  F：受信できない

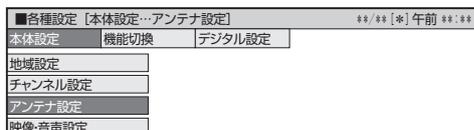
1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 「BS デジタル放送」を選局します

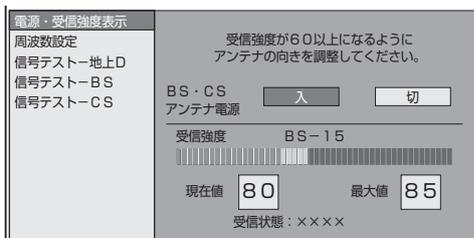
BS 押す

- 110 度 CS デジタル放送の場合は CS を押して「CS デジタル放送」に切り換えてください。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても設定は行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

4 「本体設定」－「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「電源・受信強度表示」を選んで決定します

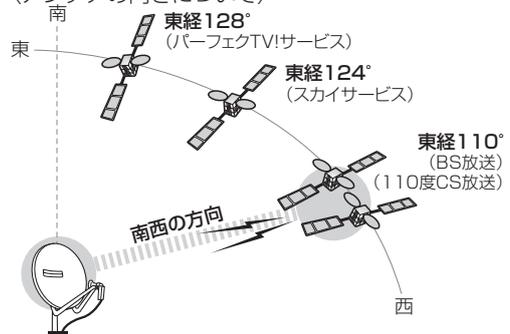
- 初期設定の BS・110 度 CS 放送用アンテナ電源の設定 (→ **109** ページ）でアンテナ電源を設定済みの場合は、手順 **7** に進んでください。

6 「入」または「切」を選びます

「入」
- 個人でアンテナを設置･接続している場合に選びます。

「切」
- 共聴アンテナに接続している場合など、電源を供給しないときに選びます。（工場出荷時の設定）

7 受信強度が最大値になるようにアンテナの向きを調整します

- 共聴タイプのアンテナの場合はこの操作は必要ありません。
- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

〈アンテナの向きについて〉

受信強度が60以上になるように、
アンテナの方向と角度を調整してください。

8 終了 を押して設定を終了します

■アンテナの信号テストをするには

BS・110 度 CS 共用アンテナ、地上デジタル放送用アンテナ（UHF）の信号テストをします。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

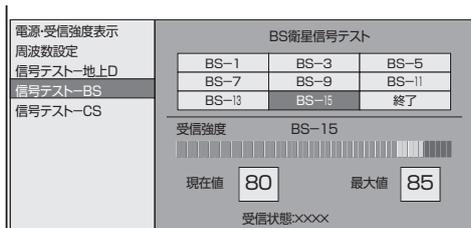
2 「BS デジタル放送」を選局します

BS 押す

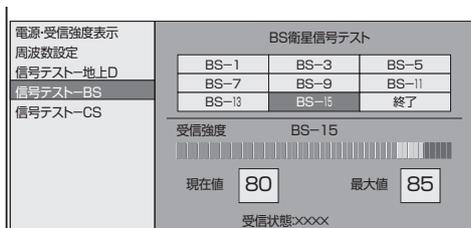
- 110 度 CS デジタル放送の場合は CS を押して「CS デジタル放送」に切り換えてください。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されてもテストは行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

4 「本体設定」－「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「信号テストーBS」を選んで決定します

- 110 度 CS デジタル放送の場合は「信号テストーCS」を選んで決定してください。
- 地上デジタル放送の場合は「信号テストー地上 D」を選んで決定してください。

6 確認したいチャンネルを選んで決定します

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS
BS衛星信号テスト
BS−1 BS−3 BS−5
BS−7 BS−9 BS−11
BS−13 BS−15 終了
受信強度 BS−15
現在値 80 最大値 85
受信状態:XXXX

- 受信強度が 60 以上であることを確認してください。
- それよりも低い場合は、正常に受信できないことがあります。

7 「終了」を選んで決定します

8 終了 ○ を押して設定を終了します

地上デジタル放送のチャンネル自動設定

地上デジタル放送の受信には UHF アンテナが必要です。

1 UHF アンテナを接続します 92 ～ 94 ページ

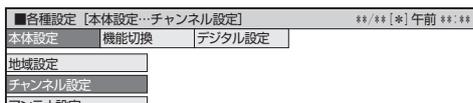
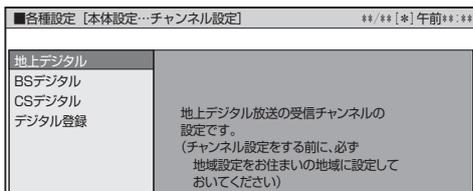
2 テレビと本機の準備をします 25 ページ

3 リモコンの地上Dを押し「地上デジタル放送」を選局します

4 地域と郵便番号の設定をします 125 ページ

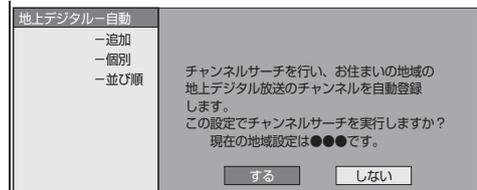
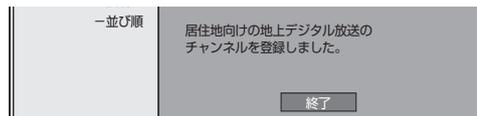
5 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

6 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

■各種設定［本体設定…チャンネル設定］ **/**［*］午前 **:**
本体設定 機能切換 デジタル設定
地域設定
チャンネル設定

7 「地上デジタル」を選んで決定します

8 「地上デジタルー自動」を選んで決定します

9 「する」を選んで決定します

自動設定開始

３３ｃｈを確認しています。
中止

・自動設定が終了すると以下の画面になります。

10 「終了」を選んで決定します

11 終了を押して設定を終了します

■地上デジタル放送のケーブルテレビ（CATV）放送対応について

本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATV パススルー方式」です。（「トランスモジュレーション方式」には対応していません。）

CATV パススルー方式とは

・ケーブルテレビ配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは次の周波数帯です。
・UHF 帯
・VHF 帯
・ミッドバンド（MID：C13 ～ C22）帯
・スーパーハイバンド（SHB：C23 ～ C63）帯

地上デジタル放送の電子番組表データを受信する

お知らせ

- 「番組表取得設定」を「する」に設定し、設定した時刻に本機の電源が切のとき地上デジタル放送の電子番組表データを取得します。（約 40 分かかります。）
- 地上デジタル放送の各チャンネルを選局している間も、選んでいる放送局からそのチャンネルの番組表データが送られてきます。
- 電波状態（受信状態）によっては、電子番組表のデータを取得できない場合があります。

1 テレビと本機の準備をします

25 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます

81 ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

5 「番組表取得設定」を選んで決定します

6 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- 設定した時刻に電源が「切」であれば電子番組表データを取得します。

「しない」
- 視聴している放送局の電子番組表データだけを取得します。

7 手順 6 で「する」にした場合、時刻を設定します

8 「設定」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

10 本機の電源を切ります

⇨「する」に設定した場合、指定した時刻にデータを自動受信します。

- 受信中は本機から動作音がして本体表示部に以下の表示が出ます。

工場出荷時の設定ではバックライトを消灯しています。
- 電源オフ時計表示設定が「する」に設定されているときはバックライトが点灯します。

⇨表示が消えるとデータ取得終了です。

- 電子番組表データを取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。（約 40 分かかります。）

- 指定した時刻に電源が入っているとき（または番組表取得中に電源を入れたとき）は、番組表取得ができません。この場合、次に電源を切った後、自動的に番組表を取得します。

電子番組表の表示方式を切り換える

電子番組表の表示方法を、次の２つの方式から切り換えることができます。

モード１：チャンネルが縦方向に並びます。（時間は横方向に送ります）

モード２：新聞のテレビ欄のようにチャンネルが横に並びます。

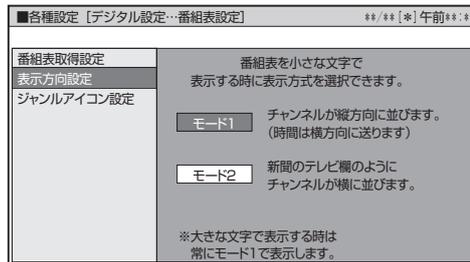
電子番組表について詳しくは、**30** ページをご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

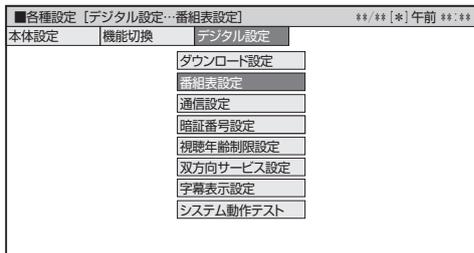
2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

5 「表示方向設定」を選んで決定します

6 「モード 1」または「モード 2」を選んで決定します

ご注意

- 「モード 1」「モード 2」は、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をし、かつ「表示文字サイズ設定」（**85** ページ）を「小さな文字」に設定しているとき設定できます。
  - D 映像コードで接続し、「D 映像出力設定」を「D3 ／ D4 ／ D5」に設定しているとき
  - HDMI コードで接続し、1125i または 1125p 出力されているとき
- 「表示文字サイズ設定」を「大きな文字」に設定しているときは、「モード 2」を選択しても「モード 1」の「大きな文字（3 時間表示）」の番組表になります。

チャンネルの個別設定

登録された地上デジタル放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうか、あるいは枝番（チャンネルの4桁目）がある場合の設定を行います。

地上デジタル放送チャンネル（工場出荷時）

チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK総合	011
2	NHK教育	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

※2007年9月現在

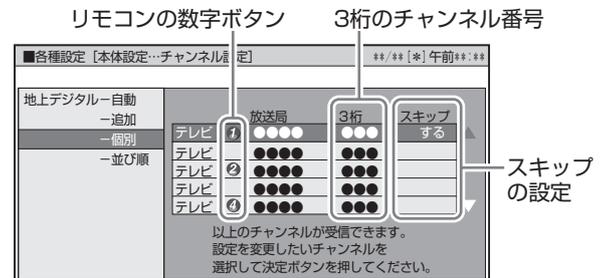
1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

4「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5「地上デジタル」を選んで決定します

6「地上デジタルー個別」を選んで決定します

- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

7 変更したいチャンネルを選んで決定します

■登録先の数字ボタン変更

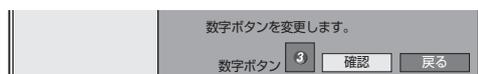
ここで選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

8「数字ボタン」を選んで決定します

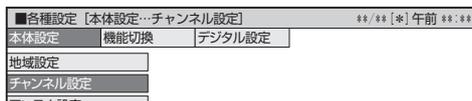
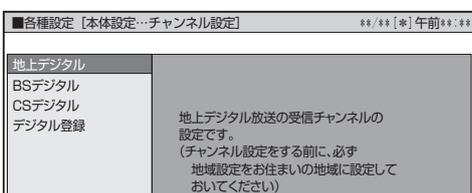
- 「スキップ」を選んで決定した場合→「■視聴しないチャンネルのスキップ設定」（→ **132** ページ）**8**へ
- 「4 桁目」を選んで決定した場合→「■ 4 桁目の変更」（→ **132** ページ）**8**へ

9 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 12 ）で入力して決定します

- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

10「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

次ページへつづく

■視聴しないチャンネルのスキップ設定

131 ページの手順 **7** で選んだチャンネルを、 での選局時にスキップさせることができます。

8 「スキップ」を選んで決定します

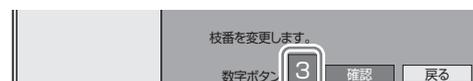
9 「する」を選んで決定します

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

■ 4 桁目の変更

3 桁チャンネル番号が重複している場合は 4 桁目（枝番）を変えて区別ができます。

8 「4 桁目」を選んで決定します

9 変更する枝番の数字をリモコンの数字ボタン（1 ～ 12）で入力して決定します

4桁目の枝番

- 4 桁目（枝番）が重複した場合は「4 桁目（枝番）を置き換えますか」画面が表示されます。置き換える枝番を入力して決定してください。
- はじめから 4 桁目（枝番）が「0」になっている場合は変更できません。

10 「確認」を選んで決定します

⇨チャンネルの枝番が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号と 4 桁目（枝番）について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（リモコンの 1 ～ 12）のチャンネル番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。
  ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう 1 桁を入力して選局することになります。その 1 桁の番号を「4 桁目（枝番）」といいます。

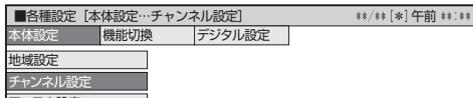
チャンネルの追加

自動設定で登録した後に新たに開局した放送局を受信したい場合など、チャンネルを追加する場合の設定です。

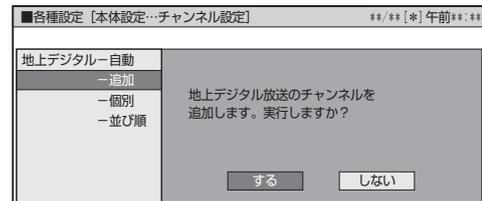
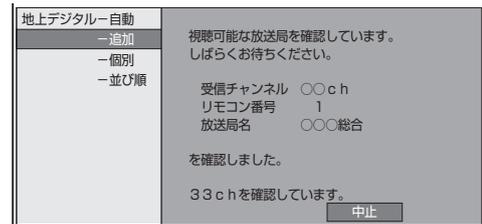
1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタルー追加」を選んで決定します

7 「する」を選んで決定します

⇨追加設定が始まります。

• 追加設定が終わると以下の画面が表示されます。

8 「終了」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

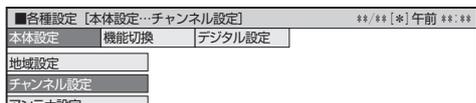
確認
基本・準備
視聴
録画・予約
再生
管理
ファミリンク
ダビング
各種設定
接続・設定
こんなときは

リモコン番号とチャンネルの並び順変更

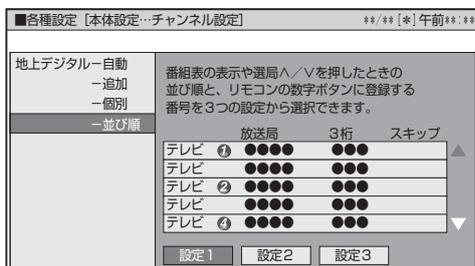
1 テレビと本機の準備をします ☞ 25 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 81 ページ

4 「本体設定」−「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタルー並び順」を選んで決定します

7 「設定 1」「 設定 2」「 設定 3」のいずれかを選んで決定します

「設定 1」
- リモコン番号　：放送局推奨の番号。
- 並び順　　　　：放送局推奨の並び順。

「設定 2」
- リモコン番号　：地上アナログ放送のテレビ欄と同等。
- 並び順　　　　：地上アナログ放送のテレビ欄と同等。

「設定 3」
- リモコン番号　：放送局推奨の番号。
- 並び順　　　　：リモコン番号の若い順。

⇨リモコン番号と並び順が変わります。

8 終了 ○ を押して設定を終了します

BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定

登録された放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうかの設定を行います。

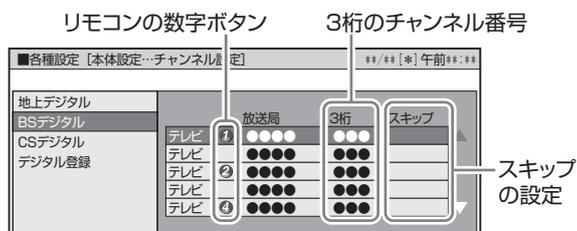
- 工場出荷時、110 度 CS デジタル放送、ラジオ放送、データ放送はリモコンの数字ボタンには登録されていません。

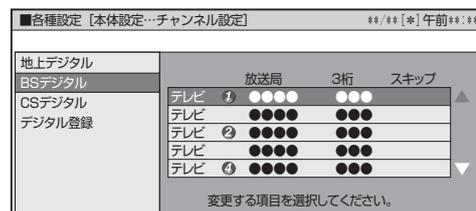
1 テレビと本機の準備をします ☞ 25 ページ

2 「BS デジタル放送」または「110 度 CS デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 81 ページ

4 「本体設定」−「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んで決定します

- 確認だけの場合は 終了 ○ を押して設定を終わってください。

6 変更したいチャンネルを選んで決定します

■登録先の数字ボタン変更

134 ページ「BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定」の手順 6 で選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

7 「数字ボタン」を選んで決定します

8 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（1 ～ 12）で入力して決定します

- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

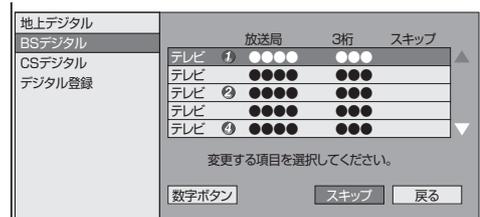
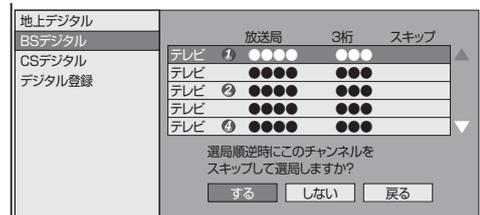
9 「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

■視聴しないチャンネルのスキップ設定

134 ページ「BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定」の手順 6 で選んだチャンネルを、選局 での選局時にスキップさせることができます。

7 「スキップ」を選んで決定します

8 「する」を選んで決定します

⇨放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

次ページへつづく

リモコンに登録されている チャンネルの確認・登録

リモコンの数字ボタンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。また、追加登録することもできます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 25 ページ

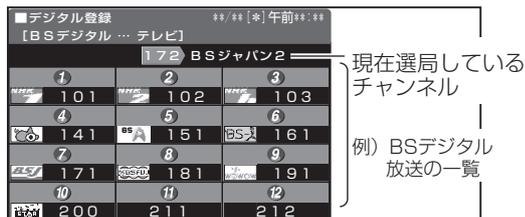
2 確認したい放送を選局します

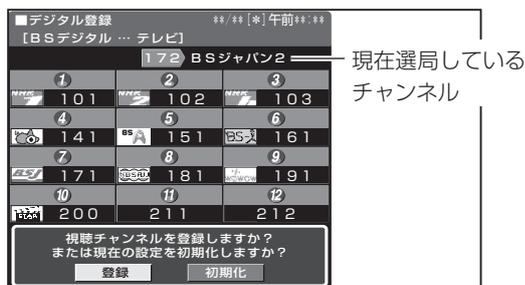
• 登録するときは、登録したいチャンネルを選局します。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 81 ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

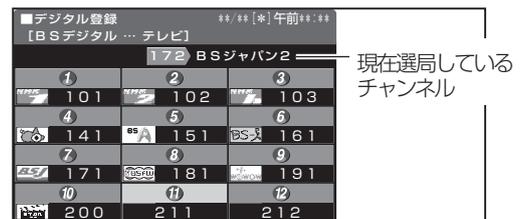
5 「デジタル登録」を選んで決定します

⇨登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

• テレビ/ラジオ/データ を押すと、放送の種類が切り換わります。
• 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

6 登録する場合は「登録」を選んで決定します

•「初期化」を選んで決定すると、工場出荷時の設定に戻ります。

7 登録したいチャンネルボタンを選んで決定します

• リモコンの数字ボタン（1～12）を押すことによっても選択・決定できます。

［例］「BS ジャパン 2」（172 チャンネル）を選局している場合で、そのチャンネルを 11 に登録するときはチャンネルボタン 11 を押します。

8 「する」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

デジタル放送の双方向通信の設定をする

双方向番組に参加したり有料放送の受信情報管理のため電話回線を使います。

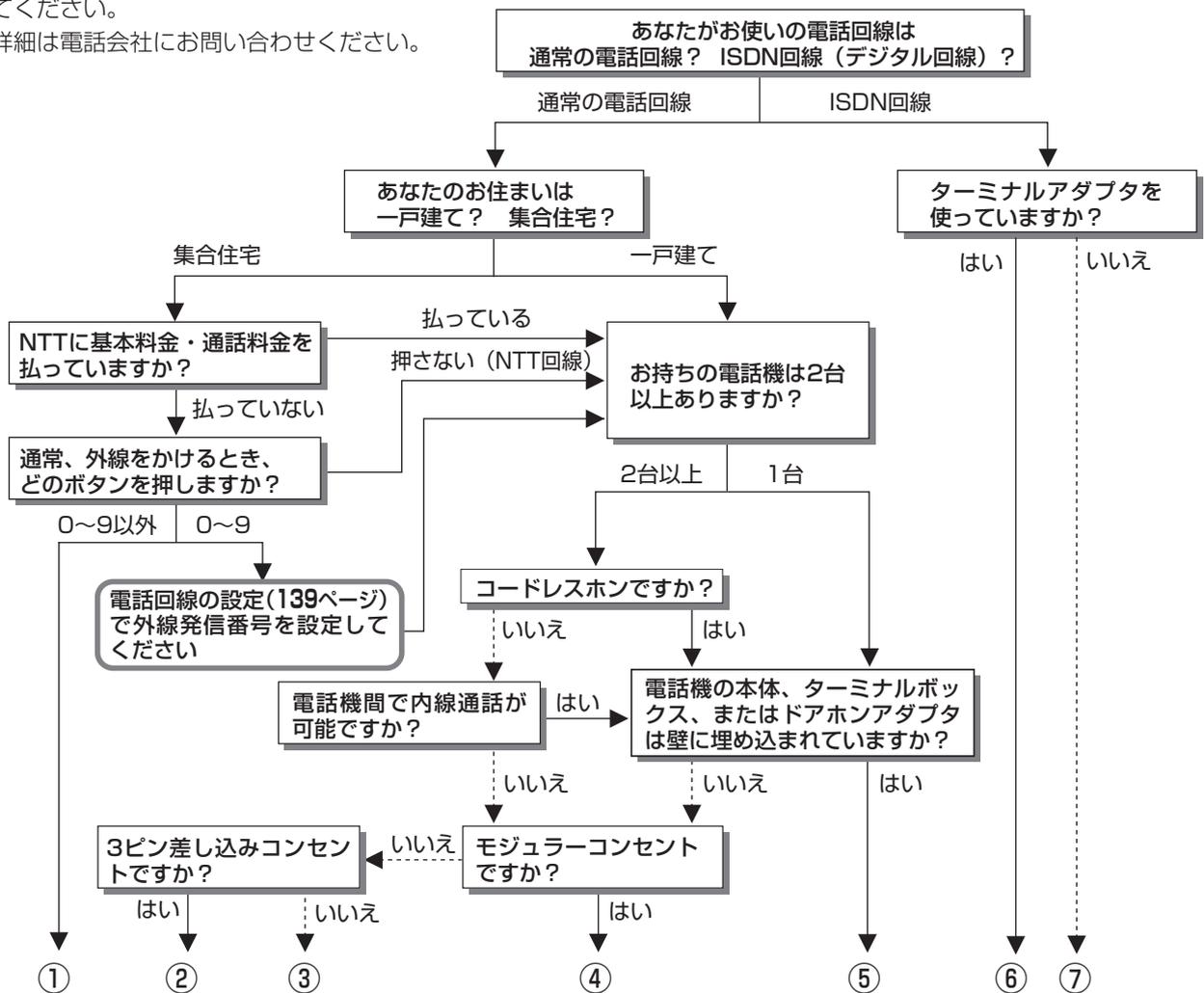
ご注意

- デジタル放送の双方向番組に参加する場合は、必ず電話回線に本機を接続してください。
- IP 電話をご利用の場合は、電話回線がご使用になれません。

お知らせ

- 通常のデジタル放送は、電話線を接続しなくても視聴できます。
- WOWOW 放送などの有料放送は、受信契約も必要です。
- デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、双方向通信番組などをお楽しみになりたい機器（テレビまたは本機のいずれか片方）に電話線を接続してください。
  （通常はテレビに接続してください。その場合、本機への接続は不要です。）

接続形態確認チャート

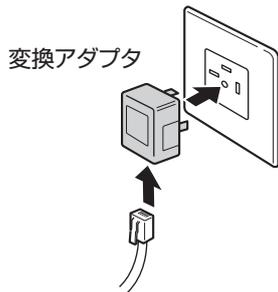
- 下の確認チャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
  また、詳細は電話会社にお問い合わせください。

①マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。
②市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④電話線（市販品）とモジュラー分配器（市販品）で接続可能です。（→ **138** ページ）
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプタ（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
　詳しくは、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
※③、⑤についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

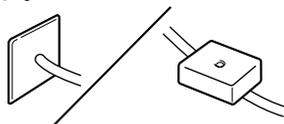
次ページへつづく

つぎの電話回線では注意が必要です。

■電話回線がモジュラージャックでない場合は

3ピンプラグの場合

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。

直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。
詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

■構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はNTT営業窓口にお問い合わせください。

■直接、デジタル回線に接続することはできません

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプタ（TA）等の端末器を介して接続してください。

お知らせ

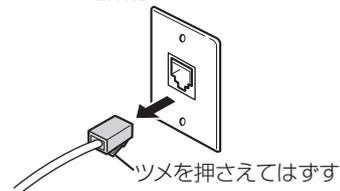
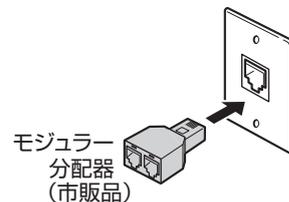
・視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。
視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ…）が聞こえますので、その間は電話をしないでください。
・本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

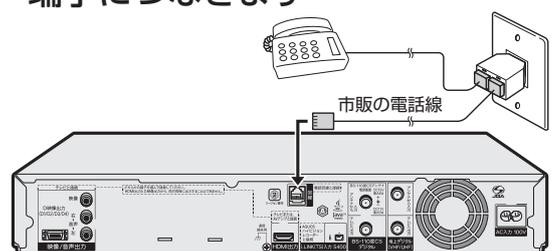
接続のしかた

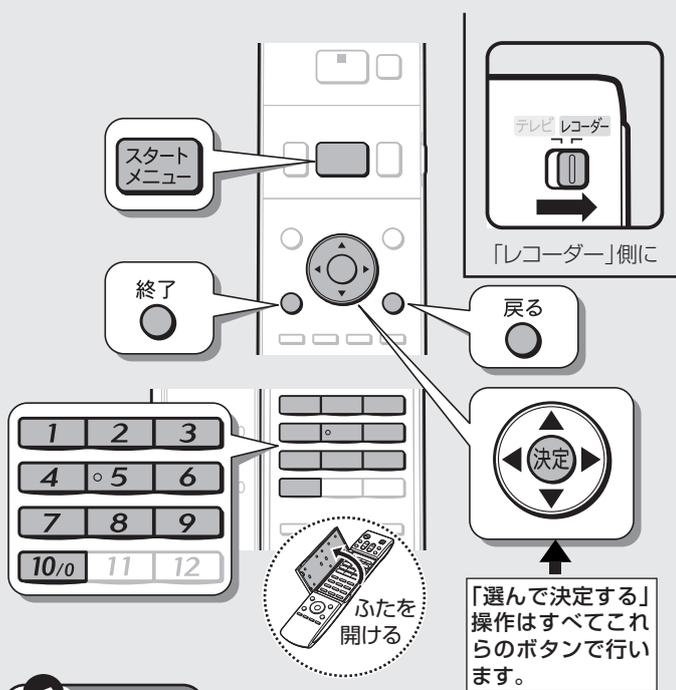
重要

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

1 本機と電話機の電源を切ります

2 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずします

3 モジュラー分配器（市販品）を電話線コンセントに差し込みます

4 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込みます

5 電話線（市販品）をモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子につなぎます

▲本機後面

電話回線設定

お知らせ

- はじめて受信登録するとき、引越しなどで本機を使う地域が変わった場合に設定します。
- 電話回線のテスト実行には、回線接続料 (通話料）がかかります。
- IP 電話をご利用の場合は、電話回線を接続しても設定ができません。
- 「双方向サービス設定」（→ **87** ページ）で電話回線への接続を禁止することもできます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 25 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 81 ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

4 「電話回線設定・自動」を選んで決定します

5 「テスト実行」で決定します

⇨自動設定が始まります。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。「テスト終了」で決定してください。
- 自動設定できなかった場合は、外線発信番号の設定画面が表示されます。以下の操作を続けてください。

■外線発信番号設定

1 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

「なし」
- 外線交換機を使用しない場合（主な一般家庭）

「あり」
- 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください。

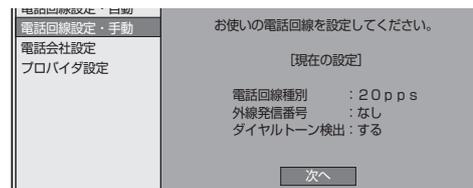
2 「テスト実行」で決定します

⇨自動設定が始まります。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。
- 設定できずに元の画面に戻った場合は、戻る を押して以下の「電話回線の手動設定」を行ってください。

電話回線の手動設定

1 「電話回線設定・手動」を選んで決定します

2 現在の設定を確認し「次へ」で決定します

3 ご契約の電話回線種別を選んで決定します

- 契約している電話回線種別 (ダイヤル方式）がわからない場合は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

次ページへつづく ➡

4 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

・「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください。

5 ダイヤルトーン検出を「する」または「しない」を選んで決定します

する　しない

・NTT 回線に直結している場合は「する」を選んでください。

・交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。

6 終了 を押して設定を終了します

利用する電話会社設定

電話会社の選択や発信者番号通知に関する設定です。

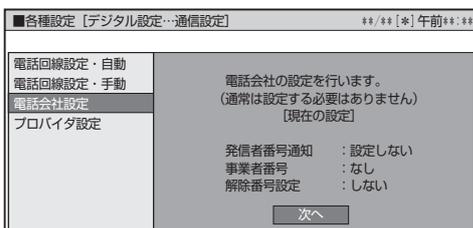
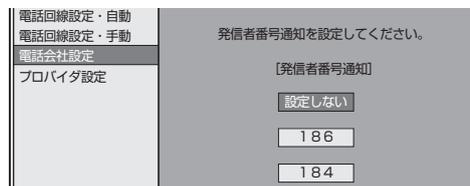
• 通常は設定する必要はありません。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

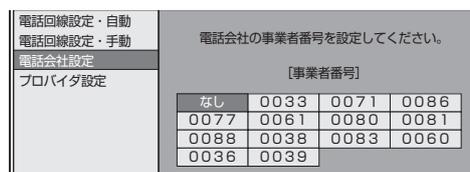
3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

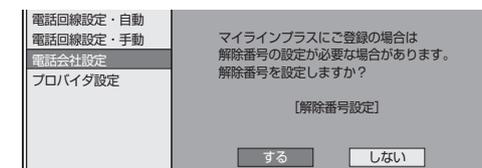
4 「電話会社設定」を選んで決定します

5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 発信者番号通知設定を選んで決定します

「設定しない」
•「186」「184」のどちらにも設定しません。

「186」
• 相手先に番号を通知します。

「184」
• 相手先に番号を通知しません。

7 利用している電話会社の「事業者番号」を選んで決定します

• 事業者番号がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

8 マイラインプラスの解除番号設定を「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
• マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」
• マイラインプラスを解除しないで発信します。

9 終了 を押して設定を終了します

プロバイダ設定

パソコンなどで契約しているプロバイダを使って、インターネット経由でデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。

ご注意

- デジタル放送の双方向サービスを行っているかどうかは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダと契約していない場合は、双方向サービスが楽しめません。

お知らせ

この設定では、プロバイダから提供される情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。

- アクセスポイントの電話番号
- ユーザー名
- パスワード
- DNS の IP アドレス
- ヘッダ圧縮機能に対応しているか
- ソフトウェア圧縮に対応しているか

■用語解説

IP アドレス：TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に振り割られた識別番号です。

ネットマスク：TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別するしくみです。

ゲートウェイ：ネットワーク上で、異なるネットワークへの通信を可能にする機器の識別番号です。

DNS：DNS とは、Domain Name System の略です。文字列（名前）で表されるインターネット上の場所の（Domain Name）を数字で表される実アドレス（IP アドレス）に変換する仕組みです。
3 桁の数字 4 組で表された番号です。
「プライマリ」：1 番目の番号
「セカンダリ」：2 番目の番号

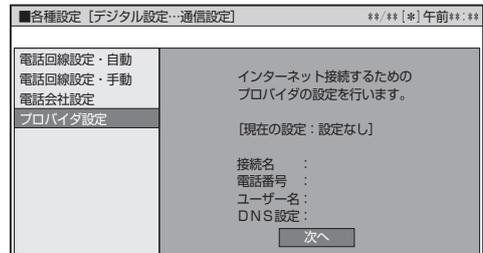
プロキシ：プロキシとは、「代理」の意味で、この機能が提供されている場合、プロキシを設定すると、インターネットの閲覧（ブラウジング）を行うときに、プロキシサーバと呼ばれる機器を経由して閲覧が行われます。サーバーの種類により、セキュリティの向上や、閲覧スピードが改善されるなどの効果があります。

1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 81 ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

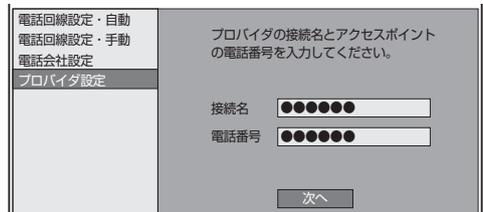
4 「プロバイダ設定」を選んで決定します

5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 決定を押して文字入力画面を表示し、接続名を入力します

- 文字入力方法については、**143** ページ
- 通常は契約しているプロバイダの事業者名を入力します。

7 決定を押して文字入力画面を表示し、アクセスポイントの電話番号を入力します

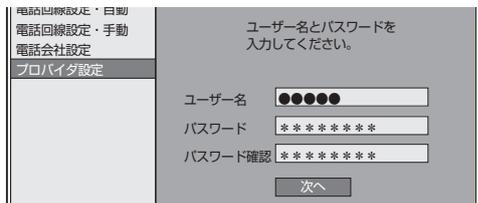
- 契約しているプロバイダの電話番号を入力します。

8 「次へ」で決定します

9 決定を押して文字入力画面を表示し、ユーザー名を入力します

- 文字入力方法については、**143** ページ
- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。

10 決定を押して文字入力画面を表示し、パスワードを入力します

- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。
- 決定を押し、パスワード確認欄に同じパスワードをもう一度入力します。

次ページへつづく

11 「次へ」で決定します

12 DNS の IP アドレス自動取得の「する」「しない」を選んで決定します

「する」
- 「次へ」で決定して手順 14 に進みます。

「しない」
- 手順 13 に進みます。
- プロバイダと契約した際に提供された DNS の IP アドレスを入力します。

13 決定を押して文字入力画面を表示し、DNS のプライマリの IP アドレスを入力します

- 操作をくり返して各入力欄に 3 桁の数字を入力します。

14 同様にセカンダリの IP アドレスを入力し、「次へ」で決定します

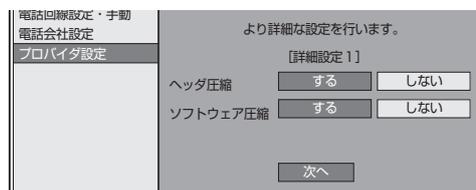
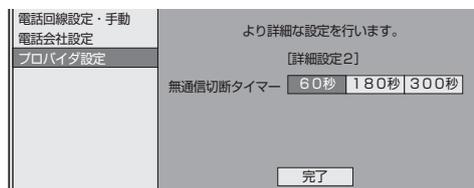
15 詳細設定を「する」または「しない」を選んで決定します

- 手順 16 ～ 18 では通信速度を向上させるかさせないかの設定をします。契約しているプロバイダーがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。
- 手順 19 は、一定時間無通信だった場合に接続を切断する無通信切断タイマー設定です。

「する」	☞	手順 16 へ
「しない」	☞	手順 21 へ

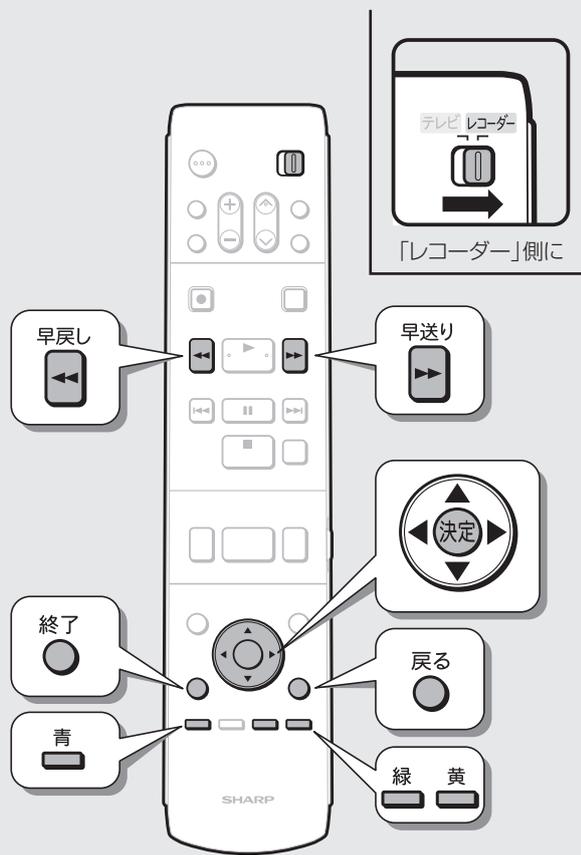
16 ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

17 ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

18 「次へ」で決定します

19 無通信の場合切断されるまでの時間を選んで決定します

20 「完了」で決定します

21 終了を押して設定を終了します

文字入力のしかた

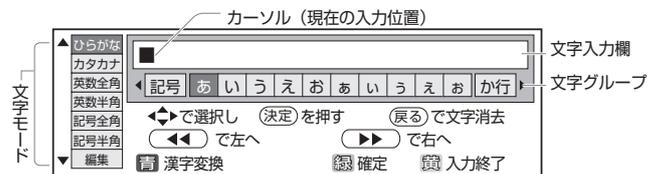
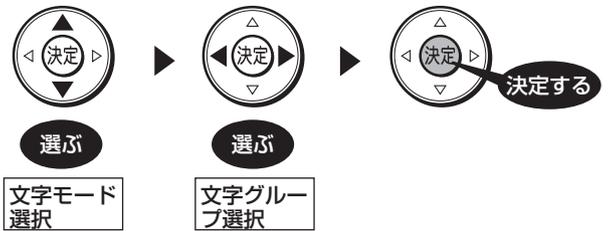
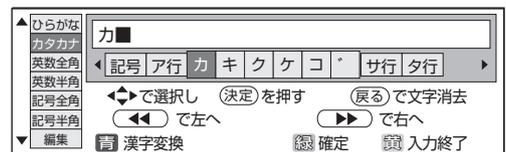
文字入力画面での文字入力の基本操作を説明します。

・漢字に変換できるのは「ひらがな」で入力したときだけです。

1 文字入力画面を表示させます

・現在のタイトル文字を消すには

（押すごとに１文字消去）

2 文字モードと文字グループを選んで決定します

文字モード選択　文字グループ選択

3 入力文字を選んで決定します

文字入力欄に、決定した文字が表示されます。

・文字グループを変えるには（文字候補の先頭／最後で）

・文字モードを変えるには

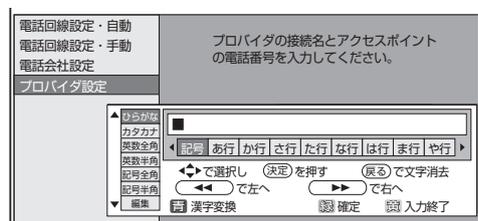
・入力中に文字を消すには

（カーソル移動）

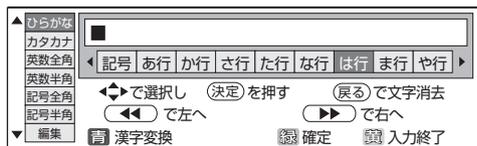
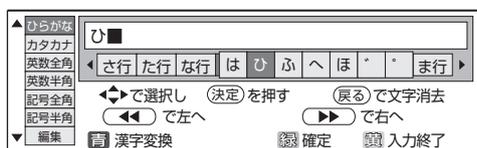
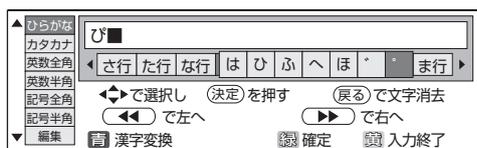
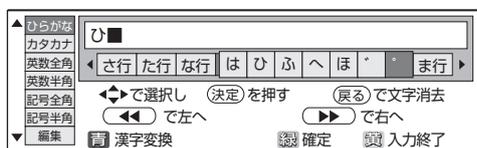
4 2 ～ 3 をくり返します

・漢字に変換したいときは 144 ページ

5 文字入力を終了します

⇨文字入力画面が消えて、完成された文字列を表示

「゛」や「゜」を付けるには

［例］「ぴ」

1 「ひらがな」－「は行」を選んで決定します

2 「ひ」を選んで決定します

3 「゜」を選んで決定します

・「゛」を選ぶと「び」になります。

スペースを入れるには

文字グループから「空白」を選んで決定します

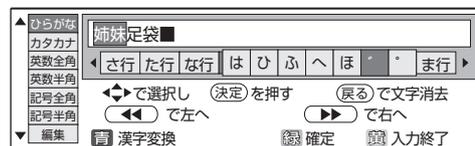
・選んでいる文字モードによって、半角スペースか全角スペースか決まります。

漢字に変換するには

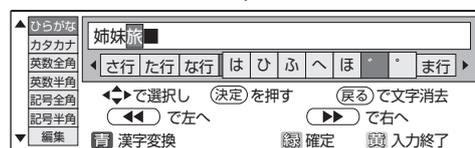
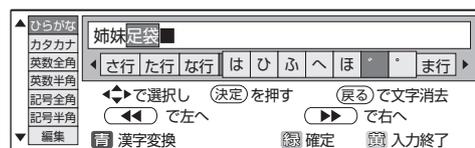
［例］「しまいたび」⇨「姉妹旅」

1 ひらがなモードで「しまいたび」と入力して決定します

2 漢字変換を選びます

⇨変換候補表示

3 変換候補を選んで決定します

または 青（漢字変換）で候補を選びます。

くり返す

・最初に正しい変換がされた場合はそのまま決定してください。

4 入力文字を確定します

5 文字入力を終了します

⇨文字入力画面が消えて、完成された文字列を表示

6 入力した文字に変更します

変更して終了 を

7 文字編集を終了します

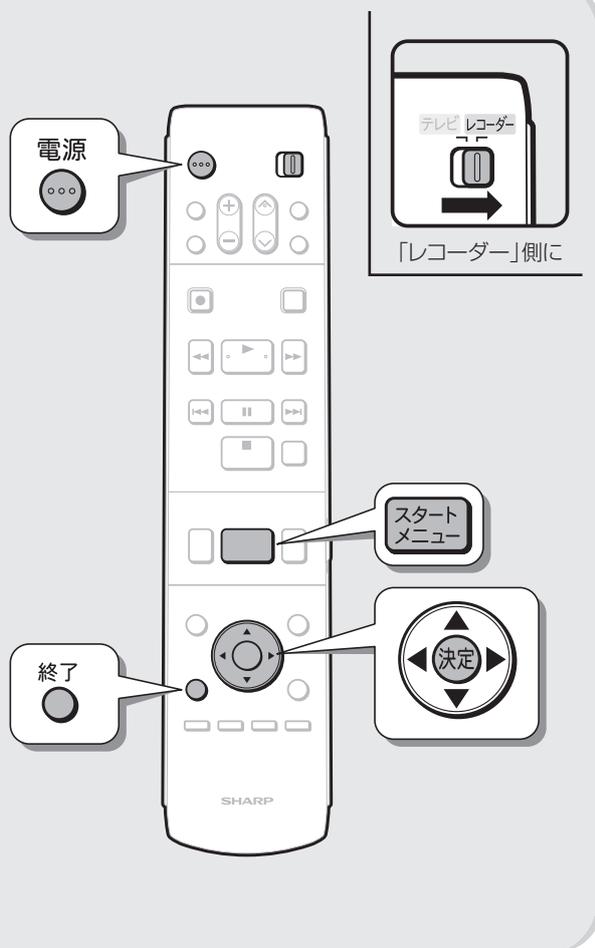
入力文字一覧表

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>ひらがな</td><td>
記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>
記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ゛</td><td>カ行</td><td>カキクケコ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数全角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数半角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>記号全角</td><td>
@., : ;_−¥ $%!? &#+* =/|‾ ”’^‘ ()<> []{} 空白
<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>＠　．，：</td><td>;_−¥</td><td>；＿－￥</td><td>$%!?</td><td>＄％！？</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>＆＃＋＊</td><td>=/|‾</td><td>＝／｜￣</td><td>”’^‘</td><td>”’＾‘</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>（）＜＞</td><td>[ ]{ }</td><td>［］｛｝</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>
@ ., : ;_−¥ $%!? &#+* =/|‾ ”’^` ()<> [ ]{ } 空白
<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|‾</td><td>= / | ‾</td><td>”’^`</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>( ) < ></td><td>[ ]{ }</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>編集</td><td>
漢字変換 左へ 右へ 終了 文字削除

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。
</td></tr>
</table>

放送局からのお知らせを見る

放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

受信メッセージ確認

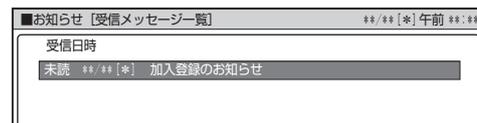
1 テレビと本機の準備をします 25 ページ

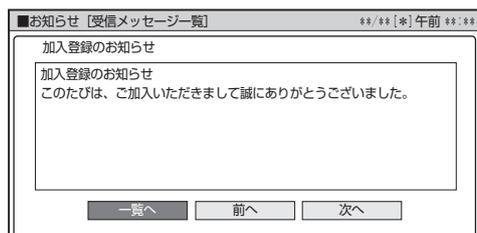
2 スタートメニューから「お知らせ」を選びます 22 ページ

- 常時更新されていますので、「NEW」のマークが表示され「新しいお知らせがあります。受信したお知らせを確認してください。」の表示が出ているときは、メッセージをお読みください。

3 「受信メッセージ一覧」を選んで決定します

4 見たいメッセージを選んで決定します

（例：加入登録のお知らせを見る）

5 メッセージの内容を確認します

6 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

「一覧へ」
- 受信メッセージが一覧表示されます。

「前へ」
- 前のメッセージが見られます。

「次へ」
- 次のメッセージが見られます。

7 終了 ○ を押して設定を終了します

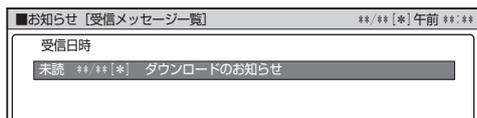
ダウンロードの手動実行

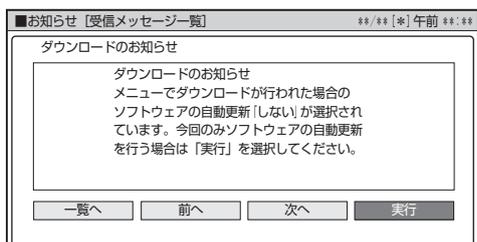
ダウンロードのお知らせメッセージが来ている場合、受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新できます。

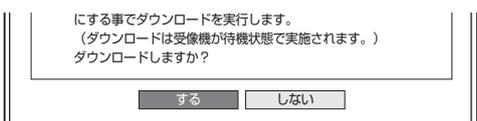
- 「デジタル設定」の「ダウンロード設定」（→ **87** ページ）を「する」の場合は自動で更新されます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ」の受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新することができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **3** までを行います

146 ページ

2 「ダウンロードのお知らせ」を選んで決定します

3 メッセージの内容を確認します

4 「実行」を選んで決定します

5 メッセージの内容を確認します

6 「する」を選んで決定します

7 ディスクが本機にセットされている場合は取り出し、リモコンの 電源 で本機の電源を切ります（電源待機状態にします）

⇨ダウンロード中は本体表示部に「DL」と表示されます。

- 「一発起動（クイック起動）」機能は、ダウンロードを始める 5 分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

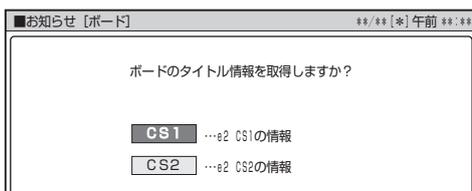
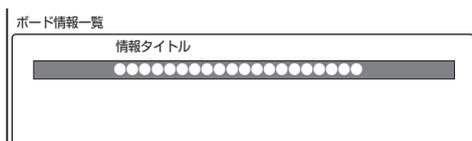
ボード（掲示板）確認（CS 放送）

CS 各ネットワークから送られてくるボード（掲示板）の情報を見ることができます。

- ボード情報は消去することはできません。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 146 ページ

2 「ボード」を選んで決定します

3 情報を見たいネットワークを選んで決定します

4 メッセージの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

受信機レポート確認

B-CAS カードが壊れたときや、予約を実行できなかったときなど、受信機に関係したレポートを読むことができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** ～ **2** までを行います 146 ページ

2 「受信機レポート」を選んで決定します

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
B－CASカード番号表示

3 見たいレポートを選んで決定します

- アップロードに失敗したときは「再発信」を選んで決定してください。アップロードし直すことができます。

4 レポートの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

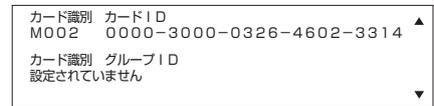
B-CAS カード番号表示

受信機レポートで報告された不具合に関して放送事業者のカスタマーセンターに連絡する場合には、B-CAS カード番号が必要です。本機にセットされている B-CAS カード番号を表示します。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** ～ **2** までを行います 146 ページ

2 「B-CAS カード番号表示」を選んで決定します

3 「実行」で決定します

4 B-CAS カード番号を確認します

「カード識別」
メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 文字の数字からなります。

「カード ID」
カード固有の番号です。

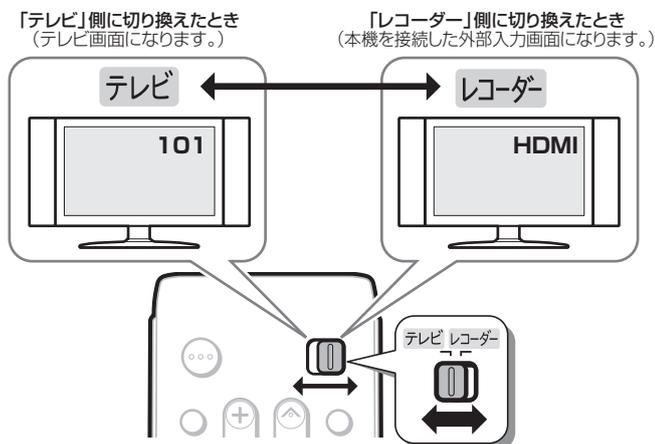
「グループ ID」
複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループ ID が、異なる B-CAS カードに書き込まれます。

5 「戻る」で決定します

6 終了 を押して設定を終了します

リモコンのテレビ入力自動切換について

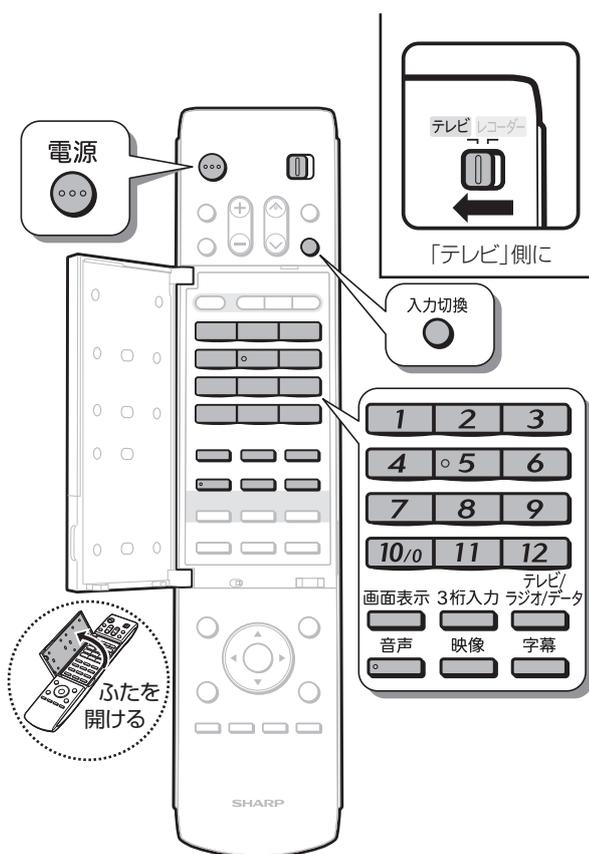
本機のリモコンは、シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」の外部入力を自動的に切り換える機能を持っています。

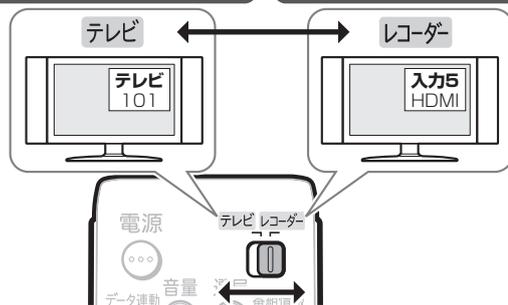
入力自動切換とは

工場出荷状態では

テレビメーカー指定 →「シャープ C」
入力自動切換 →「しない」
になっています。

- 本機のリモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチは、テレビメーカー指定を「シャープ C」（工場出荷状態）に設定しているとき、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。
- スイッチを「レコーダー」側に切り換えるだけで、テレビの入力を、自動的に本機を接続した入力に切り換えることができる便利な機能です。（工場出荷状態では働かない設定になっています。）
- テレビメーカー指定を「シャープ C」で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」です。

入力自動切換の設定をする

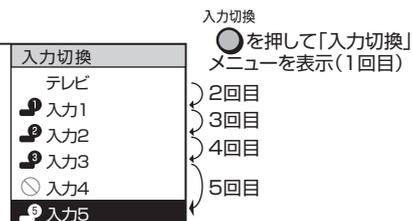
- 入力自動切換は、工場出荷状態では働かない設定になっています。テレビの外部入力を、本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定するには、**150** ページまたは **151** ページの操作を行ってください。

こんな使いかたが便利です

たとえば、本機をテレビの入力５（HDMI 端子）に接続している場合
- テレビの「入力」が、自動的に入力５（HDMI 端子）に切り換わるように設定できます。

設定について

- 設定はテレビのタイプに合わせて行います。

〔タイプ 1〕
テレビの入力切換をダイレクトに選べるテレビ(→ **150** ページ)
〔タイプ 2〕
テレビの入力切換を何回か押して選ぶテレビ(→ **151** ページ)

▼テレビの画面例

次ページへつづく

〔タイプ 1〕の設定
テレビの外部入力を、本機を接続した入力にダイレクトに切り換わるようにします

〔タイプ 1〕（ダイレクト入力切換対応）のテレビは、ファミリンク対応の AQUOS と、LC-45BE1W/LC-45BE2W/LC-37BE1W/LC-37BE2W/LC-37BE10/LC-37BD1W/LC-37BD2W です。設定しても切り換わらないときは「タイプ 2」の設定を行ってください。（→ **151** ページ）
ファミリンク対応の AQUOS については、シャープホームページの DVD/BD サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html）をご覧ください。

- リモコンをテレビの真正面に向けて、リモコンの信号が届く範囲で操作を行ってください。
- リモコンのテレビメーカー指定が「シャープ C」（工場出荷時）のとき設定できます。

1 テレビメーカー指定を「シャープ C」にします（→ 120 ページ）

「シャープ C」で操作できないテレビでは、入力自動切換は働きません。

2 本機を接続したテレビ側の入力端子（入力 1、入力 2 など）を調べます

- 調べたらメモしておきます。

3 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にして、電源 を押してテレビの電源を入れます

テレビを操作

テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にする

- テレビ放送が映ることを確認します。

4 テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にします

5 設定ボタンを押しながら、入力切換 を5 秒以上押し続けます

- 次の表を見て、手順 2 で調べた入力に合わせて設定してください。

自動入力切換	設定ボタン
しない（工場出荷時）	10/0 ＋ 入力切換
入力 1	11 ＋ 入力切換
入力 2	12 ＋ 入力切換
入力 3	画面表示 ＋ 入力切換
入力 4	3桁入力 ＋ 入力切換
入力 5	テレビ/ラジオ/データ ＋ 入力切換
入力 6	音声 ＋ 入力切換
入力 7	映像 ＋ 入力切換
入力 8	字幕 ＋ 入力切換

6 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします

7 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にします

本機を操作

テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にする

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- 切り換わらないときは、「〔タイプ 2〕の設定」（→ **151** ページ）の手順に従って設定し直してください。

〔タイプ 2〕の設定
入力切換ボタンを何回か押して選ぶタイプのテレビを設定します

1 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にして、電源 を押してテレビの電源を入れます

テレビを操作

テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にする

・テレビ放送が映ることを確認します。

2 リモコンを使わずに、本体の電源ボタンを押して本機の電源を入れます

・テレビに本機以外の機器（ビデオなど）が接続されている場合、本機以外の機器の電源は切っておきます。

3 入力切換 を押し、入力画面が切り換わるのを確認しながら繰り返し押します

・「レコーダー（本機）」の画面が何回目に映ったかを確認します。（下の枠内に記入しておきます。）

メモ	回目	－１＝	設定に使う数字ボタン

・ただし、「1 回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。

手順 5 で設定に使用する数字ボタン

入力切換ボタンを押した回数	手順 5 で使用する数字ボタン
1 回	7
2 回	1
3 回	2
4 回	3
5 回	4
6 回	5
7 回	6

4 数字ボタン（1 ～ 12 のいずれか）を押しテレビ画面に戻します

5 手順 3 でメモした値で設定を行います

設定例

手順 3 で「5回目」とメモしたとき

数字ボタン 4 を押したまま、入力切換 を5秒以上押し続けます。

- 手順 3 でメモした値から、1 を引いた値が設定に使う数字ボタンです。
- 手順 3 で「1 回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。
- 数字ボタンは必ず先に押してください。
- 工場出荷時は、数字ボタン 10/0（切り換わらない）となっています。

6 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にします

本機を操作

テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にする

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えたあと約3秒以上たってもテレビの入力が切り換わらないときは、スイッチを「テレビ」側に切り換え、再度手順 4 ～ 6 の操作を行い、設定し直してください。
- 入力が切り換わる様子を見ながら操作を行うと、再設定がしやすくなります。

・テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えてもテレビの入力を切り換えたくない場合は

こんなときは

この章では、再生や録画できないときなど、
困ったときに確認していただきたいことを
説明しています。

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード A または、A を含む意味のもの 1層／2層	12cm盤	――――	音声+映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	――――	音声+映像（動画）
BD-R	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層）（ファイナライズ済ディスク）	12cm盤	――――	音声+映像（動画）
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク1層／2層	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW DVD-R DVD-R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD+RW, DVD+RW DL（2層） DVD+R, DVD+R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD-RAM［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット	音声+映像（動画）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声

本機で再生できないディスク

• 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

ディスク	内容
BD ビデオ	• リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク） リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。 • 他機で録画した BD-RE には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。
DVD ビデオ	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	• データが記録されていないディスク • 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク

ディスク	内容
CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽 CD フォーマット以外のフォーマットで記録されたディスクや、JPEG ファイルのデータが記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

次ページへつづく

本機で録画・ダビングができるディスク

- 本機で録画に使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスクです。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

機種名		BD-AV1	BD-AV10
ディスクの種類 / ディスクの特長		Blu-ray Disc BD-RE （12cm 盤）	Blu-ray Disc BD-RE （12cm 盤）
ディスクのバージョン		Ver.2.1（SL/1 層のみ）	Ver.2.1（SL/1 層および DL/2 層）
繰り返し録画		○	
追加録画		○	
放送を録画	録画可能の番組の録画	○	
	1 回だけ録画可能の番組の録画	○	
	録画禁止の番組の録画	×	
i.LINK 機器からのダビング		○※1	
新品のディスクを使うとき		初期化が必要です。（自動で初期化されます。）	
再初期化		○	
他の機器で録画したディスクを再生する		○※2	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※ 1　i.LINK ダビングができるのは、シャープ製ハイビジョンレコーダーの HDD に HD/SD 録画された番組です。それ以外で録画された番組はダビングできません。
また、本機から他機へのダビングはできません。

※ 2　BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
他の BD レコーダーで録画した BD-RE には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。

本機で録画可能な BD-RE ディスクについて

- ソニー、パナソニック、TDK、三菱化学メディア製の BD-RE Ver.2.1（BD-AV1 は SL/1 層のみ、BD-AV10 は SL/1 層および DL/2 層）ディスクに録画することが可能です。
上記以外のディスクは録画できないことがあります。（2007 年 9 月現在）

DVD ディスクの再生について

- ファイナライズ処理が必要です。
- DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- DVD-R（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。（再生できない場合もあります。）
- DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で録画・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、BD-R SL（再生は可能）、BD-R DL/2 層ディスク（再生は可能）、CDG※3、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT※3、CD-EXTRA※3、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

※ 3 音声のみ再生できます。

- BD-R ディスクには録画できません。

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

DVD/BDサポートステーションの「Q&A情報」もご覧ください。 ⇒ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

電源が入らない／電源が途中で切れる

電源が入らない。

- 電源プラグ（→ **107** ページ）をコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット（下記「操作ができない」参照）してください。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約 1 分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。
- 電源ボタンは、電源ランプが赤点灯してから押してください。
- リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（→ **20** ページ）
- リモコンの番号設定が合っているか確認してください。（→ **121** ページ）

電源が勝手に入る。

- 本機の機能を向上させるためのソフトウェアの更新（ダウンロードサービス）を電波を通して実行しているときは、本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「DL」の表示が出ます。
- B-CAS カード通信中／電話回線使用中は本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「ACCESS」の表示が出ます。

電源が切れる。

- 「無操作オフ設定」（→ **84** ページ）を「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態（放送視聴状態）が 3 時間続くと自動的に電源が切れます。
- 本機で「機能切換」－「ファミリンク設定」－「連動設定」を「する」にしている場合、ファミリンク対応のテレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。

一発起動（クイック起動）が設定されているのに電源がすぐに入らない。

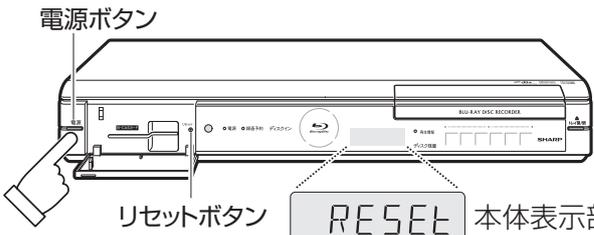
- 一発起動（クイック起動）が設定されている状態でダウンロードサービスを行うとき、ダウンロードサービスを開始する 5 分前になると、一時的にクイック起動設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。

操作ができない

操作ボタンを受けつけない。

- リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **20** ページ）
- リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（→ **20** ページ）
- リモコンの番号設定が合っているか確認してください。（→ **121** ページ）

初期設定画面が表示される。

- 接続後、初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。
  設定を行って設定画面を終了させないと、本機の操作が行えません。

極端に寒い場所でお使いのとき。

- 使用温度範囲内でお使いですか。（→ **173** ページ）

リモコン番号が設定できない。

- 電源プラグが正しく接続されているか、確認してください。（→ **107** ページ）
- 本機のリモコン番号設定は、本機の電源を切った状態で行ってください。（→ **121** ページ）

操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない。

- 一度電源を「 切 」にし、再度電源を入れ直してください。
- 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。本体表示部に「RESEt」が表示され、リセット操作が完了すると電源が切れます。再度電源を入れてください。

- 本体のリセットボタンを押しても改善されない場合は、電源を「切」にします。その後、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。
  ※ 状況が改善されない場合は、販売店またはお客様相談センター（→ **172** ページ）にご相談ください。

リモコンの操作ができない

本機のリモコンでテレビの操作もしたい。

- リモコンに、テレビの「メーカー指定」の設定をしてください。（→ **120** ページ）

消音や放送切換（地上 A、地上 D、BS、CS）などのテレビ操作ボタンが働かない。

- テレビメーカー指定「シャープ C」（デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」用）以外のテレビでは、「電源」「入力切換」「選局」「音量」のボタン操作のみ行えます。
（「シャープ B」に設定しているときは、「消音」ボタンも働きます。）（→ **120** ページ）

リモコンの操作ができないときは。

- リモコン番号が正しく設定されているか、確認してください。（→ **121** ページ）
- リモコンから電池を取り外した状態や電池が切れた状態で長時間放置すると、設定が工場出荷状態に戻ります。設定が工場出荷状態に戻ったときは、再度設定し直してください。
- テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側に切り換えている場合は、本機の操作ができません。（→ **25** ページ）

映像が映らない／映像が正常に映らない

画面が映らない。

- 接続が正しいか確認してください。（→ **91** ～ **104** ページ）
- テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。
- HDCP に対応していない HDMI 機器や DVI 機器には映像が映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。）
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。
- 電源「切」の状態になっていませんか。

BD や DVD ディスクの画面が映らない。

- BD や DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **14** ページ）

テレビの 1ch または 2ch で本機の映像が見られない。

- AV 入力端子付きテレビでお楽しみください。

D 映像出力端子 /HDMI 出力端子でテレビと接続している場合は。

- テレビに装備されている D 映像入力端子には「D1/D2/D3/D4/D5」の種類があります。本機の D 端子と接続したテレビの入力端子に合わせて、本機の「D 映像出力設定」（→ **83** ページ）を変更してください。
- 本機は、D 映像出力端子または HDMI 出力端子のどちらか一方からしか出力されません。
HDMI切換 を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（D 映像端子）または「H-oP」（HDMI 端子）を選択してください。（→ **96** ページ）

横長の映像や縦長の映像になる / 画面の上下に黒い帯が出る。

- 「画面サイズ設定」（→ **83** ページ）は、接続されているテレビに合っていますか。
- ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」（→ **83** ページ）が「16：9（ワイド）」に設定されていますか。
- HDMI 出力端子 /D 映像出力端子でテレビと接続している場合、画面サイズを 16：9 に設定していると、映像出力端子からは 16：9（スクイーズ）の縦長の映像が出力されます。

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る。

- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

映像が停止する。

- 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。
- 電波状態が悪くなっていませんか。

電波状態が悪く､映像が乱れる（正常に見えない）。

- BS･110度CS放送用アンテナの向きを調整してください。
- アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。

左右に黒帯がついた映像になる（D 映像端子でテレビと接続している場合）。

- D 映像出力設定を「D3 ／ D4 ／ D5」に設定したときは、4：3 映像は左右に黒帯をつけて出力します。
- 地上デジタル放送や BS･110 度 CS 放送では、番組によっては 16：9 サイズの映像に 4：3 の映像を入れ、左右に黒帯の付いた映像で放送されていることがあります。

HDMI コードでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない。

- 電源を入れた状態で HDMI コードを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態で HDMI コードを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。電源を入れた状態で誤って HDMI コードを抜いたときは、電源を切ってから HDMI コードを接続し直し、電源を入れてください。
- 本機の映像出力設定が D 映像出力になっていませんか。
HDMI切換 を押し続け、本体表示部に「H-oP」と表示させてください。（→ **96** ページ）

映像が出ない。映像が乱れる。

- テレビの D 映像入力端子と本機の D 映像出力設定（→ **83** ページ）が合っていない場合は、正常に映像が出力されません。本体のリセットボタンを押して設定し直してください。
- HDMI コードと D 映像コードの両方をテレビと接続したときは、どちらか一方からだけしか映像は出力されません。
リモコンの HDMI切換 ボタンを押し、切り換えてください。（→ **96** ページ）

特定の放送が映らない／特定のタイトル（録画した番組）が映らない

デジタル放送の画面が映らない。

- B-CAS カードがセットされているか確認してください。
- 「BS･CS アンテナ電源」（→ **126** ページ）が「切」になっていませんか。
- 映像、音声のない放送ではありませんか。
- 有料チャンネルは、契約しないと映像・音声が映りません。

地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。

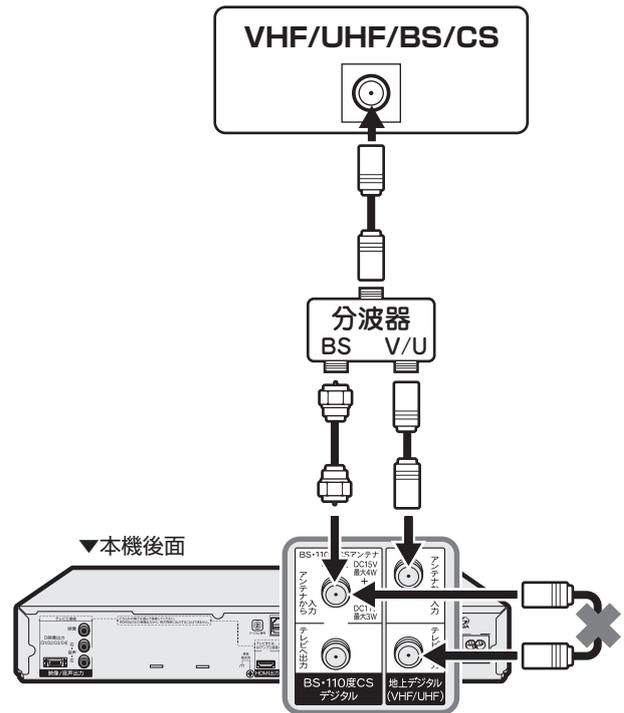
- お使いのアンテナは UHF アンテナですか。
  地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。
- 地上デジタル放送を視聴するための準備（アンテナ接続、地域選択、チャンネル設定など）ができているか、ご確認ください。（→ **92** ～ **94**、**125**、**128** ～ **134** ページ）
- VHF/UHF 用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。
- アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源・受信強度表示」（→ **126** ページ）で下記を行ってください。
  アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。
- B-CASカードは正しくセットされていますか。B-CASカードをセットしないとデジタル放送は視聴できません。（→ **106** ページ）
- ケーブルテレビ（CATV）の会社で地上デジタル放送を配信している場合でも、トランスモジュレーション方式の地上デジタル放送には対応していません。

※ 状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

今まで視聴できていた放送が、受信できない。

- はじめて B-CAS カードをセットしたときは、有料放送番組でも、一定期間だけ視聴できる自動仮視聴サービスを行っている放送局があります。そのため、自動仮視聴期間が過ぎたあとに受信契約を行わないと受信できなくなる放送があります。

BS アンテナを接続したが、BS・110 度 CS 放送が映らない。

- BSアンテナは110度CS放送に対応したアンテナですか。
- 衛星放送用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。
- アンテナケーブルは「衛星放送用同軸ケーブル」（市販品）をお使いください。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源・受信強度表示」（→ **126** ページ）で下記①②を行ってください。
  ① ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、「BS・CS アンテナ電源」を「入」に設定してください。
  ② アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。
- ご家庭のアンテナ端子が BS・UV 信号が混合されている端子の場合、BS・UV 分波器を使用して正しくアンテナを接続していますか。（→ **92** ～ **93** ページ）
  BS･UV 分波器を使用して正しくアンテナを接続しないと、BS・110 度 CS デジタル放送が映らない、または映りが悪くなります。

110 度 CS デジタル放送を受信できない。

- 放送各社と受信契約をしてください。本機は 110 度 CS デジタルチューナーを内蔵していますので、受信契約をすれば、110 度 CS デジタル放送をお楽しみいただけます。

ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を受信できない。

- CATV パススルー方式でサービスが行われているかを CATV 会社に確認してください。トランスモジュレーション方式には対応しておりません。CATV パススルー方式であれば、次の帯域を受信できます：UHF、VHF、ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯､スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C63）帯

ディスクの画面が映らない。

- ディスクをクリーニングしてください。（→ **14** ページ）

チャンネルや番組を変えても映像が映らない

画面が映らない。

- 接続が正しいか確認してください。（→ **92** ～ **98** ページ）
- テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。
- HDCP に対応していない HDMI 機器や DVI 機器には映像が映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。）
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。（→ **107** ページ）
- 電源「切」の状態になっていませんか。
- B-CAS（ビーキャス）カードが入っていますか。（→ **106** ページ）

放送の映像も音声も出ない。

- 「i.LINK 入力」が選択されていませんか。本体表示部の表示（→ **17** ページ）を確認してください。
- テレビとの接続は正しいですか。（→ **96** ～ **98** ページ）
- 映像、音声のない放送ではありませんか。
- D 映像出力端子と HDMI 出力端子の両方でテレビと接続している場合、信号はどちらか一方からしか出力されません。
  HDMI切換を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「d-oP」（D 映像端子）または「H-oP」（HDMI 端子）を選択してください。（→ **96** ページ）
- BD-RE 以外のディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、放送が映りません。

放送の映像が出ず、音だけ出る。

- 映像出力の接続コードがはずれていませんか。（→ **94**、**97** ～ **99** ページ）

テレビの 1ch または 2ch で本機の映像が見られない。

- AV 入力端子付きテレビでお楽しみください。

強い雨や雪の日に映像が映らない

積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。

BS デジタル放送の降雨対応放送について

- BS デジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できないことがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

※降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ可能です。
※降雨等によって受信しにくくなった場合、自動的に録画が停止することがあります。
※通常画面に戻したいときは、映像で切り換えます。

音声が出ない／音声が正常に出ない

スピーカーから音が出ない、音が歪む。	音が左右逆になる／片方しか音が出ない。
• 一時停止またはスロー再生 / 早送り / 早戻し中は、音声が出ません。 • 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。（→ **107** ページ） • テレビまたは AV アンプなどの音量が「MIN（最小）」になっている場合はボリュームを上げてください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。 • BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **14** ページ） • BD または DVD ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。	• 音声コードが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。（→ **97**、**98**、**99**、**100** ページ） **2 つの音が混ざって聞こえる。** • 音声切換が間違っていませんか。リモコンふた内の 音声 を押し、音声を切り換えます。（→ **34**、**64** ページ）

電子番組表が表示されない

地上デジタル放送の電子番組表が表示されない。	110 度 CS デジタル放送の電子番組表が表示されない。
•「番組表取得設定」（→ **129** ページ）を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源切の状態で設定した時刻から 40 分程度取得動作をします。受信できる放送局が多いほど番組データの取得には時間（最大で 50 分程度）を要します。「番組表取得設定」にかかわらず、放送を受信するとその放送局の番組表は表示されます。 • 再生専用ディスク（本機で録画に使用できないディスク）がセットされているときは、番組表は表示できません。ディスクを取り出すか、または録画用のディスク BD-RE Ver.2.1 をセットしてから操作してください。	• 番組表データが取得できていないチャンネルは、電子番組表を表示させたときに番組表内が何もない状態となります。 • 電子番組表が表示されない放送局があるときは、その放送局を一度、受信してください。しばらくすると電子番組表が表示されます。 • BD-RE 以外のディスクがセットされているときは、電子番組表は表示されません。

BD への録画

録画が中断されている。

- 録画中に停電などがありませんでしたか。

録画ができない、録画が途中で止まる。

- 本機に録画できるのはデジタル放送です。
- 録画ができるディスクはBD-AV1の場合、BD-RE Ver.2.1（SL/1層）ディスクのみです。BD-AV10の場合は、BD-RE Ver.2.1（SL/1層、DL/2層）ディスクのみです。BD-RやDVDディスクには録画ができません。
- ディスク保護が設定されているBD-RE Ver.2.1を使用したときは録画可能ディスクでも再生専用ディスクとなります。（録画や初期化は行えません。）（→ **70** ページ）
- 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。
- BDの空き時間は足りていますか。BDに録画された不要なタイトルを消去して、録画に必要な空き容量を確保してください。（→ **69** ページ）
- ディスク再生中は録画ができません。
- 録画が禁止された映像は録画できません。（→ **15** ページ）
- BDをクリーニングしてください。（→ **14** ページ）
- 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
- 停電などがありませんでしたか。

かんたん BD ダビング

ダビングができない、ダビングが途中で止まる。

- 本機にかんたんBDダビングできるのは、本機とi.LINK接続したシャープ製のハイビジョンレコーダーです。
（→ **78** ページ）
その他の機器からは接続してもダビングできません。
- ハイビジョンレコーダーから本機にダビングできるのは、ハイビジョンレコーダーのHDDにHD/SD録画された映像です。
- 本機とハイビジョンレコーダーのみをi.LINK接続した状態にしないと、ダビングできない場合があります。確実にダビングするため、本機やハイビジョンレコーダーが他の機器とi.LINKで接続している場合は、他の機器からi.LINKケーブルを抜き、本機とハイビジョンレコーダーのみi.LINK接続した状態で操作してください。
（→ **103** ページ）
- 誤ってi.LINKケーブルを抜いたりしたときは、途中でダビングが停止します。

BD に録画した番組を他の機器にダビングできない。

- ダビングできません。

何枚もある DVD ディスクを 1 枚の BD にまとめたい。

- DVDディスクからBDへのダビングはできません。本機にダビングできるのは、シャープ製のハイビジョンレコーダーに搭載されているHDDにHD/SD録画された映像です。

ダビングしたタイトルの先頭が録画されていない。（先頭が欠けている。）

- 録画が開始されるまで、数秒かかります。そのため、ダビングする番組のはじめの数秒は、ダビングされません。
- **ダビングは必ず 1 タイトルずつ行ってください。**

ダビングしたタイトルのチャプターが BD に引きつがれない。

- チャプターマークはダビングされません。

BD の予約録画

予約したのに録画されていない、途中で切れている。

- 録画開始時間に下記の状態であった場合は、録画されません。
  - 録画中（録画開始時刻の５分前までに、操作を終えてください。）
  - ダビング中（録画開始時刻の５分前までに、操作を終えてください。）
  - 再生中（録画開始時刻の５分前までに、操作を終えてください。）
- 予約待機中 / 録画中に停電がありませんでしたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。
- 停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。
- BD の残量は充分でしたか。残量が少ない場合、不要なタイトル（番組）を消去してください。（→ **69** ページ）
- 放送時間が変更されていませんか。
- 番組が延長されていませんでしたか。
- 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。（→ **107** ページ）
- 「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。（→ **148** ページ）
- 途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。（→ **15** ページ）
- BD をクリーニングしてください。（→ **14** ページ）
- 予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。

「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている。

- デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。

BS デジタル放送のラジオ放送、データ放送が記録されていない。

- ラジオ放送、データ放送は記録できません。

デジタル放送の録画予約時に「番組延長設定」できない。

- 電子番組表で予約した番組を選んで 決定 を押し、◀▶ で「延長」の項目を選び、▲▼ で設定してください。
- 予約設定時は自動で「入」に設定されます。

テレビのファミリンク予約

予約したのに録画されていない、途中で切れている。

- 本体予約録画と重複していませんでしたか。重複しているときは、本体予約が優先されます。（→ **77** ページ）

デジタル放送を日時指定予約で録画できない。

- テレビの電子番組表を使用したファミリンク予約は、番組表からの予約に限定されます。日時指定予約は行えません。日時指定予約を行いたいときは本機で「日時指定予約」（→ **48** ページ）を選び、日時指定予約を行います。

ディスクの再生音が小さい

BD や DVD ビデオの再生音が小さく聞こえる。

- BD や DVD ビデオは、より臨場感を高める効果を狙ってシーンによって音量の差を大きく取っているものがあるため、放送を視聴するときより、音量レベルを低めに設定してあります。音量が小さく聞こえるときは「音声出力レベル」を「シフト」に設定してください。「ノーマル」に比べ平均音量を上げて出力できます。（→ **83** ページ）

「音声出力レベル」を「シフト」にしても再生音が小さい。

- 「音声出力レベル」は、ドルビーデジタル音声の再生時に働く機能です。BD、DVD ビデオの音声を DTS に設定して再生しているときには、記録されている音声がそのまま再生されます。

再生できない

BD や DVD ディスクが再生できない。

- BD ビデオまたは DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。(→ **153** ページ)
  リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない（リージョンコードが設定されていない）BD ビデオが再生できます。
- BD-RE Ver.1.0 は再生できません。
- BD-R Ver.1.1 や DVD ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。
- ディスクをクリーニングしてください。(→ **14** ページ)
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。(→ **41** ページ)
- 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。(→ **14** ページ)
- PAL、SECAM 方式の BD ビデオは再生できません。
- ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。

市販の DVD ビデオが再生できない。

- 本機で市販の DVD ビデオを再生すると、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定してあっても、525p の信号が出力されます。そのためテレビやプロジェクターが 1125i ／ 750p 専用の場合は、市販の DVD ビデオの再生映像が楽しめません。

市販の BD ビデオまたは DVD ビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう。

- 市販の BD ビデオまたは DVD ビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。

BD ビデオや DVD ビデオが再生できない。

- 視聴制限が設定されていると、BD ビデオや DVD ビデオを再生できないことがあります。
  BD ビデオの場合は、再生を停止し、視聴制限年齢を解除してください。
  DVD ビデオの場合は、暗証番号を入力し、メニューで視聴制限レベルを設定し直してください。
  (→ **85**、**89** ページ)
- ディスクのパッケージをご覧になり、リージョンコードをお確かめください。BDビデオやDVDビデオには、国によって再生を制限するためのリージョンコードが設定されています。日本で再生できるのは次のとおりです。
  BD ビデオ　→　リージョンコード「A」またはリージョンコードの記載がないディスク
  DVD ビデオ　→　リージョンコード「ALL」または「2」
  (→ **153** ページ)

他の DVD レコーダーで録画・編集した DVD ディスクが途中で再生されなくなる。

- 他の DVD レコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12 時間以上再生できません。
- DVD-R DL（2 層）ディスクは再生できない場合があります。

つづき再生が働かない。

- ディスクのつづき再生は、BD-RE 以外のディスクではディスクを取り出すと働かなくなります。
- 市販の BD ビデオ、DVD ビデオ、ファイナライズされたビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク、音楽用 CD は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

二ヶ国語の音声が切り換えられない。

- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。

BD や DVD の映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っている DVD ディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

録画リスト（録画番組一覧）が表示されない。

- 本機をリセット（→ **155** ページ）してください。

録画リストのタイトル名に「＊」が表示される。

- 他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」と表示されます。

録画した最後の数秒間が再生されない。

- 再生した番組の終了位置は、他機で録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。
- 連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。

静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない。

- DVD-RW/-R ディスク（VR フォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。
- コマ戻し再生はできません。

早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない。

- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用 CD は除く）
  BD・DVD ディスクの場合は、再生状態になります。

D 映像出力が設定ができない。

- 再生専用ディスクが本機に挿入されているときは、D 映像出力設定は行えません。設定はディスクを取り出してから行ってください。

再生できない（つづき）

スロー再生がうまくいかない。

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。
- 逆スロー再生はできません。

他機で録画したディスクが本機で再生できない。

- 録画した機器でファイナライズをしていないディスクは本機で再生できないことがあります。録画に使用した機器で、ファイナライズを行ってください。
- ディスクのバージョンが 1.0 の BD-RE は、本機で再生できません。
- デジタルハイビジョンカメラで録画したディスクなど、本機で対応していないフォーマットで録画したディスクは再生できません。
  （→ **153** ページ）

再生できない / 再生が中断される。

- デジタル放送を BD に録画（かんたん BD ダビング）しているときは、再生はできません。

再生できないタイトルがある。

- 正常に録画されなかった映像は再生できません。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

データ放送が再生できない。

- BD に録画された連動データ放送は再生できません。

字幕が表示できない。

- BD に録画された番組の再生では字幕は表示できません。

写真データ（JPEG）の再生ができない。

- 本機では写真データ（JPEG）の再生はできません。

DVD ビデオを挿入すると起動画面（背景）やスタートメニュー画面が粗く見える。

- DVD ビデオを挿入したときは、D 映像出力が 525p 出力に固定されるためで、故障ではありません。

本体の音／動作

電源を「切」にしたのに動作音がする。

- 録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CAS カード内の契約情報の更新などを実行しているときは本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。
- 一発（クイック）起動待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。
- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、背面ファンが回転し、本体表示部に「dL」の表示が出ます。また、本体の BD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。
- 有料放送を番組購入した場合など、番組情報の取得が必要なときは、数時間「ACCESS」の表示が出たままになることがあります。通信しているためで故障ではありません。
- 「ACCESS」表示中は、本体電源が入るため、冷却ファンが回転します。

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう。

- 市販の BD ビデオや DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→ **153** ページ）
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。
  （→ **153** ページ）
- BD または DVD ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（→ **41** ページ）
- BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。
  （→ **14** ページ）
- 録画されていない DVD-RAM を挿入していませんか。

ディスクトレイが出ない。

- 本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。（→ **155** ページ）本体表示部に「RESEt」が表示されます。電源が切れ、電源ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。
- 上記の操作を行ってもディスクトレイが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（→ **172** ページ）にお問い合わせください。

ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする。

- ディスクを読み込むための音で故障ではありません。

録画時や再生時に「カチャ」と音がする。

- 本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。

電源を切った後、時計表示が出ない。

- 電源オフ時計表示設定を「する」に設定してください。
  （→ **86** ページ）
- 本体ライトを消灯にしていませんか。（→ **17** ページ）
- 電源を切った後、電子番組表データの取得中や B-CAS カード通信中は「ACCESS」と表示され、時計は表示されません。

チャンネル／リモコンの設定

リモコンで操作できない。

- リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **20** ページ）
- リモコンの乾電池を新しいアルカリ乾電池と交換してください。（→ **20** ページ）
- リモコン側のリモコン番号と本機のリモコン番号が合っていることを確認してください。（→ **121** ページ）

本機のリモコンで操作すると、他の DVD 機器（当社製）やテレビも動作してしまう。

- 本機のリモコン番号を切り換えてください。（→ **121** ページ）
- リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

画面が止まり、リモコンで操作できない。

- 本体の電源ボタンで電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
- 電源が切れないときは、本体のリセットボタンを押してください。本体表示部に「RESEt」の表示が出ます。
- ディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。

使わないチャンネルをスキップできない。

- 地上デジタル放送は、「チャンネルの個別設定」（→ **131** ～ **132** ページ）でスキップ設定をしてください。
- BS・110 度 CS デジタル放送は、「BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定」（→ **134** ～ **135** ページ）でスキップ設定をしてください。

本機のリモコンでテレビの操作ができない。

- リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。（→ **120** ページ）
- シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」の場合は、リモコンのテレビメーカー指定を「シャープ C」に設定すればテレビのすべての操作ができます。その他のテレビでは、電源、音量、選局、入力切換が操作できます。（→ **120** ページ）

リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしても、テレビの入力が自動で切り換わらない。

- この機能が使えるのは、シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」を接続したときです。
- リモコンのメーカー指定の設定が「シャープ C」になっていますか？（→ **120** ページ）
- リモコンのテレビ入力自動切換の設定は済んでいますか。（→ **149** ～ **151** ページ）
- リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを操作するときは、リモコンをテレビに向けて操作してください。

本体表示部のエラー表示など

本体表示部に“Err”と表示された

- 動作不具合が発生しています。一度、電源を「切」にし再度電源を入れ操作してください。

本体表示部に“ACCESS”と表示された

- 有料放送を番組購入した場合など、番組情報の取得が必要なときは、数時間「ACCESS」の表示が出たままになることがあります。通信しているためで故障ではありません。
- 「ACCESS」表示中は、本体電源が入るため、冷却ファンが回転します。

本体表示部に“DL”と表示された

- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、背面ファンが回転し、本体表示部に「DL」の表示が出ます。また、本体の BD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

本体表示部に“EPG”と表示された

- 電子番組表データの取得中です。取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。（約 40 分かかります。）（→ **129** ページ）

ファミリンク機能

ファミリンク機能が使えない。	ファミリンク機能が正常に働かない。
• HDMI コードでシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」と本機を接続してください。本機で再生を開始すると自動でテレビの入力が切り換わるワンタッチ再生や、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れるなどの連動操作が行えます。 **映像が映らない、正常な映像が映らない。** • HDMI コードをお使いの場合は、電源を入れた状態で HDMI コードを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。	• 電源を入れた状態で HDMI コードを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI コードの接続が済んでから行ってください。 • ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。 · 本機の電源を「切」にする · HDMI コードの接続を確認する(→ **101** ～ **104** ページ) · 本機の電源を「入」にする ·「ファミリンク連動設定」を確認する（→ **116** ページ）

その他

[スタートメニュー] を押してもスタートメニューが表示されない。

• メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。
• テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、[スタートメニュー]を押してください。
• 再生中やかんたん BD ダビング中は、スタートメニューを表示できません。

D映像出力端子または HDMI 出力端子にコードを接続したときは…

• D 映像出力端子と HDMI 出力端子の両方にコードを接続すると、どちらかの端子しか使えません。リモコンふた内の[HDMI切換]を押し続けて、出力を切り換えてください。（→ **96** ページ）

[スタートメニュー] を押すと、本体表示部には「MENU（メニュー）」と表示されるのに、テレビ画面にはスタートメニューが表示されない。

HDMI 出力端子と D 映像出力端子は、どちらか一方からしか信号を出力しません。
[HDMI切換]を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので､「D-oP」（D 映像端子）または「H-oP」（HDMI 端子）を選択してください。（→ **96** ページ）

本機の設定内容が消える。

• 停電や、電源プラグが抜かれた状態で 10 分以上放置したときは、設定内容が消えてしまう場合があります。
• 電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。また録画中は、録画していた内容が消去される場合があります。
• D映像コードを抜くと､D映像出力設定が｢D1｣に戻ります。（→ **83** ページ）

使用中に本体が熱くなる。

• 本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。
•「BS・CS アンテナ電源」（→ **126** ページ）を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットの温度が多少高くなります。

操作ができない。

• リモコンの操作範囲内で使用してください。(→**20**ページ)
• 操作ができなくなったときは、「操作ができない」（→ **155** ページ）をご覧ください。

MD レコーダーとデジタル接続をして CD から MD に録音したとき、CD と MD の曲番が合わない。

• CD の曲間が短い場合は、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。
• 視聴メニューでトラックの指定を行った場合（→ **67** ページ）などは、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。

4：3 テレビでデジタル放送の映像を画面いっぱいにできない。

• 現在放送されているデジタル放送などを受信すると 4：3 テレビでは、上下や上下左右に黒帯の付いた映像になるものと、画面いっぱいになる映像があります。これらの映像は、放送局側からの信号によるもので、本機で変更することはできません。

テレビとの接続に関する補足説明

ここでは本機とテレビを接続したときの補足説明をします。

映像が乱れたり雑音が聞こえる場合は

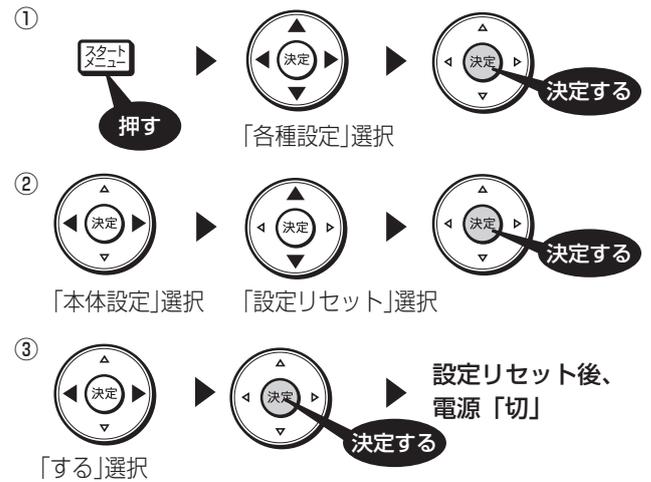
- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

テレビのオートワイド機能が働かないとき

- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。

初めて電源を入れたが、「初期設定」画面が表示されない

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合は、次の操作をしてください。

設定をリセットする

④ **電源ボタンの赤ランプ点灯後、再度電源を入れる**
⇨初期設定画面表示

- 「初期設定」（→ **109** ページ）操作を行ってください。

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。
ディスクが読み込めませんでした。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき • 本機で対応していないディスクを入れたとき	
ディスクが入っていません。 BD-RE を入れてから操作してください。	• BD-AV10 をご使用の場合に、ディスク未挿入の状態で、録画操作を行ったとき	• 録画用 BD-RE をセットしてください。
ディスクが入っていません。１層の BD-RE を入れてから操作してください。	• BD-AV1 をご使用の場合に、ディスク未挿入の状態で、録画操作を行ったとき	• 録画用 BD-RE(SL/ １層) をセットしてください。
録画できるディスクが入っていません。予約の開始ができませんでした。	• 予約録画開始時に録画できるディスクがセットされていないとき	• 録画用 BD-RE をセットしてください。
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき • BD ビデオや DVD ビデオディスクにより制限されている操作をしたとき	―――
このディスクは保護されています。保護解除するか、他のディスクを使用してください。	• ディスク保護されているディスクに録画や編集をしようとしたとき	• ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	• BD-RE ディスクの録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	―――
ディスクを確認しています。 完了まで 10 分以上かかる場合があります。	• リセット操作により、電源を切った場合など • 停電などにより、ディスクにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• ディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は 10 分以上かかる場合があります。
初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• タイトルが、記録できる上限を超えたとき • タイトル数が制限を超えているとき タイトル数：200	• 不要なタイトルを消去してください。
このディスクには録画できません。 BD-RE を入れてから操作してください。	• BD-AV10 をご使用の場合に、録画できないディスクや傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用 BD-RE をセットし直してください。
このディスクには録画できません。 １層の BD-RE を入れてから操作してください。	• BD-AV1 をご使用の場合に、録画できないディスクや傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用 BD-RE(SL/ １層) をセットし直してください。
ディスクが満杯なので録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• BD の空き容量がないとき	• 空き容量のある BD-RE を入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯なので録画を停止しました。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• BD の空き容量がなくなりました。	―――
現在の BD 残時間では最後まで録画できない可能性があります。満杯まで録画します。	• BD の空き容量が不足しているとき	• 空き容量が十分にある BD-RE を入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。
番組放送時間が変更されたため、予約の開始ができませんでした。	• 録画予約した番組の放送時間が変更されたため予約実行されなかったとき	―――

エラーメッセージ（例）

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 本機の時計合わせをしていない状態で予約設定やダビング操作を行ったとき	• 時計合わせを行い、再度予約し直してください。
HDMI 自動切換ができません。停止ボタンまたは終了ボタンで番組の再生や画面表示を終了してから操作してください。	• 録画中や再生中などに HDMI 切換を行ったとき	• 録画中や再生中は、自動切換は働きません。停止してから切り換えてください。
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 受信状況、再生状況により、処理が間に合わないとき • 放送視聴時に電波状態が悪く選局に失敗したとき • 再生時に記録したデータがこわれていて再生に失敗したとき	• 本体のリセットボタンを押してください。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター（→ **172** ページ）にご相談ください。
録画禁止になりましたので、録画を停止しました。	• 録画中に、著作権保護のため、放送そのものが録画禁止である番組が始まったとき	――――
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっている番組を録画しようとしたとき • コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	――――

■消去時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは消去や初期化はできません。消去や初期化ができるディスクは BD-RE だけです。	• BD-AV10 をご使用の場合に、消去できないディスクをセットして、消去をしようとしたとき	• BD-RE のみ消去や初期化ができます。
このディスクは消去や初期化はできません。消去や初期化ができるディスクは１層の BD-RE だけです。	• BD-AV1 をご使用の場合に、消去できないディスクをセットして、消去をしようとしたとき	• BD-RE(SL/ １層) のみ消去や初期化ができます。
このディスクは保護されています。	• ディスク保護されているディスクのタイトルを消去しようとしたとき	• ディスク保護を解除してから行ってください。
１度に消去できる数を超えています。次回の消去で選択してください。	• タイトル選択消去で、20 タイトルを超えて選択しようとしたとき	• 最大 20 タイトルずつ消去してください。

■i.LINK（TS）入力録画時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
i.LINK 入力の状態が悪くなったため録画を停止しました。	• 本機に i.LINK 入力録画中、接続している i.LINK 機器の再生が停止したとき	• 録画を行いたいときは、再度再生を行い録画を開始してください。
	• 一時停止、早送り、早戻しサーチを行ったとき	
	• ケーブルが抜けたときや、機器接続が解除されたとき	• ケーブル接続、機器選択を確認してください。
この番組は録画できません。	• データ放送を録画しようとしたとき • TS 入力から 5 秒以内に録画を開始しようとしたとき	• データ放送は録画できません。 • TS 入力から 5 秒以上経過してから録画を開始してください。
録画禁止の番組です。 録画できません。	•「1 回だけ録画可能」の番組を録画しようとしたとき	•「1 回だけ録画可能」の番組は、録画できません。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

テレビ画面表示		対応
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	• 録画ができない放送や番組を録画しようとしたか、または録画ができないディスクがセットされています。録画可能な番組か、または録画用 BD-RE がセットされているか確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	• 録画用 BD-RE がセットされているか確認してください。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ (つづき)

テレビ画面表示		対応
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を行ってください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、あらたに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	• 録画可能なディスクが入っていません。録画用BD-REをセットしてください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	• ディスクに録画できません。録画用 BD-RE をセットしてください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

■その他のメッセージ

テレビ画面表示		エラーの内容	対応
B-CAS カードを正しく装着してください。	ー	• B-CAS カードの装着が不完全です	• B-CAS カードを正しく挿入してください。
この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	A102	• B-CAS カードが割れているなど、破損していたり、IC チップが壊れている	• B-CAS カードを一度抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
この B-CAS カードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	A107	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードではありません	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードを挿入してください。
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	A103	• WOWOW 放送や CS デジタル放送などの有料放送を無契約状態で選局した場合	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
放送チャンネルではないため視聴できません。	E200	• このチャンネル (番組）は視聴できません	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。
• 降雨対応画面選択中です。	ー	• 降雪や降雨障害などの電波障害またはアンテナの方向や角度がずれたことによりアンテナ信号が弱くなったとき	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 降雪や降雨により電波障害が起こりアンテナ信号が弱くなる場合があります。
• 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	E201		
• 放送が受信できないため録画を停止しました。	ー	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき	• アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。 •「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」で「BS・CS アンテナ電源」を「入」に設定してください。
• 放送が受信できません。 アンテナの接続状況や調整、アンテナ設定の BS・CS アンテナ電源の設定をご確認ください。 • 放送が受信しにくくなっています。 アンテナの接続状況や調整、アンテナ設定の BS・CS アンテナ電源の設定をご確認ください。	E202		

■その他のメッセージ (つづき)

テレビ画面表示		エラーの内容	対応
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	• 選ばれている放送局で、番組の放送が終了している	• 選ばれている放送局で、番組が放送されていないときに表示されます。
○○ チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	• 放送の無いチャンネルを選局したとき	• 番組表などでチャンネルを確認してください。
アンテナ線がショートしているか、接続や設定に不具合があるためアンテナ電源を「切」にしました。 本体の電源を切ってからアンテナとの接続を確認してください。	E209	――――	• アンテナ線の接続を確認してください。
○○ チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	• 本機で受信できないチャンネル（サービス）を受信しようとしたとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。
データが受信できません。	E400	• 電波障害等によりデータを受信できない場合など	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
対象地域外のため、データを表示できません。 この受信機では、データを表示できません。	E401	• 対象地域外のデータ放送を選局しているとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。
データの表示に失敗しました。	E402	• 選んだチャンネルのデータの表示に失敗したとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
アクセスできませんでした。	C000	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	C104	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	C105	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
番組で指定された情報センターへの接続に失敗しました。	C006	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
アクセスできませんでした。	C204	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
サーバー証明書が不正のため、アクセスを中断します。	C208	• 放送で送られたルート証明書が信頼できないため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
サーバー証明書に問題があり、アクセスを中断します。	C209	• 放送で送られたルート証明書の形式が不正なため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
• このネットワークにはテレビサービスはありません。 • このネットワークにはラジオサービスはありません。 • このネットワークにはデータサービスはありません。	ー	• 放送サービスの無い放送を選んだとき	• 別の放送に切り換えてお楽しみください。
データの通信に失敗しました。	E301	• 電話回線の接続や通信設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認して通信設定を正しく行ってください。
[入力切換] ボタンで放送視聴に戻ってから操作してください。	ー	• i.LINK 入力中にできない操作を行ったとき	• 入力切換ボタンを押し、放送画面に戻してから操作してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→ **172** ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

●「故障かな？と思ったら」（→ **155** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：ブルーレイディスクレコーダー
- 形　　　名：BD-AV1/BD-AV10
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　　月　　日	電話（　　　）　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!
こんな症状はありませんか?
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検·修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にご相談ください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談など

※「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の〈補足〉をご覧ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.09）

補足 「修理品引き取りサービス」のご案内。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

※お申し込みの前にご確認ください。
※サービスエリア:日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域(離島を含む)及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料(保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料(修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(上記参照)にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の業者(ヤマト運輸)がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング(株)よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金(修理料金+利用料)と発送日をご連絡いたします。
■ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金(修理料金+利用料)をヤマト運輸に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

品名				ブルーレイディスクレコーダー	
形名				BD-AV1	BD-AV10
一般	電源電圧			AC 100V、50/60 Hz	
	外形寸法			幅 430mm、奥行 335mm、高さ 68mm （突起部を除く）	
	本体質量			約 4.2kg	
	使用温度範囲			＋ 5℃～＋ 35℃	
	使用湿度範囲			10%～ 80% （結露なきこと）	
	動作姿勢			水平	
記録	録画可能ディスク			BD-RE Ver.2.1※2※3（SL/1 層）	BD-RE Ver.2.1※2※3（SL/1 層、DL/2 層）
	録画時間※1	デジタル放送（TS 入力）	HD（BS ／ 110 度 CS ハイビジョン放送）	約 2 時間 10 分（BD-RE 25GB）	約 2 時間 10 分（BD-RE 25GB）、約 4 時間 20 分（BD-RE 50GB）
			HD（地上 D ハイビジョン放送）	約 3 時間（BD-RE 25GB）	約 3 時間（BD-RE 25GB）、約 6 時間（BD-RE 50GB）
			SD（標準画質）	約 4 時間 20 分（BD-RE 25GB）	約 4 時間 20 分（BD-RE 25GB）、約 8 時間 40 分（BD-RE 50GB）
再生	再生可能ディスク			BD-RE Ver.2.1※2（SL/1 層、DL/2 層）、BD-R Ver.1.1※4（SL/1 層、DL/2 層)、BD ビデオ（1 層、2 層）、DVD ビデオ（1 層、2 層）、DVD-RW（1 層、2 層）※4、DVD-R（1 層、2 層）※4、DVD-R DL（2 層）※4、DVD+RW※5、DVD+RW DL（2 層）※5、DVD+R※5、DVD+R DL（2 層）※5、DVD-RAM（カートリッジから取り出せるもの）、音楽 CD、CD-R (音楽 CD フォーマット)、CD-RW (音楽 CD フォーマット)	
チューナー	受信チャンネル	地上デジタル		011 ～ 528ch	
		BS デジタル		001 ～ 999ch	
		110 度 CS デジタル		000 ～ 999ch	
タイマー	予約番組数			1 年 16 番組	
接続端子	i.LINK（TS）入力			1 系統（i.LINK/IEEE1394 準拠）	
	HDMI 出力			1 系統（525p/750p/1125i/1125p）	
	D1/D2/D3/D4 映像出力			1 系統 Y：1.0 V p-p（75 Ω） C_B、C_R：0.7 V p-p（75 Ω）	
	映像出力			1 系統 ピンジャック：1 V p-p（75 Ω）	
	音声出力			2ch 出力の 1 系統 ピンジャック：2 V rms （1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5k Ω以下）	
	BS・110 度 CS アンテナ入出力			入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター	
	地上デジタル・アナログアンテナ入出力			入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター	
	電話回線端子			モジュラー式 V.90（56Kbps）	
付属品	リモコン、単 3 形乾電池 2 個、映像・音声コード、HDMI コード、アンテナケーブル（両側 F 接栓ケーブル）、電源コード、取扱説明書（本書）※6、かんたん !! ガイド※6、保証書				

※ 1 **録画可能時間は目安です。** テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など（ビットレートの高い映像）が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。
※ 2 BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。
BD-RE Ver.2.1 でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
本機でかんたん BD ダビングに使用できるディスクは、BD-RE Ver.2.1 のみです。
※ 3 BD-RE DL（片面 2 層）ディスクに録画できるのは、BD-AV10 のみです。
※ 4 ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 5 ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 6 日本語以外の説明書はありません。

消費電力※7		34W
待機時消費電力※7	クイック起動「する」時	23W
	クイック起動「しない」時	1.1W

※ 7 消費電力、待機時消費電力は、本体時計表示「切」、BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源供給「切」時の値です。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクレコーダーは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
<This Blu-ray Disc Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

登録商標

商標・登録商標など

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）での使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声の DVD ビデオを作成することができるようになります。
  この技術を PCM 記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
  ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングした DVD は全ての DVD ビデオプレーヤーで再生することが可能です。

注：使用した記録型 DVD に対してプレーヤーが互換性を持っている場合。

- Dolby、ドルビーおよびダブル D（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTS デジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- Blu-ray Discは商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- DVDは DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- i.LINK（アイリンク）と i.LINK ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmisson Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。この DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINK でのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
・ linux kernel
・ glibc
・ OpenSSL
・ modutils
・ DirectFB
・ zlib

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.(http://www.openssl.org)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California,Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。
特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

用語の解説

アルファベット

AAC（Advanced Audio Coding）
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格です。
地上デジタル /BS デジタル /CS デジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1 に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4 倍ほど圧縮効率が高くなっています。

BD-R
一回だけ録画ができる、追記型のブルーレイディスクです。他機で録画した BD-R を本機で再生する場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。（本機では、録画用ディスクとしてご使用になれません。）

BD-RE
本機で録画用として使用できるディスクです。
繰り返し録画ができる、書き換え型のブルーレイディスクです。録画した番組を消去したり、録画済みのディスクを初期化することで、繰り返し録画ができます。
ディスクのバージョンには Ver.1.0、Ver.2.1 があり、本機では Ver.2.1 がご使用になれます。また、BD-RE Ver.2.1 ディスクには SL/1 層と DL/2 層ディスクがあります。BD-AV1 をご使用のときは、SL/1 層ディスクのみ録画用ディスクとして使用できます。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

CATV
ケーブルテレビ（有線放送）のことです。

CPRM (Content Protection for Recordable Media)
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DL
デュアルレイヤーの略で、片面 2 層ディスクのことです。

DOLBY DIGITAL • PLUS
ドルビーデジタルを基に開発された、高音質・多チャンネル化が可能な音声方式です。7.1ch に対応しています。従来のアンプでも、5.1ch のドルビーデジタルビットストリームで出力することができます。

DOLBY TRUE HD
DVD オーディオで採用されている「MLP ロスレス」の機能拡張版として開発された音声方式です。7.1ch に対応しています。従来のアンプでも、5.1ch のドルビーデジタルで出力することができます。

DTS
DTS Inc. 社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声 6ch を使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS 対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

D 映像端子
コンポーネントと呼ばれる 3 本の輝度･色差信号（Y/CB/CR および Y/PB/PR）のコード接続を、1 本のコードで行えるように考案された端子です。D 端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。

HDMI (High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を 1 本のコードで接続できるデジタル AV インターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

HD/SD 録画（当社独自の呼称です。）
デジタル放送をそのままの画質で録画する方式です。デジタル放送ならではの美しい映像を録画することができます。
ハイビジョン放送を録画するときは「HD 録画」になります。
スタンダード放送を録画するときは「SD 録画」になります。

i.LINK(TS)
i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINK ケーブル 1 本で接続することができます。i.LINK は、IEEE1394 をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE（米国・電気電子学会）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps/800Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400/S800 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送速度が可能です。
*i.LINK はソニー株式会社の商標です。

SL
シングルレイヤーの略で、片面 1 層ディスクのことです。

TS（Transport Stream）
TS（トランスポートストリーム）は、多重信号形式の 1 つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1 つのストリームとして伝送できるシステムのことです。

あ行

一発起動（クイック起動）
本機の電源をすばやく「入」にできる機能です。（→ **123** ページ）

インターレース（とび越し走査）
テレビは 525 本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます。（この 1 画面を 1 フィールドといいます。）つぎに偶数番目の走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます。これで、合わせて走査線 525 本の 1 枚の完全な画像（この画像を 1 フレームといいます。）を作っていく方式のことです。

オリジナル／プレイリスト

オリジナル
テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

音声出力レベル
ドルビーデジタル音声を再生したとき、音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整する機能です。

か行

コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

さ行

視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

た行

タイトルとチャプター、ディスク内の構成
BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル（録画した番組）」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章・区切り）」という単位で構成されています。
タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- 録画リスト = もくじ

本機では、お好きな場所にチャプターマークをつけることはできません。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

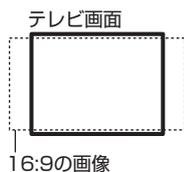
つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

テレビメーカー指定
国内主要メーカー 11 社のテレビを操作するための設定です。（→ **120** ページ）

電子番組表
テレビ画面に表示されるデジタル放送の番組表のことです。テレビ画面で番組を選ぶだけで予約録画が行えます。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

は行

パンスキャン

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし 4：3 のサイズにする機能です。

ビデオフォーマット
DVDの録画方式のひとつです。本機で再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ
BD-RやDVD-RW/Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。
本機では、DVD-RW/Rディスクをファイナライズすることはできません。ファイナライズは録画した機器で行ってください。

ファミリンク機能
シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」とHDMIコード（付属品）で接続して使います。
テレビで見ている番組を録画したり、再生ボタンを押すだけでテレビの入力をHDMI接続した入力に自動で切り換えられる機能です。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。他機で録画したディスクにプレイリストが設定されているときは、プレイリストの再生が行えます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

プログレッシブ
とび越し走査（インターレース）しないで 1 フィールド目で 525 本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を 525 本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ま行

マルチアングル
BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニア PCM 音声
BD・DVD・音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

リモコン番号
リモコンと機器の組み合わせを正しくするための設定です。
シャープ製のハイビジョンレコーダーをお持ちの場合、本機のリモコン番号とハイビジョンレコーダーのリモコン番号が同じ設定のときは、本機のリモコンで操作すると、ハイビジョンレコーダーと本機の両方が動作してしまうことがあります。本機のリモコン番号を変えると、本機だけが操作できるようになります。

レターボックス

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画リスト
録画した番組が一覧で確認できる画面です。

さくいん

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

ブルーレイディスクレコーダー BD-AV1/BD-AV10

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

グリーン材料 **すべての基板に無鉛ハンダを使用**

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎電源の切り忘れ防止機能を!

電源が入ったままの状態で、約3時間何も操作されないと、各種設定内の「無操作オフ設定」により、自動的に電源が切れるように設定できます。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談など

[お客様相談センター]

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話 :043 - 331 - 1626	FAX :043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:**9:00～20:00** ●日曜・祝日:**9:00～17:00** (年末年始を除く)

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2007.09)

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia

TINSJA252WJQZⒶ
08P01-MA-NK